

国際ロータリー第 2790 地区
2018-19年度

地区研修・協議会

DTA

District Training Assembly

報告書



インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION



Rotary

アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
2018年4月29日(日)

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

(2018-19年度 RI会長のテーマ)

Object of Rotary ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

The Four-Way Test

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

Rotarian Code of Conduct ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準を持って行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

国際ロータリーの青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために、安全な環境をつくり、維持するために努力している。

ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。

2006年11月、RI理事会により承認

目 次

目 次	1	
プログラム	2	
歓迎の言葉 ホストクラブ・茂原東ロータリークラブ会長 関 屋 勉	3	
ガバナー挨拶	寺 嶋 哲 生	4
地区研修リーダー挨拶	崎 山 征 雄	5
地区研修・協議会開催にあたり	橋 岡 久 太 郎	6
地区研修・協議会 受賞者一覧	10	
2018-19 年度地区組織図	12	

～ 部会別協議会のご案内 ～

会 長 部 会	14
幹 事 部 会	22
管 理 運 営 部 会	25
奉仕プロジェクト部会	47
青 少 年 奉 仕 部 会	53
ロ ー タ リ ー 財 団 部 会	66
米 山 記 念 奨 学 部 会	71



歓迎の言葉

地区研修・協議会ホストクラブ挨拶

2018年度地区研修・協議会ホストクラブ

茂原東ロータリークラブ会長 関屋 勉

皆様、おはようございます。

国際ロータリー第2790地区2018-19年度地区研修・協議会のホストクラブを拝命いたしました茂原東ロータリークラブの関屋と申します。クラブを代表して、歓迎のご挨拶を申し上げます。

本日は、休日の早朝にもかかわらず県内各地から多数のロータリアンのご出席をいただきまして、まことに有難うございました。

昨年地区研修・協議会のホストクラブにご指名いただきまして、大変名誉なこととお引き受けいたしました。本当に名ばかりのホストクラブでございます。すべて橋岡久太郎ガバナーエレクトを始め野池尚美次期幹事長、佐倉中央ロータリークラブ、ガバナーエレクト事務所の皆様にご指導とご協力をいただき、お蔭様で本日を迎えることが出来ましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また皆様方には、行き届かないところが多々あるかと思いますが、ロータリーの友情を持ちましてお許しを願えれば幸いに存じます。

さて新年度RIテーマは「インスピレーションになろう」です。新年度クラブ運営の重要な役割を担当する皆様、本日の研修でより一層の認識を深めていただき、その成果を実践に活かしてご活躍下さるよう心からお祈りいたします。橋岡年度の出発と各クラブの益々のご発展とご繁栄を祈念申し上げて、歓迎の言葉とさせていただきます。有難うございました。



ガバナー挨拶 地区研修・協議会に寄せて

国際ロータリー 第 2790 地区
2017-18年度 ガバナー 寺嶋 哲生
(柏 RC)

今年の年初は厳しい寒さでありましたが、既に桜も散り、新緑の美しい季節となりました。

橋岡ガバナー年度に向けた三大セミナーも、本日の研修・協議会を残すのみとなりました。

本日の地区研修・協議会が、多くの皆様のご参加の下ご盛会の内に開催されます事、誠におめでとうございます。

橋岡ガバナーエレクトは、一月にサンディエゴにて開催された国際協議会に参加され、バリー・ラシン RI 会長エレクトより直接薫陶を受けて帰国されました。

2018-19 年度の RI 会長テーマは、英文で「Be The Inspiration」、日本語訳では「インスピレーションになろう」と発表されました。

やや解釈の難しいニュアンスですが、Inspiration という単語には、靈感・直感という意味以外に、鼓吹・鼓舞・激励、あるいは「鼓舞させる人」・「激励となる人」という意味があるとの事です。

故に「Be The Inspiration」とは「鼓舞させる人になろう」と言うような意味と解釈できようかと思えます。

この RI 会長テーマを受け、橋岡ガバナーエレクトは地区テーマとして「伝統と未来」～誇りと連帯感～を掲げられました。

自ら能役者として永きに渡る伝統を受け継ぐ橋岡ガバナーエレクトに相応しい、素晴らしいテーマであると存じます。

地区チーム研修セミナーに向けて編まれた冊子の中で、橋岡ガバナーエレクトは次のように記されています。

「世界のロータリーは、激動変革の時代を迎えています。日本のロータリーも決してその流れから外れる事は許されません。しかし、日本のロータリーが 100 年近い歴史の中でロータリー創世以来の理念を忠実に守り実践してきた良き伝統を誇りに思い、胸を張って継続して行くべきだと考えます。伝統とは、継続してきた旨を理解し守るものですが、同時に立ち止まってはいけないものであります。」

「不易と流行」という言葉を彷彿とさせる素晴らしいご意向であると感じます。

私は、ロータリーの本質は人であると思っております。

ポール・ハリスが「寂しかったから」ロータリーを創って以来、信頼できるコミュニティーを得たいとする願望がロータリーを発展させ、維持して来たのだと感じます。

来る 2018-19 年度、橋岡ガバナーを中心として、2790 地区が「誇りと連帯感」を以って結ばれる。

そんな素晴らしい一年となる事を、心よりお祈り申し上げます。



地区研修リーダー挨拶 地区研修・協議会 を迎えて

国際ロータリー 第 2790 地区

2018-19年度 地区研修リーダー 崎山 征雄

(習志野中央 RC)

2018-19年度 RI会長バリー・ラシンの今年度のテーマは「Be The Inspiration」「インスピレーションになろう」です。

「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世に生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していただきたいのです。」と説明しています。「Be The Inspiration」とは鼓舞、激励、刺激と受け止めて、その為のリーダーシップの発揮を強く要請しているものと考えます。

本日は、2018-19年度を迎える為の総仕上げとして地区研修・協議会が開催されます。橋岡ガバナーエレクトより新年度のテーマ「伝統と未来」誇りと連帯感について、その意図するところと、最新の情報の解説があります。次期ガバナー補佐、次期会長、幹事、クラブ役員、地区役員、の皆様が一同に会し、RIの指導方針のもとに2790地区の活動が世界と連携して我々の奉仕活動がみんなの喜びであるような、様々なプロジェクトを広く、力強く、展開できるようにし、同時にそのことが、我々自身のクラブ奉仕に、有効に生かされ、クラブの活性化、会員増強につながるような活動を目指し、そのような役割に備えるための準備であり、地区研修であり、協議会です。

今日一日、皆様とともに学び、地区の円滑な運営とクラブの活性化に向けて、橋岡ガバナーエレクトへの心からのご支援とご協力をお願い申し上げます。

我々は「ロータリーは親しい友人の集まりである」という「ロータリーの心と原点」を大切に、クラブ奉仕と職業奉仕を基本にすえて、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の豊かな果実を得るためにも、親しい友人を増やす努力をしましょう。親しい友人が増えることは奉仕の心が増える事、最大の善をなし、最大の力が発揮できる事であり、究極のところ、五大奉仕を成功させる一大要因なのです。

物質万能の現代社会では人々を一途に利己心に駆り立てて他を顧みないことができません。他人をライバル視して社会連帯感が失われてゆく中、こうして生まれてしまった幾多のギャップを取り除く為にも、ロータリアン一人一人の善意が高揚し個々の活動に期待をしているとい

うのがロータリーの目的です。ロータリー発足の精神に立ち返り、新しい波の中さらにロータリーがもっと身近により親しみやすくなり、誇りをもってロータリー活動ができるように我々はクラブと共に奉仕の場で、この1年間を「伝統と未来」誇りと連帯感でインスピレーションとなり、ロータリーで変化をもたらし人と金運を招きましょう。その事が、五大奉仕を完成させると考えます。ロータリー原点回帰の一年間ととらえ、皆様と共に充実したものにしたいと考えています。

皆様のご協力をお願いします。



ガバナーエレクト ご挨拶 2018-19 年度地区運営方針

国際ロータリー 第 2790 地区
ガバナーエレクト 橋岡 久太郎
(佐倉中央 RC)

ごあいさつ

2018-19 年度の地区研修協議会にご参加頂きありがとうございます。

開催にあたり、地区研修リーダー PDG 崎山征雄様、サブリーダー PDG 得居仁様、PDG 関口徳雄様、PDG 宇佐見透様、PDG 青木貞雄様、ロータリー財団統括委員長 PDG 櫻木英一郎様、並びにパストガバナーの皆様、ガバナー補佐の皆様、各委員長の皆様にはご多用の中をご出席頂きありがとうございます。

そして本協議会の開催準備をして頂いた皆様に心より感謝、御礼申し上げます。

本日は、次期 RI 会長バリー・ラシン氏の RI テーマ並びにロータリーのビジョン声明とともに国際ロータリー第 2790 地区の運営活動方針と地区テーマ等をご説明申し上げ、ご理解とご協力を賜りたく存じます。

伝統ある国際ロータリー第 2790 地区、クラブの委員長、委員は重責ですが、皆様方の活動を地区として全力で支援応援いたしますので、クラブのためクラブ会員のためにご尽力くださいますようお願い申し上げます。

(PDG = パスト・ディストリクト・ガバナー)

「BE THE INSPIRATION」 「インスピレーションになろう」

バリー・ラシン次年度 RI 会長は、バハマ諸島、イーストナッソー RC の所属です。今年 1 月 14 日の国際協議会初日の全体会議に於いて上記の RI 会長テーマと、下記の国際ロータリービジョン声明を発表されました。

バリー・ラシン RI 会長エレクトは講演の中で、「ロータリーの会員数は、この 20 年間ずっと 120 万人程度で低迷しています。成長しておらず、会員の高齢化が進んでいます。活動を通じて変化をもたらすための知識や意欲をもたないクラブが、あまりに多すぎます。ロータリーが世界でどんな活動をしているのかを知らず、ロータリーと財団のプログラムを知らないクラブ、参加方法がわからないクラブもあります。ロータリーは会員制組織です。ですから、奉仕活動を通じてより良い世界を築きたいと願うなら、会員を大切にしなければなりません。」と述べられました。

RI はこのようなクラブに変化をもたらす必要性、危機意識を感じてこの声明を出しました。重要なのは意識改革です。それぞれのクラブ、ロータリアンがインスピレーションを働かせてロータリーに変化をもたらす発想の転換を行い、新発想のもとにロータリーを活性化させることが重要です。

国際ロータリー「ビジョン声明」

2018 年 1 月 14 日、RI 国際協議会の初日に行われた、バリー・ラシン RI 会長エレクトの講演で今後の RI 重要な方針として「ビジョン声明」が発表されました。

New Vision Statement

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change-across the globe, in your communities, and in ourselves

RI の公式日本語文

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

2018-19 年度会長テーマ講演

バリー・ラシン RI 会長エレクト

MYROTARY より抜粋

私たちに与えられた責任は、可能な限り、効果的かつ効率的に奉仕することによって、情報の透明性と説明責任を重んじながら、そして、意義があり、持続可能な方法で、できるだけ多くの人により良い変化をもたらしながら、先人たちの活動の上に築き、将来のために堅固な土台を築くことです。ロータリーで会員が最高の経験ができるように、そしてロータリーが、今年度や次年度だけでなく、ロータリーでの私たちの活動、ひいては私たちの生涯を超えて成長し続け、世界に役立っていけるようにしながら。

それが、ロータリーのリーダーとして私たちに託された仕事です。

この思いは、ロータリーの新しいビジョン声明をつくるためのインスピレーションとなりました。この声明は、私たちが築きたいと願うロータリーを表しています。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

ロータリーで、私たちは手を取り合います。なぜなら、協力すれば、一人よりもずっと強くなれると知っているからです。

私たちは行動します。なぜなら、ロータリーは夢想家ではなく、実行する人の集まりだからです。

私たちは持続可能な変化を生みます。私たちの活動が終わった後にも末永く続く変化を。

世界での変化、地域社会での変化は、私たちが決

して会うことのない人や、最愛の人を含め、すべてに影響します。

そして、おそらく一番大切なのは、自分自身の中での変化でしょう。

すべてのクラブの問題を一人で解決することが皆さんの仕事なのではありません。皆さんがここに来たのは、そのためではありません。ここに来た目的は、変化を生み出すことへの意欲を、クラブ会長と地区内ロータリアンの心に芽生えさせるためです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう手助けすることが皆さんの仕事なのです。

かつてサン＝テクジュペリはこう表しました。「船を造りたいなら、木を集めさせたり、作業や任務を割り振るのではなく、はてしなく続く広大な海への切望の心を培うことから始めなさい」

皆さんの仕事は、船をつくることではありません。より良い世界をつくることです。より良い世界をつくりたいなら、ロータリアンの魂を呼び起こし、その能力と可能性、そして私たち一人ひとりの中にある切望の心を引き出さなくてはなりません。

より良い世界をつくりたいなら、プロジェクトを計画したり、任務を割り当てたりすることから始めないでください。インスピレーションから始めてください。

ロータリアンの魂、すなわち、より良い世界への切望、そして、より良い世界をつくることは可能だという、心の奥深くにある真の自覚を呼び起こすことから始めてください。

それを今晚、この場で一緒に、「インスピレーションになろう」という2018-19年度テーマとともに始めていただきたいのです。

私たちの標語「超我の奉仕」からインスピレーションを得てください。そして、ロータリアーを通じて行動するよう、人びとにインスピレーションを与えてください。

地区テーマ

「伝統と未来」～誇りと連帯感～

伝統とは、イアン・ライズリー会長が本年1月の国際協議会で言われた、100余年におよぶロータリアーの歴史と「4つのテスト」であり、他団体との明確なる違いです。

未来とは、間もなく訪れる「レガシー・ポリオゼロ」宣言（25億人の子ども達にポリオの予防ワクチンを提供）です。1985年にロータリアーがポリオ撲滅活動を立ち上げて以来の発症率99.9%減、疾病との戦いにおけるロータリアーの成果です。（国内においては1回5,000円のワクチンを合計4回20,000円の国家負担・新生児約100万人に対し毎年約200億円を占めます。これを「0」にすることは、世界では計り知れない経済的負担減少になります。）

また、継続的な「世界で良いことをしよう」の6つの重要分野 ①平和と紛争予防／紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教

育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展、を強く推進します。

誇りと連帯感とは、ロータリアーは、世界中の人生に前向きな素晴らしい人々が集う団体です。地域、世界で貢献している会員たちで、信頼の絆で友情を育んでいることです。

地区運営ビジョン及び行動指針

今こそ「ロータリアークラブとは」「ロータリアンとは」の世間一般からの問い掛けに一人一人が明確に自分の考えで答えられる様に、改めてロータリアーの素晴らしさを再考する時と考えます。

世界のロータリアーは、激動変革の時代を迎えています。日本のロータリアーもその流れから外れる事は許されません。

しかし、日本のロータリアーが100年近い歴史の中でロータリアー創世以来の理念を忠実に守り実践してきた良き伝統を誇りに思い、胸を張って継続して行くべきだと考えます。

伝統とは、継続してきた旨を理解し守るものですが、同時に立ち止まってはいけないものでもあります。

ガバナー寺嶋哲生氏の示された「理念と実践」を継続しつつ、次期RI会長バリー・ラシン氏の示された「インスピレーションになろう」を地域で、地区で、世界で、それぞれの感動・心を打つ、魂を揺さぶる新たな人道的サービスに取り組みます。

- (1) 国際ロータリアーの指針、活動を易しく各クラブの会員に理解し実践頂きます。
- (2) ロータリアー財団（特にポリオ撲滅）・ロータリアー米山記念奨学会への、更なるご理解とご協力を賜るべく努力いたします。
- (3) 委員会の合理化とスリム化を進め分かりやすい地区組織を構成します。
- (4) 地区戦略委員会からの提言を受け、中長期の持続可能な地区奉仕活動を推進します。
- (5) ロータリアーのすばらしい活動内容と偉大なる功績を会員に周知して参加の喜びを実感して頂きます。

クラブの各委員長、委員の皆様へ

2018-19年度のRI会長テーマをよく理解して頂き、地区活動方針に添った各委員会運営をお願いします。

- ① クラブの委員会目標の達成に向けてガバナー補佐と協力して活動する。
- ② グループ研修セミナーと地区大会への出席を奨励し、自らも出席する。
- ③ クラブや会員にとって委員会が重要な存在であることを自覚する。
- ④ 活動の進捗について報告してもらいクラブ内の親睦と交流を図る。
- ⑤ マイロータリアーに登録してクラブセントラルを活用する。

その為の地区チーム組織図

2018-19年度は、奉仕プロジェクト統括委員会に青少年奉仕委員会を設け、新たに青少年育成統括委員会を立ち上げ、インターアクト、ローターアクト

青少年交換、RYLAの各委員を移行します。各統括委員会等に担当の研修サブリーダーを配し、時適切なアドバイスを願うものとします。

また、世界各国及び国内の地区内割の名称に準じ、現在の分区との名称をグループに変更します。(国内34地区中、分区14地区、グループ19地区、ブロック1地区)(例:第1分区⇒第1グループ、第3分区A⇒第3グループ、第3分区B⇒第4グループ、第13分区⇒第14グループ)

戦略計画委員会

当委員会は地区において、単年度では難しい事業計画、あるいは、一年間で合議に達するのは困難な改変等を立案審議します。

構成員はガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニ・ガバナーノミニデジグナイト、直前ガバナー・前々年ガバナーより組織される委員会とし、必要に応じて実務レベルの検討を行う委員を任命する事とします。また、オブザーバーとして幹事長・次期・次々期・直前・前々年度幹事長の参加を認めます。

当面の課題として、地区事務所の設置、および寺嶋ガバナーより提案のマイナンバーの導入に対応する何らかの法人化を検討します。

地区事務所の設置については、他地区の実情を踏まえ、そのメリット・デメリットを考慮した上で合意を図ります。

管理運営統括委員会

会員増強・維持拡大委員会、フェロシップ・親睦活動委員会、広報・公共イメージ向上委員会、ロータリー研修委員会、RLI推進委員会の5つの委員会を統括します。

会員増強・維持拡大委員会は、ロータリーの素晴らしい活動内容を周知します。特に女性会員と30歳代の若い会員の参加を推進し、フェロシップ・親睦活動委員会と協力して誰でも参加したいと思う、活気あるクラブづくりを支援します。

フェロシップ・親睦活動委員会は、地区内の会員相互の交流と親睦を推進し、既に活動活躍中の野球・二輪の会・女性・婦人サークル等を支援助成します。広報・公共イメージ向上委員会は、私たちロータリーの使命に関心を寄せて頂く活動(新聞・マスメディア・インターネット等を活用)を展開するとともに、各クラブのホームページの制作やSNSでの発信を支援するとともに、会員のマイロータリー登録を勧め、ロータリークラブセントラル、ロータリーショーケースの利用を推奨します。ロータリー研修委員会は、ロータリーの奉仕(サービス)とは何かを再考し、グループの情報研修会をガバナー、ガバナー補佐と協議して研修リーダー、サブリーダーと共に開催し協力します。

RLI推進委員会は、RLI方式によるロータリーの情報提供及び考査を広く会員に紹介し参加を促します。

奉仕プロジェクト統括委員会

職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会の4つの委員会を統括します。

社会奉仕委員会、国際奉仕委員会は、それぞれの奉仕プロジェクトの実例を紹介するとともに、より多くのクラブが財団の地区補助金を活用したプロジェクトを実施

できるようロータリー財団統括委員会と協議し支援します。

また、地区にて継続して参りました「希望の風推進委員会」は、その実務をガバナー事務所(地区事務所)にて継続します。

職業奉仕委員会は、ロータリーの歴史と伝統を重視してきた日本ロータリーの職業奉仕(サービス)論を再考し実践(例:例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う)を促します。

青少年奉仕委員会は、「ロータリー学友小委員会」を支援し、ロータリーに於ける青少年奉仕を実践します。

青少年育成統括委員会

インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、RYLA委員会の4つの委員会を統括します。

特にローターアクト委員会は、RI会長が推奨するローターアクトの育成と、ロータリーへの移行を推進します。また、青少年交換委員会は一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(RIJYEM)と連携して更なる活動拡大に勤めます。

ロータリー財団統括委員会

財団資金・推進管理委員会、グローバルプロジェクト委員会、地区補助金プロジェクト委員会、奨学生・学友委員会、ロータリーポリオプラス委員会、ロータリー平和フェロシップ委員会の6つの委員会を統括します。

地区内及び近隣十地区の実績を考慮しながらロータリー財団を尊重し、ロータリー財団への積極的な寄付を推奨します。

また、青木、寺嶋年度に引き続いてロータリー財団寄付ゼロクラブの解消に努め、合わせて年次寄付金の目標額を会員一人当たり150ドル、ポリオプラスに対する目標額を30ドルと致します。

統括委員会は、奉仕プロジェクト統括委員会と連携し、地区補助金を活用した奉仕活動を推奨し、グローバル補助金を活用した国際プロジェクトへのエントリーを推奨します。

ロータリー米山記念奨学委員会

50余年の歴史を持ち、世界に類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同奉仕活動は、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。米山奨学会は、将来日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、日本とロータリーの良き理解者となる人材を育成することが事業の使命であり、この意義はむしろ更に重みを増しています。

この素晴らしい奉仕活動を会員により深く理解して頂き、寄付ゼロクラブの解消と、会員一人当たりの寄付15,000円は、2016-17青木、2017-18寺嶋年度に引き続き目標として推奨します。

ガバナー補佐の皆様

皆様は、クラブと地区を結び繋ぐ大切な存在です。グループ内のクラブと直接対話されてクラブの活性化をお手伝いください。

管轄する各クラブが、それぞれ独自の方針をもって活気あるクラブとなるよう自主的な活動を尊重しつつ、地区チームとの懸け橋となって適切なご助力をお願いします。

グループ内クラブへの伝達

ガバナー補佐会議は、地区委員長会議と同時に年度中6回開催しますので、地区チームの情報をグループ内の各クラブに伝達してください。

グループ単位で行う会長幹事会は年度内で6回以上開催し、加えて、最低でも3ヶ月に一度は各クラブを訪問してグループ内の各クラブとの情報を把握されてください。

ガバナー公式訪問

ガバナー公式訪問は、数年来のRI会長の意向と、2016-17 青木、2017-18 寺嶋年度の方向性を踏襲し、複数のクラブ合同か、またはグループ内クラブ全合同で行い、クラブ間、グループ間の情報共有と懇親を図ります。

公式訪問に先立ち、合同するクラブ間の調整をお願いするとともに、各クラブの情報についてお知らせください。

但し、単独訪問を希望されるクラブは、その旨を尊重し単独訪問いたします。

情報研修会 & IM (インターシティ・ミーティング)

グループ単位にて、情報研修会とIMを一回ずつ開催してください。

情報研修会は、ガバナー、研修リーダー、ロータリー研修委員会と協議してグループの研鑽を考慮して、各サブリーダーと担当の統括委員会より決定し実施してください。また、その際には、地区の奉仕プロジェクト統括委員会、管理統括委員会、ロータリー財団統括委員会、ロータリー米山記念奨学会委員会によるPR時間を必ず設けて頂く事をお願いします。

IMは、テーマ、プログラム、基調講演等の全てをガバナー補佐の皆様お任せいたしますので、グループ内の各クラブ会長と協議の上、皆様の意向に基づいて決定され実施してください。

マイロータリーとロータリークラブセントラル

次期RI会長の強い意向により、マイロータリー登録が責務となりました。

各クラブの会長と幹事に、クラブとしてロータリークラブセントラルの利用をお願いさせていただきます。同時に、各クラブの会員に対しマイロータリーの登録をお願いします。

広報・公共イメージの向上

各クラブが、独自のホームページを開設し、定期的に更新される事を推奨させていただきます。

また、各クラブ、グループにて「ロータリーデー」の実施を少なくとも1回はお願いします。その際、地区の管理統括委員会、奉仕プロジェクト統括委員会内のそれぞれの委員会と連携を図り、ロータリーの広報・公共イメージの向上に繋げてください。

会員増強

各クラブに対し、会員数の純増をお願いしてください。2名あるいは10%純増のいずれかを目標とすることを推奨します。

特に20代～30代の会員及び女性会員の増強をお願いします。

ロータリー財団補助金を活用した奉仕プロジェクト

各クラブは、ロータリー財団が支援する地区補助金、グローバル補助金を活用した奉仕プロジェクトの立案と申請、実施を奨励します。

ロータリー財団、ロータリー米山記念奨学会への寄付

財団の地区補助金の原資となる年次寄付については、寄付ゼロクラブを無くし、会員一人当たり150ドルを目標とし、合わせて、ポリオプラスの寄付目標額を会員一人当たり30ドルとします

また、グループから10名以上のポール・ハリス・フェロー、5名以上のポールハリスソサイエティを輩出するようお願いいたします。

ロータリー米山記念奨学会に対する寄付は、会員一人当たり15,000円を目標としてお願いいたします。

また、グループから10名以上の米山記念奨学功労者を輩出するようお願いいたします。

会長の皆様へ

2018-19年度のRI会長テーマをよく理解して頂き、地区活動方針に添ったクラブ運営をお願いします。

- ① 会員増強、特に20～30代の若手と女性会員の増強。
- ② ロータリー財団の補助金を活用しての奉仕プロジェクトの立案実施。
- ③ クラブのホームページ、SNS(フェイスブック・ツイッター等)を活用して自クラブ、ロータリーを地域に周知してください。
- ④ クラブ会員にマイロータリー登録を推奨してください。
- ⑤ ロータリー財団、ポリオプラス、ロータリー米山記念奨学会への寄付と寄付ゼロクラブ解消にご協力をお願いします。
- ⑥ クラブ内で独自の戦略計画を立てて中長期の持続的な奉仕活動を行ってください。
- ⑦ RIロータリー賞とロータリーRI会長特別賞を意識したクラブ運営を行ってください。
- ⑧ ロータリーデーの立案と実施をお願いします。クラブ近隣の方々に自クラブとロータリーを紹介してください。

国際ロータリー第2790地区

2017-18年度 ガバナー・エレクト

橋岡久太郎

橋岡 久太郎

地区ロータリアンの皆様と手を取り合い、自分自身の中で、地域社会で、そして世界で、良い変化を生むために、行動していきましょう。

地区研修・協議会受賞者一覧

クラブ奉仕活動優秀クラブ

《クラブ会報優秀クラブ》

成田ロータリークラブ

会長挨拶、委員会報告、ニコニコ報告、写真やイラストが綺麗に配置され、卓話内容も省略なく全てを記載していると思われる。通常は 8 ページ、時には 12 ページにもなり圧倒的に中身が濃い。これが毎週発行されていることを高く評価する。

銚子東ロータリークラブ

題名の「とっばずれ」が目を引き。毎号違う地元の写真が掲載され、雑誌のような趣がある。会長挨拶、幹事、委員会報告、卓話等の記事も充実しており、左右段組みも見やすい会報を評価する。

八千代ロータリークラブ

表紙のバラが目を引き。ニコニコ、友愛 BOX、メイクアップに役立つ近隣クラブの例会日の掲載もある。写真やシーズンに合ったイラストも多く、季節に合った文部省唱歌が懐かしい想いを催す面白くバラエティにとんだ会報を高く評価する。

《会員増強優秀クラブ》

柏南ロータリークラブ

RI の重要課題である「クラブの会員基盤を広げ、多様な会員を増やし」を理解し、ガバナーの目標をはるかに超える純増 7 名（21% 増）の会員増強を成し遂げたことを評価する。（1 月末現在）

千葉西ロータリークラブ

会員増強に対し積極的に活動し、会員拡大や退会防止に努め純増 7 名を達成したことを評価する。（1 月末現在）

木更津ロータリークラブ

女性会員の割合をクラブ内で 14% に引上げ、女性会員の増加に大きく寄与したことを評価する。（1 月末現在）

《社会奉仕活動優秀クラブ》

勝浦ロータリークラブ

パネルシアターを通じて、障がい児・健全者・幼児と施設入居独居老人が表現活動を学び、交流と相互理解を図った活動を高く評価する。

茂原ロータリークラブ

地区補助金を活用し、屏東東ロータリークラブとも協力して、日本さくらの名所 100 選の茂原公園の利用者のためにベンチ 5 基を設置した。利用者に喜ばれ、茂原市から感謝状を頂き、千葉日報及び茂原市の広報誌にも記事が掲載されロータリーの公共イメージを高めたことを評価する。

《国際奉仕活動優秀クラブ》

富津シティロータリークラブ

15 名のクラブ会員ながらベトナムにおける児童支援活動を継続していることを評価する。

《青少年奉仕活動優秀クラブ》

茂原中央ロータリークラブ

暦年の小中学校生や幼児を対象とした交通安全の看板設置活動に加え、本年度は地区補助金を活用し、交通安全指導員と共にクラブ会員が定期的に交通安全指導を行った。また、パトロールベストと横断旗を提供し、ロータリーの公共イメージを高めたことを評価する。

奉仕活動優秀ロータリアン

中村 昇（勝浦 RC）

会員増強退会防止委員長として尽力し 2016 年度より 9 名の入会を実現したことを評価する。

酒井 秀大 (千葉南RC)

クラブで千葉のまちの成り立ちの理解を深めるため、千葉の基礎を作った千葉常胤の漫画本と紙芝居を千葉市内の小学校111校へ贈呈し、10校程度の小学校で紙芝居を演じた。その際、教育委員会や学校等の許可、協力を得るために奔走、さらには、会員の紙芝居上演の運営、連絡等に尽力したことを評価する。

渡辺 敏行 (柏RC)

ポリオの街頭募金活動とふるさと公園への健康遊具設置と植樹にクラブ社会奉仕委員長として尽力したことを評価する。

戸部 謹爾 (柏南RC)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席チェロ奏者のタマーシュ・ヴァルガとクリストファー・ヒンダーフーバーという大物奏者を招いたチャリティコンサートを中心になって成功させた。これは新聞各紙にも取り上げられ、ロータリーの公共イメージ向上に貢献した。寄せられた義援金は九州北部豪雨災害の被災地区に寄付し、子供食堂を中心とする柏市こども未来基金へも寄付をする事が決定している。

宮 寛 (柏南RC)

6年間続いた、独居老人を訪問して花を配る活動に指導的役割を果たした。また、3年連続の柏市光ヶ丘地区青少年健全育成推進協議会主催の剣道大会にトロフィーを寄付する活動や、同協議会及び柏市光ヶ丘地区社会福祉協議会にのぼりを寄付する活動も中心となって推進したことを評価する。

感謝状—クラブ、会員—

袖ヶ浦ロータリークラブ

2017年地区研修・協議会ホストクラブとして尽力したことを評価する。

台北西門扶輪社 (RID3481)

第30回インターアクト国外研修受け入れに付いて、精力的に貢献したことを評価する。

洪 振攀 (RID3481 總監)

第30回インターアクト国外研修受け入れに協力したことを評価する。

感謝状—会員以外—

千葉黎明高等学校インターアクトクラブ

第50回インターアクト指導者講習会ホストクラブとして貢献したことを評価する。

市原中央高等学校インターアクトクラブ

第51回インターアクト年次大会ホストクラブ及び年次代表校として貢献したことを評価する。

市原中央高等学校インターアクトクラブ

顧問 木嶋 勇一・石井 仁之

年次代表校顧問として各校との調整に貢献したことを評価する。

2018-19年度 国際ロータリー第2790地区 組織図

R I 理事	
石黒 慶一 (鶴岡西)	
三木 明 (姫路)	

R I 会長	
バリー・ラシン (イーストナッソーRC・バハマ)	

R I 理事会	
---------	--

地区管理運営部門	
地区指名委員会	
◎ PG 櫻木 英一郎 (千葉)	
PG 関口 徳雄 (浦安)	
PG 宇佐見 透 (千葉幕張)	
PG 青木 貞雄 (成田コスモ*リタ)	
PG 寺嶋 哲生 (柏)	
地区危機管理委員会	
◎ 津留 起夫 (市原)	
PG 青木 貞雄 (成田コスモ*リタ)	
GE 諸岡 靖彦 (成田)	
GN 漆原 摂子 (勝浦)	
木川 雅博 (佐倉中央)	
石渡 安博 (千葉県工会議事連合会)	
地区立法案検討委員会	
◎ PG 山田 修平 (木更津東)	
○ PG 中村 博巨 (柏西)	
PG 関口 徳雄 (浦安)	
PG 宇佐見 透 (千葉幕張)	
PG 櫻木 英一郎 (千葉)	
PG 青木 貞雄 (成田コスモ*リタ)	
PG 寺嶋 哲生 (柏)	
G 橋岡 久太郎 (佐倉中央)	
GE 諸岡 靖彦 (成田)	
地区表彰委員会	
◎ PG 寺嶋 哲生 (柏)	
PG 青木 貞雄 (成田コスモ*リタ)	
地区会計長	
佐久間 英利 (千葉)	
地区財務委員会	
◎ PG 青木 貞雄 (成田コスモ*リタ)	
PG 寺嶋 哲生 (柏)	
G 橋岡 久太郎 (佐倉中央)	
GE 諸岡 靖彦 (成田)	
地区大会関係	
資格審査(委) ◎ PG 寺嶋 哲生 (柏)	
選挙管理(委) ◎ PG 青木 貞雄 (成田コスモ*リタ)	
決 議(委) ◎ PG 櫻木 英一郎 (千葉)	

地区諮問委員会	
PG 佐川 一元 (船橋南)	
PG 土屋 亮平 (松戸)	
PG 大矢 惣一郎 (千葉幕張)	
PG 石井 亮太郎 (松戸東)	
PG 長島 洋三 (市川東)	
PG 秋元 秀夫 (君津)	
PG 鈴木 雅博 (市原中央)	
PG 森島 庸吉 (船橋西)	
PG 増田 裕 (千葉中央)	
PG 杉木 禮夫 (茂原)	
PG 山中 義忠 (船橋南)	
PG 白鳥 政孝 (市原)	
PG 崎山 征雄 (習志野中央)	
PG 中村 博巨 (柏西)	
PG 山田 修平 (木更津東)	
PG 得居 仁 (松戸東)	
PG 関口 徳雄 (浦安)	
PG 宇佐見 透 (千葉幕張)	
PG 櫻木 英一郎 (千葉)	
PG 青木 貞雄 (成田コスモ*リタ)	
PG 寺嶋 哲生 (柏)	

地区史編纂委員会	
◎ PG 関口 徳雄 (浦安)	
PG 櫻木 英一郎 (千葉)	
PG 青木 貞雄 (成田コスモ*リタ)	
GE 諸岡 靖彦 (成田)	
藤崎 政弘 (成田コスモ*リタ)	

ガバナー	
橋岡 久太郎 (佐倉中央)	

副ガバナー	
寺嶋 哲生 (柏)	

ガバナーエレクト (GE)	
諸岡 靖彦 (成田)	

ガバナーノミニ (GN)	
漆原 摂子 (勝浦)	

管理運営統括委員会	
● 増谷 信一 (柏西)	
○ 小林 亘 (柏南)	
会員増強・維持拡大委員会	
○ 櫻井 守 (千葉)	
○ 藤崎 一成 (銚子東)	
○ 諸岡 正徳 (成田)	
○ 瀧 照正 (船橋東)	
フェロウシップ・親睦活動委員会	
○ 神野 美明 (柏)	
○ 落合 一美 (柏)	
○ 山崎 新一 (船橋東)	
○ 角田 幸弘 (成田)	
広報・公共イメージ向上委員会	
○ 平野 一隆 (大原)	
○ 藤崎 泰裕 (千葉西)	
○ 岡野 敦 (佐倉中央)	
○ 岩瀬 和仁 (茂原)	
ロータリー研修委員会	
○ 並木 鷹男 (千葉)	
○ 堀内 正一 (木更津)	
○ 花島 和宏 (柏)	
○ 笠原 智 (成田)	
○ 小寺 真澄 (成田)	
R L I 推進委員会	
○ 今野 文明 (千葉西)	
○ 清田 浩義 (千葉)	
○ 山本 衛 (松戸西)	
○ 山下 清俊 (市川東)	
○ 矢野 理恵 (成田)	

奉仕プロジェクト統括委員会	
● 平野 弘和 (木更津)	
社会奉仕委員会	
○ 清水 隆 (千葉若潮)	
○ 佐藤 康弘 (千葉)	
○ 伊藤 宏司 (千葉若潮)	
○ 宮 寛 (柏南)	
○ 山本 宏子 (船橋東)	
職業奉仕委員会	
○ 鶴沢 和広 (千葉若潮)	
○ 池田 勝之 (千葉)	
○ 西川 昇 (千葉西)	
○ 伊藤 愛彦 (千葉幕張)	
○ 今山 利猛 (柏)	
○ 内藤 智介 (君津)	
○ 幸松 康彦 (松戸東)	
国際奉仕委員会	
○ 高橋 潤一 (新千葉)	
○ 金坂 一郎 (茂原)	
○ 谷 直知 (成田)	
○ 関根 洋一 (千葉)	
○ 金谷 正明 (佐倉中央)	
○ 伊藤 公一 (柏)	
青少年奉仕委員会 (ロータリー学友小委員会)	
○ 金本 元章 (柏西)	
○ 吉田 朋令 (千葉東)	
○ 相川 敬 (千葉中央)	
○ 川村 由里子 (柏)	
○ 鈴木 定徳 (千葉)	

青少年育成統括委員会	
● 中澤 良夫 (四街道)	
○ 岡村 美智子 (佐倉)	
インターアクト委員会	
○ 長谷川 治夫 (鴨川)	
○ 藤代 祐孝 (四街道)	
○ 土井 豊彦 (成田)	
○ 小沢 恒夫 (茂原中央)	
○ 須藤 郁雄 (千葉西)	
ロータリーアクト委員会	
○ 古志 智宏 (浦安)	
○ 小林 昭弘 (千葉)	
○ 小林 宏子 (茂原中央)	
○ 原田 宗広 (千葉若潮)	
○ 田中 孝治 (千葉)	
青少年交換委員会	
○ 小管 和彦 (習志野中央)	
○ 渡邊 昌俊 (勝浦)	
○ 山崎 由美 (習志野中央)	
○ 細田 はづき (佐原香取)	
Adv. 岡村 美智子 (佐倉)	
Adv. 諸佐 博 (小見川)	
RYLA委員会	
○ 黒岩 靖之 (君津)	
○ 香田 隆造 (小見川)	
○ 矢代 秀明 (浦安ベイ)	
○ 中村 吉政 (勝浦)	
○ 吉田 和義 (木更津東)	

- ≪ 凡 例 ≫**
 PG…バスタガバナー
 G…ガバナー
 GE…ガバナーエレクト
 GN…ガバナーノミニ
 ●…統括委員長
 ○…委員長
 ○…副委員長
 Adv…アドバイザー

地区監査(委) 兼 R財団資金監査(委)	
◎	森嶋 康長 (船橋)
	仲田 一元 (印西)
	五十嵐 玲彦 (佐倉)
PG	山田 修平 (木更津東)
戦略計画委員会	
◎ G	橋岡 久太郎 (佐倉中央)
PG	青木 貞雄 (成田コスモポリタン)
PG	寺嶋 哲彦 (柏)
GE	諸岡 靖彦 (成田)
GN	漆原 摂子 (勝浦)

地区研修リーダー	
PG	崎山 征雄 (習志野中央)
地区研修サブリーダー	
《管理運営担当》	
PG	得居 仁 (松戸東)
《米山記念奨学担当》	
PG	関口 徳雄 (浦安)
《奉仕プロジェクト担当》	
PG	宇佐見 透 (千葉幕張)
《青少年育成担当》	
PG	青木 貞雄 (成田コスモポリタン)

公益財団法人ロータリー日本財団	
副理事長	PG 森島 庸吉 (船橋西)
評議員	PG 鈴木 雅博 (市原中央)
規定審議会代表議員	
正	PG 山田 修平 (木更津東)
補	PG 中村 博亘 (柏西)
ロータリー平和センター	
ホストエリアアドバイザー 山崎 敬生 (市川)	
受入16期生(17-19)かつてー	清田 浩義 (千葉)
受入16期生(17-19)かつてー	小熊 祐子 (松戸中央)
受入17期生(18-20)かつてー	城 安雄 (市川東)
一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(RIJYEM)	
社員	PG 崎山 征雄 (習志野中央)
研修部門委員	津留 起夫 (市原)
(RIJYEM保険管理者)	

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会	
理事	PG 関口 徳雄 (浦安)
監事	PG 森島 庸吉 (船橋西)
評議員	PG 得居 仁 (松戸東)
広報委員	PG 宇佐見 透 (千葉幕張)
ロータリー文庫運営委員会	
相談役	PG 長島 洋三 (市川東)
顧問	PG 中村 博亘 (柏西)
委員	PG 青木 貞雄 (成田コスモポリタン)
ロータリー・リーダーシップ研究会 日本支部	
地区代表委員	PG 櫻木 英一郎 (千葉)
ロータリーの友委員会	
地区代表委員	椎名 博信 (習志野)
一般財団法人ロータリーの友事務所	
監事	船越 豊 (千葉中央)

地区幹事長
野池 尚美 (佐倉中央)

ガバナー補佐	
第1グループ	内田 良男 (市川東)
第2グループ	田中 一邦 (船橋南)
第3グループ	穴倉 壽夫 (千葉東)
第4グループ	山崎 喜雄 (千葉港)
第5グループ	吉野 和弘 (君津)
第6グループ	伊藤 正人 (鴨川)
第7グループ	高山 義則 (大網)
第8グループ	高橋 宏資 (銚子)
第9グループ	田中 量教 (佐原)
第10グループ	石川 邦紘 (成田コスモポリタン)
第11グループ	溜川 良次 (柏)
第12グループ	飯生 高一郎 (八千代)
第13グループ	野村 充 (松戸北)
第14グループ	張ヶ谷 昇 (流山中央)

AGI (ガバナー補佐インターン)	
漆原 摂子 (勝浦)	

月信委員会	
◎	鳥塚 亮 (佐倉中央)
○	齋藤 初美 (佐倉中央)
	森本 功 (佐倉)
	齊藤 三智夫 (成田)

国際大会参加推進委員会	
◎	萩原 勇作 (佐倉中央)
○	磯貝 美乃 (佐倉中央)
	岡村 美智子 (佐倉)
	佐々木 高治 (千葉)
	平野 智美 (佐倉中央)

地区幹事団	
地区副幹事長	櫛引 則彦 (佐倉中央)
地区副幹事長	梶原 等 (千葉)
地区幹事	鳥塚 亮 (佐倉中央)
地区幹事	萩原 勇作 (佐倉中央)
地区幹事	岡野 敬 (佐倉中央)
地区幹事	岩崎 肇 (佐倉中央)
地区幹事	木川 雅博 (佐倉中央)
地区幹事	磯貝 美乃 (佐倉中央)
地区幹事	飯田 久美子 (佐倉中央)
地区幹事	齋藤 初美 (佐倉中央)
地区幹事	箕輪 均 (佐倉中央)
地区幹事	鈴木 均 (習志野)
地区幹事	佐野 志信 (八千代)
地区幹事	中村 賢治 (八千代)
地区幹事	土屋 信之 (八千代中央)
地区幹事	平方 雅子 (四街道)
地区幹事	清水 晴好 (習志野中央)
地区幹事	小菅 和彦 (習志野中央)
地区幹事	佐々木 高治 (千葉)
地区幹事	池田 勝之 (千葉)
地区幹事(19-20幹事長)	堀口 路加 (成田)

ロータリー財団統括委員会	
◎PG	櫻木 英一郎 (千葉)
○	水野 晋治 (柏西)
○GN	漆原 摂子 (勝浦)
財団資金・推進管理委員会	
◎	大野 雅章 (千葉)
	浅野 肇 (柏西)
	北村 謙介 (市原中央)
グローバル事業補助金委員会	
◎	三神 秀樹 (千葉南)
	時田 清次 (市原中央)
	諸岡市郎左衛門 (成田)
	吉岡 正之 (成田コスモポリタン)
地区補助金プロジェクト委員会	
◎	大谷 京子 (千葉北)
	沢田 克洋 (成田コスモポリタン)
	坪井 尚也 (佐倉)
	吉田 理愛 (勝浦)
奨学生・学友委員会	
◎	佐藤 孝彦 (浦安)
	森島 弘道 (新千葉)
	遠藤 章雄 (八千代)
ロータリーポリオプラス委員会	
◎	山本 美代子 (習志野中央)
	中沢 由岐子 (柏)
	朱 孝 (習志野中央)
ロータリー平和フェロウシップ委員会	
◎	織田 信幸 (松戸)
	佐川 清 (松戸)
	安田 勝紀 (柏西)

米山記念奨学委員会	
◎	富 一美 (成田空港南)
会計・選考担当	
○	石田 善一 (市川南)
○	川名 光俊 (館山)
奨学生・学友担当	
	佐藤 廣子 (大網)
	加藤 隆 (千葉東)
	土屋 和紀 (千葉中央)
米山奨学事業理解促進担当	
	生形 健一 (八街)
	鈴木 莊一 (君津)
	齋藤 博昭 (浦安)

地区大会委員会	
大会会長	山川 成美 (佐倉中央)
実行委員長	櫛引 則彦 (佐倉中央)
ホストクラブ	佐倉中央ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	習志野ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	八千代ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	佐倉ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	八千代中央ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	四街道ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	習志野中央ロータリークラブ
地区大会記念ゴルフ大会委員会	
大会会長	長岡 貞雄 (佐倉中央)
実行委員長	金谷 正明 (佐倉中央)

事務局	
主任	本田 修
局員	大山 尋美
局員	高橋 恵

会長部会



■会長部会

リーダー	ガバナーエレクト	橋岡 久太郎
サブリーダー	ガバナー	寺嶋 哲生
サブリーダー	ガバナーノミニー	諸岡 靖彦
サブリーダー	ガバナーノミニーデジグネート	漆原 摂子
アドバイザー	次期・地区研修リーダー	崎山 征雄
アドバイザー	パストガバナー	石井 亮太郎
オブザーバー	ガバナー補佐	
オブザーバー	次期・地区会計長代理	福嶋 一嘉
オブザーバー	次期・地区監査(委)兼R財団資金監査委員会 委員	仲田 一元

司会 2018-19年度ガバナーノミニー 諸岡 靖彦

諸岡 靖彦ガバナーノミニー

会長部会開会させて頂きたいと思います。ガバナーノミニーの諸岡 靖彦が司会をさせて頂きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、この会長部会は、PETSの延長ということになっておりますので、100%この時間ご出席を頂きたいと思ひます。

前回PETSにて、地区予算について、皆様方にご審議をお願いするという事で、各クラブにお持ち帰りを頂いておりました。その地区予算につきまして、本日この会長部会にて承認頂いて、決定をしたいという事が、まずこの部会の最大のプログラムでございます。地区予算について、ガバナーエレクト橋岡 久太郎様より一言ご説明をお願いしたいと思います。

橋岡 久太郎ガバナーエレクト

諸岡ガバナーノミニーよりご説明がありましたが、前回PETSにて、地区予算についてみなさま方にご審議をお願いしておりました。皆様、よろしいでしょうか。(拍手)

諸岡 靖彦ガバナーノミニー

ありがとうございました。皆様方の拍手を頂きましたので、地区予算を決定させて頂きました。直ちにこの決定は、隣の幹事部会に伝えることになっております。そ

れでは、次第に従いまして、ガバナーよりご挨拶を頂きたいと思ひます。寺嶋ガバナーよりよろしくお願いいたします。

寺嶋 哲生ガバナー

今日は橋岡ガバナー年度に向けた最後の研修協議会でございます。着々と準備が整っており大変心強いと思っております。多くのクラブにおかれましては、人数の少ないクラブで複数回やる事もあると思ひますが、一度きりの機会ですので、今日お集まりの会長エレクトの皆様には、せっかく与えられたこの機会を、是非、有意義に過ごして頂きたいと思ひます。

過ぎてしまいますと、月日の経つのは、早うございまして、私も昨年この場でガバナーエレクトとして地区研修協議会をもって、あれからもう1年経つのかという風に思っております。

7月を過ぎますと、日々与えられたプログラムをこなす事に、かなりの時間が割かれます。皆様方、充実したクラブ運営を行うための準備、まさにこれから5月6月でどれだけの準備が重ねられるか、皆様には是非、後で後悔する事の無いように、この2か月十分に準備をして頂き、充実した一年を過ごして、クラブの思い出深い一年になります事をご祈念を申し上げ、簡単ではございますが、ご挨拶とさせて頂きたいと思ひます。

崎山 征雄次期・地区研修リーダー パストガバナー

改めましておはようございます。日本の挨拶には3つあります。「おはようございます。」「こんにちは。」「こんばんは。」「おはようございます。」が一番丁寧な言葉です。橋岡さんもそうかと思いますが、芸能界では「おはようございます。」です。

今日は会長の皆様が集まって頂いております。PETSの時に、会長の皆様へという文書を読んで頂いたと思います。けして、難しい事は書いてはありません。ご自分が会長になって初めて自分のクラブをもう一回見直すそういう時です。企業の社長の皆様もいらっしゃると思いますが、やはり社長になって初めてわかる事は多々ありますよね。副社長、専務、部長には分からない事、社長ではないと分からない事、決断しなくてはいけない事があります。ロータリーも同じです。そういう風に考えて頂いて、やはりロータリーの中の事をしっかり把握して頂く、これが大事なのではないかと思います。

2016年の規定審議会でかなり大きな変化が出てきました。21世紀になってから、DLP、CLPに始まって、いろんな組織の変化が起っています。考え方も変わってきています。直近の2016年の規定審議会では大幅な変更がありました。「例会を少なくしても良い」とか、「もっと自由に考えて、柔軟性を大事にしよう」。早速、みなさんのクラブの中でもそういう風にしたクラブがあると聞いております。幾つかは知りません。大事な事は、ひとつっておきます。「会費を安くしなさい。」「例会の回数を減らしても良いですよ。」は、楽をして良いというのではありません。そうすれば、会い集まるという事を期待して、例会を少なくしなさい。会費を安くしなさい。人が増えれば、一人あたりの単価の会費が安くてもトータルでは会費の収入は上がる。これを言っているのです。ですから、仮に例会の回数が減って、会費を安くして人数が変わらないということは、会社がさぼっているという風に言い切れません。どうかこの辺の事を良く考えて頂いて、これから一年間何が何でも成果を上げて頂きたい。最後まで華やかに舞い踊って頂きたい。という事をお願いして、そういう事ができれば、橋岡ガバナーが一年間を全うできたという事になります。皆様も同じです。よろしくお願い致します。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

会長にならないとわからないという事がおありになると思いますし、既にお感じになっていらっしゃる会長エレクトの皆さん方もおいでになっているかと思います。改めて、やはり会長になったという事については、気持ちを新たに頂く機会であろうかと感じます。そしてまた、規定審議会での組織規定が柔軟化されたという事も大きな話題となっております。これにつきましても、それぞれの会長さんのクラブでは、どういう状態であるのかなと、どういう風にして行くとクラブが元気になるのかなと、その辺は確かにご指摘の通り、大きな課題なのかなとそんな風にも思っております。また後程、これか

らの橋岡ガバナーエレクトから、講和を頂戴致しますけれども、皆さんがたには、その辺の角度から、話をお聴き取り頂きながら、橋岡ガバナーエレクトのお話が終わりました後で、質疑応答の時間を設けさせていただきます。その席で、十分に何かあったら、また、わからない事等ございましたら、率直にお話をして頂きたいと思います。皆様、会長エレクトという事で、同じお立場でございますので、これからもいろんな形で問題意識を共有して頂くには、これがチャンスだろうと思います。

漆原 摂子ガバナーノミニーデジグネート

ガバナーノミニー諸岡様、また、それに先立ち崎山リーダー・パストガバナーからも立派なご挨拶と申しますか、今日この会議に向けた皆様へのお心構えのお話がございましたので、私からはもはや、何も申し上げることはございません。皆様、3月終わりのPETS、そして本日の全体会議、午後の部会では、恐らく、更に詳しい次年度の橋岡ガバナーエレクトの目標なり、指針なりが、お伺いできる事かと思っております。私も共に、学ばせて頂く所存でございます。よろしく願いを申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

橋岡 久太郎ガバナーエレクト

PETSで皆様方には、十分に私の気持ちはお伝えしてあると思います。改めまして、今日の冊子も、「会長の皆様へ」という事で、同じ事が書いてございます。あの時申し上げました8つばかりのお願い事を是非クラブ内でやって頂けたらと思っております。皆様お一人お一人が会長として力を発揮されますために、14名のガバナー補佐の方々、そして地区チームが、皆様方の幹部またいろんな意味でのお手伝いをさせて頂く準備が整っております。どうぞ好きなようにクラブの運営を楽しくおやりくださいませ。あの時も申し上げたと思いますけれども、たった一年しかございませんので、思う存分やってくださいませ。ロータリーは、やっちゃいけないという事はございませんので、定款細則から大きく逸脱することはいけません、それ以外の事でしたら、お一人お一人の皆様方の思いをクラブのメンバーに伝えられて一年間をお過ごしください。楽しみに致しております。

今日、皆様方にどうしてもお話ししたい事があり、7月1日から正式に皆様方は、国際ロータリー、ロータリークラブの会長になられます。是非、会長就任を祝うという形で、ご自分でお祝いをしてください。お気持ちで結構ですので、ロータリー財団に会長として是非、お力添えをお願いしたい。私からは、この一点だけでございます。ガバナー補佐の皆様も同じでございます。

これは毎年のごとでございますが、RI会長から提示されておりますロータリー賞を是非クラブで目指されてください。それが、RIが提唱する理想的なクラブということになるかと思っておりますので、チャレンジをされてみてくださいませ。そんなに大変な

事を言っておりませんので、是非チャレンジをお願いしたいと思います。

ガバナー公式訪問でございますが、冊子と次期ガバナー補佐の皆様方からもご案内が行っているかと思っておりますので、8月から始まりますけれども、参りました際は、厚くもてなして頂けたらとても嬉しく思います。公式訪問の後、皆様方のお気持ちやお時間がございましたら、懇親会をふるって催して頂きたいと、ガバナー補佐の皆様方に言ってありますので、是非、お考え頂ければありがたいなと思っております。ゆっくりとクラブの方々とお話をさせて頂きたいと思っております。

ロータリー情報研修会について、ガバナー補佐の方々からご案内がいているかと思っておりますので、是非、有意義なクラブのメンバーの方たちとお過ごしになって、ロータリーの素晴らしさを改めて、会長として合致頂ければと思います。また、IMでございますが、ガバナー補佐の方たちに全権一任しておりますので、ご相談の上、各グループでおやり頂ければと思います。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

大変簡潔なガバナーエレクトからのご挨拶でございました。要するに、奉仕とクラブが元気になる活動をしっかりやって欲しいというのが、橋岡ガバナーエレクトのお考えだろうと思っております。やはりクラブはそれぞれに、クラブの事情も抱えていらっしゃると思っております。それぞれに、会長として新年度にあたっての準備、クラブの活動計画書の取り纏め等、まさに、おやりになっている所かと思っております。その間において、スタートするにあたって不安な点、問題点、課題、質問がございましたら、挙手を頂きましてご発言を頂きたいと思っております。

船橋東RC 水庫 直子会長エレクト

当クラブ42年目の歴史の中で初の女性会長という予定でおります。緊張しておりますし、入会9年目で諸先輩がいらっしゃる中で就任するという事になっております。気持ちとしては不安ばかりでございますが、目標を決めました。感謝の気持ちを大切にしていこうと思っております。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

感謝の気持ちを大切に、率直に、素直に、初の女性会長として豊富を頂戴いたしました。

鴨川RC 小高 由加里会長エレクト

いろいろと目標や何をしたいか考えているところです。今日は、橋岡ガバナーエレクトのお話を伺いまして、伝統と未来という言葉を頂いたので、それを軸に、伝統は各クラブ歴史があると思っておりますので、しっかり名を恥じないようにして、未来についてはポリオ撲滅という話も伺いましたので、その辺を中心にこれから動いていけたらなと思っておりますので、また、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

皆様方本当に会長エレクトということで、腹が座っていらっしゃるという感じがいたします。クラブによっていろんな事情を抱えていらっしゃる部分や、共通の部分があれば違っている部分もございます。特に、会員の基盤の問題でなかなか当地域は人口の流出が大きくてという事ですね。当地域は全国の縮図と良く言われる事がございます。都市部という事と、はっきり線が引かれているというようなそういう全体の様相がでございます。そういうクラブで地域で何に会員基盤として、自分たちが持っているものを高めていく事が出来るのかなという事で、そういう部分も問題点というのは、必ずぶち当たると思っております。会長になって初めて気が付いた当地域の良さ、個性というのも必ずあると思っております。そういう部分をどうやって膨らませてやっていくか、その辺を強みは強みとして育成していくという事が大事な要素だなと思っております。会員増強につきましてもなかなか厳しいですが、当節は、若い方が少ない為に、情報という手段が非常に発達している部分があります。そういう部分をどうやって、新たなクラブの活力にしていくか、その辺も大変に大きな切り口になるのかなとそういう気が致します。

千葉RC 梶原 等会長エレクト

1951年に設立をしまして、68年目になります。もうすぐそこに、70周年、75周年が迫ってきています。

3年前に戦略会議というのを正式にクラブの中に立ち上げをしました。きっかけとなったのは、我がクラブから、櫻木英一郎がガバナーに輩出させて頂きまして、その時の会長から戦略会議というものを、作らせて頂きました。戦略会議の中で、最初に目標にしたのが、一番初めにできたクラブであるので、何のどこの部分についてもトップであるべきだという風になければいけないと、その時の戦略会議の方で決めさせて頂きました。どこがトップだと言うと、若干人数だけは一番かもしれませんが、財団の寄付にしても米山の寄付にしても、奉仕活動の数にしても、まだまだ他のクラブに劣っている部分が相当あります。

千葉市の中央区にクラブがありますので、そこに本社・支店を構える大手の企業の支店長さん方が在籍をされております。40%近い方が、支店長枠として会員として在籍しております。企業出向の支店長様方には、委員長はおろか、副委員長の役も与えずに、たぶん、また、こういった方々には、お願いをしても恐らく活動をして頂けないだろうからという事で、勝手に我々が、地元の会員が遠慮をして地元の間人だけで活動してきたその結果が、人数的にも60人ぐらいまで落ち込んでしまったりしました。ピークの時には、98人ぐらいまでいったそうです。何で100人以上目指さなかったんだという話をしたら、ネームプレートを挿しておくボードが足らなくなるからという、半分冗談みたいな話も聞きました。まずは100人を突破するクラブを作るんだと

いう事で、3年前の戦略会議の時に、当時の会長がそれを掲げました。

現在、会員数90名、ただ支店長の移転等がありますので、どうしても90名割る時もありますし、また、戻るときもあるという事で、これは揺るぎない100人クラブというのを目指さなければいけないと思っております。それは70周年の時には是非、揺るぎない100人を体制は作っていきたいと思っております。

昨年度は定款の変更がありましたので、大きく見直しをさせて頂きました。そして今年度の会長は、国際奉仕に少し目を向けようという事で、私どものクラブは姉妹クラブもございませんし、海外と交流というのでもございません。交流=奉仕ではございませんけれども、実際自分たちが足を運んで、まずは何が出来るかという事を、やって行こうという所から、今年は国際奉仕に一步踏み出す足掛かりをつける事になりました。来月、国際奉仕委員会の方でフィリピンに行って、まずは現地を視察してくるという事を、やって行きます。

2018-19年度は、カウンセラーグループというのを作ります。これは会長を終わられたベテランのメンバーの方々の居場所をきちんと確保するという、実際に居場所がなくなって退会をされてしまうメンバーも何人かいるんですね。そういう方が出ないよという事で、その方々の居場所を作る。では何をやって行くかという事ですけれども、橋岡エレクトがテーマにされました、「伝統と未来」そして「誇りと連帯感」、我々千葉ロータリークラブも68年の歴史を持っておりますので、まずは、千葉クラブの歴史を学ぶ、千葉という土地の歴史を学ぶ、千葉の土地にこのロータリークラブが出来てどういう風に千葉の町が発展していったのか、県内に波及させていったのか、こういう歴史を、やはり先輩方々からきちんと学んで行って、その上で、千葉ロータリークラブがどんな奉仕活動が出来るのかという事をみなさんと考えて行こうと、その為にカウンセラーグループのベテランの会長エレクトの方、会長経験者の方々を中心にして、本来であるファイヤーサイドミーティング、回数を重ねてやって行きたいと思っております。カウンセラーグループの会長経験者の方々は、10名以上おりますので、毎月2回・3回と、小さなファイヤーサイドミーティングを数多くやりまして、新しい会員そしてまたベテランの会員が歴史を共通認識して、そして新しい地域への奉仕活動、こういうものをきちんと探求して行こうと、またそれを実践して行く足掛かりを付けようということで18-19年度は活動をして行きたいと思っております。

船橋西ロータリークラブさんの50周年、そして勝浦ロータリークラブさんの55周年に出させてもらって、本当に素晴らしい地域の奉仕活動をやられている事を勉強させて頂きました。私ども千葉ロータリークラブも少しでもみなさんのクラブの活動を見習って、伝統あるクラブと言われているように少しずつ成長して行きたいと考えております。ご指導よろしくお願い致します。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

やはり千葉クラブは、櫻木ガバナーを輩出されてからすっかり変わったなという印象がございますけれども、大変綿密にクラブの活動計画を考えていらっしゃる。ポイントは戦略会議を経て、継続的な活動ができるよという事。またもう一つは細かいクラブ内のコミュニケーションを高めて行くよというお話がございました。ここで会長エレクトの皆様のお話とアドバイザーの方々の話もミックスしながら、話を進めて参ります。

単年度でありながら、継続的にというお話になりますと地区も全く同じなんです。地区でも今年度の寺嶋ガバナー年度から活動がございまして、皆さん方が自らのクラブをどういう風に継続的に運営していく事が出来るのか、していく事が必要なのかというような点を、寺嶋ガバナーにアドバイスを頂戴したいと思います。よろしくお祈りします。

寺嶋 哲生ガバナー

かつての高度経済成長期のような、昨日より今日、今日より明日のほうが必ず良くなる時代でございますので、ロータリークラブもさしたるビジョンを持たずとも、ゆっくりと成長していった時代だったと思っております。しかし、今は、人口減少の時代でございますから、手をこまねいていて、何も手を付けなければ、これはゆっくりと衰退をしていく事、否応なくそうなってしまうという事です。こういう時代なればこそ、単年度周期を超えて、複数年に渡って、ビジョンをみんなで共有するという事はとても大切な事であると、私は考えております。例えばそれをクラブ単位で落とし込んでみた場合、それは会員増強・退会防止という観点でも結構でございます。そして奉仕プロジェクトを通して、クラブを活性化するという観点でも結構でございます。そして、ロータリーとして公共イメージをどう向上させるかという観点もございまして、それから、職業倫理の向上、会員の親睦をどう深めて行くのか、そんなビジョンであっても宜しいかと思っております。それぞれのクラブにとって、一番必要だと思うような事を是非皆さんで共有をして、それを何年かかけて、一つの目標を達成できるようなそういう手法が必要とされる時代になったという風に、私は考えているということでございます。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

やはり大きな変化に見舞われているという、時代背景ですね。この事に関わらず、我々がロータリーを考えて行く上で、一番大事な環境条件であると思っておりますので、その点それぞれのクラブが課題をお持ちであるわけですので、その点をしっかりと掴んで行ってそこに培って行かなければならないと思っております。

会員増強に悩んでいるクラブもあります。

白井RC 石戸 謙一会長エレクト

私は根っからの白井の住民ではございませんでして、どちらかというと印西の方々中心に構成されているクラブです。段々会員数が減ってきて、さあどうしようかという事で、私の番に回ってしまったわけです。結構前からの方は何とか声をかけたりしているのですが、なかなか思うように行かない現状でございます。私の抱負と致しましては、一番はPRが足りないという事で、ロータリークラブの名前をある程度前面に出して、いろんな活動をしよう。何かをみんなで一生懸命やろうとしても、なかなか人数が少ないので出来ませんので、それぞれの仕事の場でPRしているところです。みんなで寄ってたかって、こんな事をしているぞという、できれば会員、年に一回くらいのPRを兼ねてロータリーの名前を出して、いろんな事をやって行こうかなという風に私は考えております。そして提案をしてやって行きたい。商工会、地域の活動団体もあると思いますが共同の行事をやって、そのような形でみなさんと協力をしてやっていくつもりです。皆様方には、教えて頂きたい事がたくさんございますので、その時はよろしくお願いしたいと思います。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

会員増強の問題に付きましては、地区に会員拡大という新しい委員会の組成になる訳ですけども、橋岡エレクト、会員増強についても、地区委員会の改正についてご説明を頂けますでしょうか。

橋岡 久太郎ガバナーエレクト

PETSの時にお気づきと思いますが、「退会防止」という言葉が、言葉として好きではなかったので、「維持拡大」という委員会名に変えさせて頂きました。ロータリークラブは素晴らしい組織でございますので、来るもの拒まず、去る者追わずというのが私の気持ちです。防止してまで残ってもらいたいと思いません。お一人お一人が素晴らしい会員で構成されている組織でございます。その仲間たちに対しても失礼だと思しますので、そういった意味で「退会防止」というのは、名称として辞めさせて頂きました。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

「維持拡大」という委員会名で新たな体制を取っている事でございます。これには新クラブという意図も込められていますね。

橋岡 久太郎ガバナーエレクト

私たちの地区は、暫く新クラブが出来ていない。国際ロータリーの方から、2クラブ作って欲しいと、あなた方の地区であれば、2クラブは出来るはずですので誕生させて頂きたいと仰せつかって参りました。言うは易しで、なかなか難しいのですが、作ろうと思ってやれば出来ると思しますので、ご協力を頂きたいと思っております。ご自分のクラブの中から一つ、というお考えの会長エレクトのかた

はいらっしゃいますでしょうか。地区としてもその方向で頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

会員増強について、会員数の点ではいろんな形で話題に上っています。大多喜ロータリークラブ 諏訪 武士会長エレクト、小さくてもこのようにやっていますというお話もございましょう。ただ、これが5年、10年経つと避けては通れない問題なのかなと思いますので、それについてのお考えをお聞かせ願えればと存じます。

大多喜RC 諏訪 武士会長エレクト

当年度も会長、次年度も会長でございまして、岐山パストガバナーがリーダーだった時には、ガバナー補佐として、ガバナー補佐会議にも出させて頂きました。6度目の会長を引き受けする事になりました。

ガバナーがこちらにいらっしゃいましたので、ご存知かとは思いますが、当クラブは会員数7名でございます。いろんなご病気や年齢を理由に退会された方が多くありました。近年、他地区からの会員ばかりでは、ということで、控えさせて頂きました。年度が終わるまでに10名を超える体制で行きたい。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

会長さんへ支援をするという事が、地区委員会の一番の課題でございますので、地区委員会のほうにもご相談頂いて、いろんな形で知恵を集めて、地区活性化の為に、また地域が元気になって行く為にも、活動して行く事をお願いしたいと思います。

ロータリーらしい奉仕活動とは何だろうという事で、それぞれのクラブの取り組み、方法をお話し頂ければと思います。

大網RC 宮間 文夫会長エレクト

入会して間もないものですから、今のご質問にどのようにお答えするか、お答えのしかたがわからないというのが本音でございます。ご質問とはすれ違いかもかもしれませんが、私が来年度会長を仰せつかりまして、その次の年度が創立20周年の記念事業があります。従いまして、その準備をしっかりと務める会長として、努力していく所存でございますので、このようなお答えで恐縮ですけれども、よろしくご指導のほど、お願い致します。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

地区のロータリーをご理解頂くために、地区では年度が替わりますと、いろんな形で例えば、奉仕プロジェクトのセミナー、会員増強のセミナー、そういう形のものを地区の委員会がセミナーを設けますので、その席には、会長さん、幹事さん、もしくはご担当の委員長さん方が出て来て頂いて、そしてその話をまずクラブにお持ち帰り頂くという所から、地区の考え方、またロータリーとしての理念の在り

方という話が出て参ります。そういう所から、クラブでの対応をお考えいただくとインスピレーションが湧いてくると思います。

任意ではありますが、寄付というのは、ロータリーの活動を考える行く上では、これは出てくる問題でございます。地区から毎年、各クラブから来て、地区の方には3年後に戻ってくるという地区補助金の問題もでございます。やはり、これは鶏と卵と両方大切にしなければならない話になります。そういう意味でどうやってクラブの中でそういった寄付を強請ではなくて、お勧めをしてロータリーの素晴らしさを伝える、理解をする中でこれをクラブとしてまとめて行くというのが、会長の責任だと思えます。

50周年を祝われました船橋西クラブとしての考え方、あるいは次年度に向けての話を聞かせて頂ければ幸いです。

船橋西RC 安岡 聖剛会長エレクト

創立50周年に向けて、全員財団寄付という話を目標にしたのですが、上の方から、「寄付というのは善意の行為の現れ、強請はしない。」という言葉が出ました。ただ、常にやっている人は常にやっている、やらない人はやらないという感じを受けましたので、ある程度方向性に向けて、スローガンなり何か言葉を作り、それに向けて一年動かないと寄付の額は集まって行かないような気が致します。

寄付は強請か、強請でないかという話がありましたが、自主的な寄付ということで纏まりました。集める為には、一つスローガンとか、一つの方向性を持たないと、全体的な寄付の額は増えないという事を実感したという事です。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

寄付については、強請できない代わりに、どういう形で会員の皆様をお願いをしていくかという事は、非常に大変難しいデリケートな問題でございます。

柏南RC 岡田 尚子会長エレクト

当クラブは、財団の寄付は100%うまくいってなかったものですから、私の年度は100%達成の、一人\$150の予算付けをクラブの方からしまして、理事会のほうを通させて頂きたいと思っております。前々回年、会費を1万円程、クラブの会員様の了解を得て上げさせて頂いて、寄付の方に回させて頂くような手配もしておりました。米山の寄付の方は毎年順調に進んでいたのですが、どうしても財団への関心が低かったというのが当クラブでございまして、そこの所を解消したく、提案して後年度の委員長には理解を得た所でございます。そして、奉仕活動のほうも、順調に進んでおまして、今回表彰も二人個人で受けて、会員増強にもクラブの方で、表彰を受けた次第でございまして、引き続き、当年度ではなく、継続事業としてこれから先も続けていきたいと思っておりますし、会員増強には、相当に力を入れて今年も、また来年、表彰されるように頑張っ

て行きたいと思っております。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

最近のクラブの傾向を見ておきますと、若い方々が若い年代のクラブの会員の方とそれからベテランの会員の方々、大変ロータリー歴の長い方々、そういう方々との対話にギャップが出て来ているという面も、これは度々、指摘をされております。この辺のクラブの中でも、対話・コミュニケーションの問題について、お聞かせ頂きたいと思えます。

流山RC 小倉 信一会長エレクト

当クラブでは、現在会員数が15名ということで、今年の2月で1人入って15名。ここ数年で入った方はみなさん、30代40代の方が入会して頂いております。世代間ということですが、逆に人数が少ないということで、懇親会なり、いろんな行事等も大人数でない分、若い人と会員歴の長い方と、逆に仲良くやっておりますし、日々の夜間例会等でも、人数が少ないからこそ、全員が会話できたという事で、当クラブはうまく行っている。逆に人数が少ないという事で、会員増強が一番の課題だと思っております。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ

会員増強・クラブの中のコミュニケーションは、やはりどこかで繋がっている問題だと思えますので、クラブの中を新しい変化をつけていく為の、クラブの中での対話はいろんな形で、世代間の問題もそうですし、各委員の中でもそうですし、そういった中でもコミュニケーションのチャンスはございますので、是非とも対話を活発に進めて頂きたいと思えます。もう1クラブ、クラブのコミュニケーションについて、ご発言頂きたいと思えます。

松戸RC 森田 雅久会長エレクト

当クラブは昭和31年に創立いたしまして、今年で67年になります。高齢と言われる80代の方もいらっしゃいますし、若手の40代の方もいらっしゃいます。そしてクラブの平均年齢が60歳。すごくバランスの取れたクラブだかと、自分自身思っております。その中で世代間の考え方の違いですとか、ギャップということに関しまして、例会中、ロータリーのバッジをつけている時、ロータリーの話をする時、会合の席、統一して共通のテーマを持ってお話をしている。ということに尽きると思えます。クラブでは職業奉仕という一つの金冠が付いておりますが、これは決して悪いことではなく、各々の企業また会員が置かれている立場での職業を通じて、みなさんでテーマに沿って話をする。ここには、年代の差、ベテラン、若手であったり、ギャップはないと思えます。松戸方面5クラブ中4クラブが、伊勢丹松戸店を例会場としておりましたが、伊勢丹松戸店が撤退されたということで、例会場がここで移転を致しました。4クラブの例会場がごそっと替わりまして、まだ落ち着かないという所もありまして、恐らく来年4クラブもしくは、5クラブ、松戸13

グループに関しては、例会場を通じて、親睦を図るとか、そういった所になるのかなと思っております。

佐倉中央RC 飯田 久美子会長エレクト

当クラブは、橋岡ガバナーエレクトを輩出させて頂いたということで、大変光栄に思っております。当クラブはただ今23人という中で、ガバナーを出させて頂いたという事は、素晴らしく光栄な事でございます。そして、修行の年でございます。私は4年目という事で、とてもこのような席でお話をさせて頂けるような立場ではございませんが、当クラブのメンバーそして、12グループの皆様の応援を頂きながら、とにかく、橋岡ガバナー年度を成功させるという事が、最大限の大きな大きな努めでございます。

ガバナーが8月～11月にかけて公式訪問致します。当クラブからもメンバーと一緒に訪問させていただきますので、その時はまた、よろしくお願ひしたいと思います。そしてガバナーが出たという事で、今までの23人のクラブ員が、今までの思いでやっているのではなくて、一人一人がロータリーに関して、とても向き合う、自分と向き合う大切な時期になったと思います。会員の気持ちのベクトルを同じ方向に向かわせて、そしてロータリーに対するモチベーションを上げて、コミュニケーションを取りながら会員一人一人を大切にしながら、そして、皆様と協力しながら、このガバナー年度を成功させて行きたいと思っている所存でございます。どうぞ皆様よろしくお願ひ申し上げます。

崎山 征雄次期地区研修リーダー パストガバナー

いいお話を聞かせて頂いて、ありがとうございます。全体的に特段に問題はないように思うのですが、何点か引っかかる事があります。私は、寄付をお願いした、人をお願いした。けども間違っでは困ります。寄付は善意のものであって、押し付けではないんです。この1点だけは間違えないで欲しい。先ほど、予算付けをしてとおっしゃいましたね。あれはダメです。そういうのは、「赤信号みんなで渡れば怖くない」と同じ発想なんです。ロータリーは、会員一人一人の力でもってやっているのです。諏訪さんみたいに、7人でやっても元気にやってるよというのは絶対に無くならない。これは保証しますよ。そのうちまた復活して、20人、30人になるでしょう。要するに、一人の人間の生き方ってあるんですけど、職業奉仕も、けして金を稼げという形でなく、一生懸命やってくれと、結果的に稼げますよと。そして寄付を出来るならやりましょう。別に人と足並みそろえてやる必要はない。それは、目標いくらって言いますよ。だからと言ってそういう発想に陥ると、人間減ります。間違いなく。けして人間は増えない。

寄付というのは、自発的にやるものだと思います。私は年も年ですから、年金を貰っています。年間100万円くらいです。だから、年金100万円なくても暮らして行ける。それを全部出しましょうと

言っているんです。仕事をやっていれば収入がある。寄付をすると税額控除ありますよね。あるんだったら、そのぐらいは出しましょう。だから、私は年間100～150万円くらい。うちの妻は一緒に仕事していただけますけど、ロータリーに関係なくやっています。目標年間100万円くらい。これは自由で、やれと言ってやっているのではない。私がやるから、あなたがやれという事ではない。これが寄付の本来の考え方です。

それと人の問題もそうですけれども、やはり生き方、考え方って例えば、こういう事を言っている人がいる。京セラの稲盛さん「人生、より多く生きて幸せという解釈にはどうすれば良いか。考え方を換えれば人生180度変わりますよ。すなわち、こういう公式があります。本が出ています「生き方」という。人生・仕事の結果は、考え方×熱意×能力。ここにいらっしゃる皆さんは、能力も熱意もある。考え方もある。立派なんです。この三つの掛け算で決まるんですよと言っています。能力は最大の知恵ともいう、先天的な資質を意味します。熱意と言うのは、事をなす情熱や努力なんです。自分が出来る事に、好奇心を持って、広く世の中を見て、困っている人がいたら、何か出来る事は無いのかなと思う事が熱意です。クラブを運営するという事が、自分の会社を運営する事と同じと考えれば良いと思います。それには、自分が率先して何でもやらなければ自分の会社は大きくなりません。利益も取れません。これだけは言えると思います。ですから、そういう意味合いで頑張っってやって頂ければ、たぶん、状況も、寄付も増えるのではないのでしょうかという事です。そういう所で気を使ってやっぱり倫理感を持って、ロータリーをやってください。形に流れてはいけませんよという事を最後に言っておきたいと思いました。

石井 亮太郎パストガバナー

大変長い時間お疲れ様でございます。皆さんの部分的なご意見に関しまして、アドバイスを申し上げるという事であって、アドバイザーという席を貰ったのですが、しゃべる機会もないものですから、いつも黙ってお話を聞いて帰るという老人でしかないので、今日は、諸岡さんが、私にマイクを向けてくださったものですから、ちょっとしゃべらせて頂きます。

私が、松戸ロータリークラブに席を置いた時に、流山クラブに鏑木さんという方がおられまして、非常に勉強家で、私、鏑木さんと何回かお会いする機会があって、本を勧められて、ロータリーにちょっと目が覚めた気がしました。最近、ロータリーが揺れているような気がしてならない。クラブの代表者、会長に就任されるということは名誉なことであると同時に、クラブのリーダー・トップでありますから、お仕事のいろいろと忙しくなるわけでありまして。しかし、何度も会長になられた方は、幸運だと思います。もちろん、クラブの運営管理に携わるトップリーダーとして、就任されるわけですが、ご自分自

身に取り入れてその会長職で、知識を得られるチャンスであります。私は、ロータリーにお世話になって58年になります。今88歳であります。我がクラブの会長も出席しておりますが、若い方と巧みにやっております。年を見違えることも多くございます。来年の一年間、みなさん、会長にお入りになって、いろいろと経験される知識を得られる、友人関係ができる。ロータリーの基本は本人です。スクラム組んで団体で何かしようとするのはロータリーではないんです。金を集めて何かしようというのもロータリーではない。これは、崎山PGと全く意見が一致しております、寄付は、出したいときに出す、いくら集めたいと号令がかかるというのは、おかしいと思います。寄付のお金がどう使われて、地球上でどんな良い影響をもたらしているか、そういう事理解を浸透させる事が大事だと思います。それによって共感して、今年はこれくらい年金貰ったから、財団がそんな良い事をやっているのであれば、これだけ寄付しようかなと思ったら。無理な人は出さなくて良い。無理に強要しないようにして、ロータリーに貢献されるような人たちを、会長さんたちが、お育て頂くと、このような順序がある方が良い気が致します。自分の信念でロータリー活動を行って行きたい。クラブに対する、友人に対する貢献の度合い、これが大事なんです。終わったら終わりではだめだと思います。いろいろな経験体験を生かし、ロータリーライフをやって頂けたら一番良いと思います。ご自身幸せな事ではないかと思えます。

諸岡 靖彦ガバナーノミニ一

石井PGからご自身の体験から則したお話を聞いて、こういう偉大な先輩がいらっしゃるの、我々も、今頑張れよという気が致します。まさに会長エレクトの皆様方が、7月から大いなるロータリーの活動できるチャンス、また、ご自身の身に返ってくる、熱きロータリーモーメントが待っている期間ではないのかなという気が致します。是非とも皆様方が、7月からの会長年度、本当に立派に働いて頂いて、大いなる人生のステップを刻んで頂けたらと、思っております。この部会も熱が入った話にできたと思えますし、時間もほどほどの時間で終了する事が出来たと思えます。皆様方、是非、クラブに最後の活動計画書その他、活動の準備に磨きをかけて頂くために、この研修会をご参考にして頂ければ幸いと存じます。それでは以上を持ちまして、地区研修協議会・会長部会を終了させて頂きたいと思えます。どうもご協力ありがとうございました。

幹事部会



■幹事部会

リーダー 次期・地区幹事長
アドバイザー パストガバナー
アドバイザー パストガバナー
サブアドバイザー 地区幹事長
サブアドバイザー 次々期・地区幹事長
サブアドバイザー 地区史編纂委員会委員

野池 尚美
大矢 惣一郎
鈴木 雅博
神野 美明
堀口 路加
藤崎 政弘

司会・進行 2019-20年度地区幹事長 堀口 路加

ただいまより2018-19年度、地区研修協議会幹事部会を開催いたします。

私は2019-20年度幹事長予定者の成田ロータリークラブ堀口でございます。

ここにお集まりの皆様は会長エレクトと共にクラブ活性化のために中心となっていただく幹事の方々でございます。忌憚ない活発なご意見と共に、速やかな進行のご協力をどうぞよろしく願いいたします。

アドバイザーのご紹介

パストガバナー 大矢惣一郎様ご挨拶

長い間幹事部会リーダーをしていましたので、この部会に出席しました。

皆さんは会社で言えば代表権を持つ専務役が皆さん役割ですので、クラブをまとめリーダーシップをとり、中心になる役割と認識して活動してください。

パストガバナー鈴木雅博様には最後に講評をいただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

リーダー 次期幹事長 野池 尚美

皆様よろしく願いいたします。

サブアドバイザー 幹事長 神野 美明様

皆さまにはこの一年お世話になりました。初めての幹事さんも多いと思います。クラブで聞けないことを遠慮なく聞いてください。

サブアドバイザー

16-17年度幹事長・地区史編纂委員 藤崎 政弘様
地区研修協議会を機にクラブ計画書を作成していくことと思います。

幹事はクラブを統括する大変な重責だと実感しております。

クラブの活性化を祈念いたします。

次年度幹事長野池

議題1 地区予算について

会長部会において地区予算案が承認されましたとご報告がありました。

これをもちまして地区予算は確定しましたので、冊子24ページの(案)を削除してください。

地区勘定内訳を今までより見やすく致しました。

地区会計負担金

上期2,720人・下期2,740人で概算いたしました。クラブ分担金は変更ございません。

RI人頭分担金は昨年度より2ドルずつ上がっていて、今年度は32ドルに上がっております。2019-20年まで2ドルずつ上がります。

地区予算の収入・支出の内訳は記載の通りです。

委員会別費用

各委員会統括にまとまった金額を渡しますので、委員会の中で使用してもらいます。

青少年育成統括の費用の軽減の分は、今年度は交換留学生支援金に振替しております。

予算についての意見質問なし。

議題2 報告・提出一覧について

クラブ幹事の役割となります。
送金に関しては期日を守ってください。
報告に関しては報告先を鑑みてお送りください。
月信報告は事務局の方と綿密に相談し、期日を守るようお願いいたします。

議題3 活動計画書について

活動計画書の提出は別紙記載先にお送りください。
ホームページに必要な書類は、ダウンロード出来るようになりますのでご利用ください。

議題4 公式訪問について

日程表をご確認ください。

議題5 情報研修会・IMについて

ガバナー補佐が企画しますので、ご協力をお願いします。

議題6 クラブ一覧について

ご確認いただき訂正ありましたら、ご連絡ください。

議題7 地区大会・地区大会記念ゴルフ・国際大会について

52ページにお知らせしています。
詳細が決まりましたら、皆様にパンフレットにてご案内させていただきます。

議題8 マイロータリーアカウント登録について

マイロータリーに登録し、クラブセントラルから入力ください。
マイロータリーのアカウント方法がわからない方は、本日配布しました幹事編、21ページ以降をご覧ください登録をしてください。

議題9 周年行事の確認について

日程が決まりましたらガバナー事務所にご連絡ください。

堀口

事務手続き終了しましたので、質問を受けます。

Q 船橋西 RC 中村

公式訪問について
場所はクラブで決めて良いのか。
いつまでにお知らせしなくてはならないのか。

A 野池

20日前には決定してください。
ガバナー補佐が3週間前にクラブに訪問し、公式訪問前の報告書をガバナー事務所に提出します。

Q 市原 RC 箕輪

公式訪問で合同の場合について
各クラブ45分ずつ懇談となっていますが、始まる前とか後とか自由に分けて懇談にして良いのか。

A 野池

組み合わせでも、分けてでも構いません。

Q 成田 RC 平山

マイロータリーの登録
幹事の個人名として必ず登録が必要なのか？
事務局とかクラブ会員が代理で登録して良いのか？

A 藤崎

クラブIDがありますので、幹事でなくても代理でもよいので、クラブ目標などを入力し、会長・幹事へフィードバックすれば構いません。
ただし、会長・幹事として登録すれば、いつでも情報が見ることできるので、自分のIDで登録したほうが情報は入ります。

Q 佐倉中央 RC 岡野

広報・公共イメージ向上委員会の委員です。
今年度はマイロータリーの登録を全員が行なおうと推進していきますので、幹事はもちろん会員の皆様へ登録していただきたいと思っています。
ロータリーIDお持ちの方はどなたでも登録が出来ます。
これからクラブの登録率を調べてフィードバックしますので、是非登録に協力してください。

A 堀口

幹事の皆さんは登録している方は3分の1くらい登録されているようですから、今年度は是非ご登録ください。

Q 野田 RC 細谷

25ページ地区予算の前年度繰越金は36,025,926円
2017-18年度の次年度繰越金は30,352,233円
この差は見込み金額なのか。何か意味があるのか。

A 野池

今まで繰越金は手を付けずに単年度でやって、黒字にしていくものとなっていました。
戦略委員会で繰越金を使用しても良いこととなったので、収入として挙げることになり、見込み金額です。
浪費をせず大事に使わせていただきます。
会計報告で繰越金が増えていきますので、分担金を減らせるのではないかと思う方もいると思いますが、今年度は試験的に行っていきます。

A 神野

寺嶋年度の繰越金はまだ決定しておりませんので、現時点で確定しているのは青木年度です。ですから寺嶋年度の予算案は櫻木年度のものを使用しています。
決算になったときには、青木年度の繰越金を計上いたします。

Q 千葉中央 RC 須藤

マイロータリーのアカウント登録は本日からして良いのか、時期を見てからか。

A 堀口

IDが分かればすぐに登録できます。

◎ 船橋南 RC 徳永

公式訪問その他に懇親会をお願いと記載されているが、懇談会を合同で行うと懇親会の参加率が下がるがそれでも良いのか。

▲ 野池

それでも結構です。

神野

周年行事についてですが、日程を決めていくうえで地区行事と重ならないように、調整をお願いいたします。ガバナーやパストガバナーの参加、委員会への寄付を考えている場合は、出席が出来なくなります。ガバナー事務所にご確認ください。よろしく願いいたします。

質疑応答終了

総評

パストガバナー 鈴木 雅博様

早朝から大変お疲れ様でした。

予定より大変早いようですが、クラブの管理運営はすべて幹事が行います。

ポジション的には会長より重要で大変な仕事ですから、会長とコンタクトを取りながら、頑張ってください。

幹事を行っていくといろいろ出て来ると思いますから、是非その都度理事会を開きしっかり把握してください。

一年間橋岡年度を支えていってください。

公式訪問で3クラブ合同がありますが、会場が違いますので、ガバナー補佐を通じて詰めていってください。本日はご苦勞様でございました。

堀口

それでは以上を持ちまして地区研修協議会幹事部会のプログラムを終了させていただきます。

管理運営部会



■管理運営部会

リーダー	次期・地区研修サブリーダー	パストガバナー	得居	仁
サブリーダー	次期・管理運営統括委員会	統括委員長	増谷	信一
サブリーダー	次期・管理運営統括委員会	統括副委員長	小林	亘
サブリーダー	次期・会員増強・維持拡大委員会	委員長	櫻井	守
サブリーダー	次期・フェロウシップ・親睦活動委員会	委員長	神野	美明
サブリーダー	次期・広報・公共イメージ向上委員会		平野	一隆
サブリーダー	次期・ロータリー研修委員会	委員長	並木	鷹男
サブリーダー	次期・RLI推進委員会	委員長	今野	文明
アドバイザー	パストガバナー		白鳥	政孝

会員増強・維持拡大委員会

副委員長 藤崎 一成

委員 諸岡 正徳

委員 瀧 照正

フェロウシップ・親睦活動委員会

副委員長 落合 一美

委員 山崎 新一

委員 角田 幸弘

広報・公共イメージ向上委員会

副委員長 藤崎 泰裕

委員 岡野 敦

委員 岩瀬 和仁

ロータリー研修委員会

副委員長 堀内 正一

委員 花島 和宏

委員 笠原 智

委員 小寺 真澄

RLI 推進委員会

副委員長 清田 浩義

委員 山本 衛

委員 山下 清俊

委員 矢野 理恵



司会進行 統括副委員長 小林 亘（柏 南）

アドバイザー挨拶 白鳥 政孝 パストガバナー（市原）



皆様、大変お疲れのところ、食後で、眠いかと思いますけれども、先ほどお聞きしますと、3時くらいで終了ということになっているそうです。2時間、お互いに意見を交わし合いたいと思います。

そのトップバッターとして、私は指名されたのですが、失礼ですが、これ、何分でしょうか？ 2分？ 2分ですね。はい。

この管理運営統括部会というのは、各クラブの大変大切な委員会の部会です。皆様の委員会の活躍次第でクラブが活性化するか、否かになります。

活性化するためには、この統括委員会がなんとかしなくてはなりません。橋岡ガバナーのもとに、皆さんが協力しあって、知恵や力を出し合いクラブを活性化させる。そして、地区を盛り立てるといふ、そういう役目を皆さんは担っています。

今日の管理運営統括部会の部会における話合いにより、考えていただき、その成果をクラブに持ち帰り、活性化に大いに力を発揮して頂きたいと思います。まずは、はりきって、いこうではありませんか。挨拶が整いませんが、これにて私のあいさつは終わりにさせていただきます。ありがとうございました。（拍手 拍手）

管理運営統括委員会 統括委員長挨拶

管理運営統括委員長 増谷 信一（柏西）



地区内、83クラブの皆様。こんにちは。

午前の、全体会も無事に終わり、午後からは、「部会別協議会」です。

私くしは、5委員会を統括致します。次期・管理運営統括委員長を務めさせて頂きます、柏西 RC から出向しております、〔増谷信一〕と申します。

どうぞ、宜しくお願い致します。

管理運営統括委員会の担当をして頂いております、「得居地区研修サブリーダー」並びにアドバイザーの「白鳥正孝パストガバナー」のご出席を頂いております。

今日は、どうぞ宜しくお願い致します。

又、アドバイザーの秋元秀夫パストガバナーは、本日「春の叙勲」受章の為御欠席です。秋元 PG 様、叙勲受章誠におめでとうございます。

さて、橋岡ガバナー年度の管理運営統括委員会は、今までの管理運営部門の「会員増強・維持拡大委員会」「フェロシップ・親睦活動委員会」「広報・公共イメージ向上委員会」の3委員会から研修部門「ロータリー研修委員会」「RLI 推進委員会」の2委員会を加えて、5委員会でスタートを致します。

地区テーマ「伝統と未来」誇りと連帯感を念頭に置き、5委員会がそれぞれ特性を生かした活動をして参ります・

今日の「部会別協議会」は、限られた時間内で5委員会が1会場で合同にて開催を致します。

この管理運営統括委員会は、300名を超える大変大所帯の部会です。

発表する委員会は、式次第に沿って順不同で行います。

又、委員会ごとに質疑応答の時間を取りますので、担当委員長以外の方でももし質問があれば手を上げて頂いても結構です。

本日まで出席の会員の皆様、15時過ぎには終わる様に努力を致しますので、是非、参加者全員が最後までご清聴をして頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

それでは、直ぐに始めさせていただきます。

小林統括副委員長、お願い致します。



会員増強・維持拡大委員会 委員長 櫻井 守 (千葉 RC)

次期会員増強・維持拡大委員長に任命されました、千葉ロータリークラブ所属の櫻井守です。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、委員会の名称が「会員増強・退会防止委員会」から「会員増強・維持拡大委員会」に変わりました。

会員増強の3つの要素は、①新会員の勧誘、②現会員の維持、および③新クラブの結成です。

会員増強は、組織を維持して行くためには欠かせません。増強によりクラブを維持し活性化していかなければなりません。何もしなければ自然減などで毎年5%~10%の会員減少がありいずれ消滅してしまうことでしょう。

会員増強は、クラブと会長の最重要課題です。会長が増強への思いを強く決意して方針を掲げ、その思いをクラブの会員すべてで共有することが大切です。

クラブ会員増強委員会の役割は、この「会長の思い」をクラブの会員に共有させることです。会長から増強への方針が出ていないときには、増強委員長が会長に働きかけ決意してもらうことです。

会長が増強に対して「強い決意」をどれだけ強く抱けるかにかかってきます。そして会員増強委員会が、全会員一人一人に勧誘する責務があることをクラブ内に浸透させること。これが一番重要です。

ロータリーの友、昨年の11月号に日本のロータリー100周年実行委員会のアンケート調査の結果が載っていました。そこに、クラブが直面している課題で会員についての回答結果がありました。

1. 会員の高齢化・・・52.9%のクラブが回答
2. 会員の減少・・・53.8%のクラブが回答
3. 会員候補者不在・・・28.5%のクラブが回答
4. 例会出席率低下・・・26.3%のクラブが回答
5. 会員間の意識の違い・・・21.8%のクラブが回答
6. 女性会員未入会・・・16.2%のクラブが回答
7. その他・・・8.8%のクラブが回答

この結果を見るといづれも会員増強にかかわりがある問題で、高齢化、会員維持、例会運営に苦慮し、研修不足から来る会員間の意識に開きがあり、また女性会員に対する根強いアレルギーが見て取れます。

橋岡ガバナー年度では、2名あるいは10%純増のいずれかを目標とすることを推奨し、特に女性会員と30歳代の若い会員の参加を推進するとしております。

女性の会員比率は、日本では未だ6.44%でしかありません。世界では22.22%となっております。当地区は6.82%となっております。

当地区の女性が在籍するクラブ数は73.5%、83クラブ中61クラブに女性が在籍しております。

また当地区の40歳未満の若い会員の在籍率は、わずか0.6%、17名でしかありません。女性会員と並んでまだまだ開拓の余地があるかと思われれます。

若い会員の増強については、2016年規定審議会にて導入された柔軟性、クラブの自由裁量権の拡大を最大限に活用し時代に即したクラブ運営が可能となりました。

■クラブ運営の見直し

- ・例会数を減らした／入会金の減額、廃止／会費の値下げ／例会時間の見直し
- ・奉仕活動の再検討
- ・例会内容の見直し・楽しい雰囲気作り
- ・勉強の機会を増やす
- ・お互いを知る機会を増やす

会員増強は、新会員を入会させただけで終わりではありません。

会員維持は、増強以上に重要です。

■会員がクラブを続ける理由は何でしょう？（ロータリーの友2017.11月号）

1. 異業種交流が出来る・・・70.7%のクラブが回答
2. 生涯の友人・仲間ができる・・・70.0%のクラブが回答
3. 自己研鑽と学習・成長の機会・・・55.1%のクラブが回答
4. 例会が楽しい・・・52.3%のクラブが回答

5. 奉仕活動ができる・・・40. 0%のクラブが回答
6. 心からの親睦が得られる・・・37. 5%のクラブが回答
7. 奉仕の理念を信奉している・・・23. 9%のクラブが回答
8. ビジネスに活用できる・・・17. 4%のクラブが回答
9. 世界の仲間とつながっている・・・13. 5%のクラブが回答
10. リーダーシップを発揮できる・・・9. 3%のクラブが回答
11. 世界的問題の解決に貢献できる・・・8. 0%のクラブが回答
12. 寄付が有効活用できる・・・6. 9%のクラブが回答

■あらためて退会の理由を整理してみましょう。

- ・つまらなくなった
- ・人間関係を築けなかった
- ・なじめない
- ・歓迎されていない
- ・重要だと思われていない
- ・クラブ指導者やクラブ運営に不満
- ・年齢・家族・転勤・退職・経済的理由
- ・活動がマンネリになった
- ・派閥、飽き、意見対立、けんか
- ・現在クラブでおこなっていることに関心がない
- ・自分の健康上の問題

会員維持は、こうした退会の理由をなくすことにあります。

■会員維持にはロータリー在籍年数別の対策が必要です。

【新会員】

- ・入会時のオリエンテーション
- ・本人に合ったプロジェクトに参加
- ・同好会／勉強会／飲み会

【3－10年】

- ・だんだん面白くなる⇔派閥？飽き？退職？意見対立
 - ・役職が楽しければ、面倒なことも自分でやる
- クラブの指導的役割・地区のセミナー・RLI・地区の委員

【10年以上（ベテラン）】

- ・運営に不満、関心がない、面白くない、家族の事情、健康上の問題、退職、経済的理由
- クラブの委員長で再チャレンジ／地区の委員会／同好会を主催／
年会費の変更

■まとめ：会員を維持するには？

【維持＝クラブの充実、活性化が不可欠】

奉仕活動・親睦を図る・例会の充実
勉強会・炉辺会合・地区。世界、家族

【防 止】

出席率の向上・健康

居場・所・お誘い・声かけ

⇒楽しい例会の運営

細かに気をかける温かさが必要

丁寧な在籍年数別のケア（仕組み）

フェローシップ・親睦活動委員会、広報・公共イメージ委員会と連携し会員増強・維持を推進してまいります。

地区会員増強・維持拡大セミナーの開催についてご案内をさせていただきます。

8月25日土曜日、午後2時より「会員増強・維持拡大セミナー」を千葉市にございますカンデオホテル内 TKP ガーデンシティ千葉にて開催をいたします。参加対象者は、各クラブの会員増強委員長並びに関連委員長、会長・幹事とさせていただきます。

質疑応答



（質問者）千葉RC 向後

千葉RCの向後でございます。同じ千葉クラブだとサクラのような（会場 笑）。千葉RCでは戦略会議を70周年に向かって、会史100年誌を作るように、がんばってやっているところでございます。会員拡大の期待というのはクラブの方が率先して行っているところなのですが、そのうえでですね、地区のほうとしては、地区の会員拡大委員会としては、どのような支援をクラブのほうにするのか？そういうプログラムがあれば、聞いていきたいのですが？

（回答者）櫻井委員長

はい。ありがとうございます。私ども地区の会員増強としましては、先程最後にご紹介しましたけれども、会員増強・維持拡大セミナーを8月に行いますけれども、そこで、よりつっこんだ増強についての、卓話ですとか、あるいは皆さん集まって、ディスカッションして頂いたりして、増強についてのですね、意識を高めていただきたいと、いただけるんじゃないかと思えます。そしてまた、これは毎年やっていることですけれども、卓話の依頼がございましたらですね、お申し出頂けましたら、直接クラブに伺って、卓話を、増強についての卓話をしたいと思っております。



（質問者）茂原RC 佐々木

正真正銘のサクラではありません。（会場 笑）茂原RCの佐々木と申します。よろしくお願い申し上げます。会員増強の過去における、なにか事例だとか、ヒントみたいなもの、ありませんか？

（回答者）櫻井委員長

ない。あの一。今、ここでお話するのは難しいのですが、そういう例が必要であればですね、また、後日ですね提供させて頂きたいと思えます。ただ、例といってもクラブの規模ですとか、地域によってですね、やっぱり全く同じというわけにはですねいかなと思うんですよ。ですから、クラブの数とか地域に合ったですね、状況策というかですね、そういうものが必





要だと思います。ただ私が強調したいのは、先程言いましたようにですね、そういう、こうやったらですね、上手くいくではなくてですね、やっぱり私は、会長がですね、率先してですね、目標を掲げて クラブ全員がそれに向かっていくという、これが一番大事だと思っております。



(質問者) 君津RC 大住

いまの最初の質問の答えのなかで、セミナーなんですけど、ここで言っている関連委員というのは、ここでいっているフェロシップ・親睦あるいは広報・公共イメージという風に考えていいんでしょうか？



(回答者) 櫻井委員長

あの。ここで言っているのはですね、会員。例えば、会員増強という名前がついてない、例えば私ども、千葉クラブですと、会員増強以外に会員委員会というのがあるんですけども、まっ、増強委員長が都合悪いときにですね、そういった委員長さんに出席していただく、あるいは副委員長さんに出席していただくそういったような意味で言っているんだと思います。



(質問者) 千葉北RC 石井

千葉北RCの石井と申します。今、櫻井委員長からお話ありましたように、次年度、新クラブの結成。という風に書いてありますが、会員増強、会員の維持、新クラブの結成という事が書いてあるのですが、新クラブの結成となりますと、ある程度クラブの会員数がないと、なかなか結成できないと思うんです。そういう点では、今83クラブあるなかで、千葉RCさんが約90名近い会員を擁し、成田RCさんが、70名くらいおられます。そういう方たちが、がんばって拡大を図っていただいて、地区のためにも新クラブ結成を考えていただければと。このところ、お願いできればと思って、今、挙手しました。よろしくお願い致します。



(回答者) 櫻井委員長

回答するんですか？(会場 笑) いいんでしょうか。



司会

ありがとうございます。



R L I 推進委員会

委員長 今野 文明（千葉西）

R L I は、ロータリークラブの潜在的なリーダーの為のリーダーシップ開発プログラムを実施する多地区の「草の根連合組織」です。

The Rotary Leadership Institute の頭文字を並べて R L I と呼称します。

邦訳は、ロータリー・リーダーシップ研究会と表記します。

R L I の目的は、R L I の理念に従ってリーダーシップの研修を通じて、ロータリーの活性化と発展を願い、一人ひとりのロータリアンのロータリーへの理解とモチベーションを高めリーダーシップを涵養するとし、現在日本の 14 地区が参加しており、世界では 369 地区が参加しています。

R L I は、基本的な国際統一形式の 18 カリキュラムを基本にパート I・II・III と進む過程から次第にスパイラル形式にスキルアップが出来ますが、決してロータリーの知識や情報を豊かにする事が目的ではなく、人の話を聞き対話する事から心の交流を深め信頼し、モチベーションを高め合いお互いを尊敬し、気付けば自然と様々な知識や情報が得られる様にプログラムが組まれています。

昨今、ロータリーの会員数の減少が止まりません。ロータリーに関して十分な知識を得られず、話合いも出来ず、理解されないまま、退会する人が多いのは、非常に残念な事です。そこでロータリアンとして活動する為には、自発的に自覚を持った対話をし、本当のロータリーの世界を理解する事が基本的な課題だと考えます。

その為にも本年度は、R L I の要のファシリテーターの手法のスキル磨き及び技量向上の為に、定期的な研修に力を入れたいと考えます。

最後にその目的地は、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立であります。皆様のご参加を心からお待ちしております。

2018 - 19 橋岡久太郎ガバナー年度地区 RLI 推進委員会

R L I 推進委員会【活動方針】

◎委員会活動計画

- ・ R L I プログラム基本活動（パート I～III・卒後コース・ファシリテーター養成講座）
- ・ ファシリテーター・ブラッシュアップ研修会の定期的な開催
- ・ R L I 支援体制の確立と組織の固定化促進

◎委員会活動計画

- ・ R L I プログラム基本活動（パート I～III・卒後コース・ファシリテーター養成講座）
- ・ ファシリテーター・ブラッシュアップ研修会の定期的な開催
- ・ R L I 支援体制の確立と組織の固定化促進

※ 地区 R L I 推進委員会メンバー

委員長 今野 文明（千葉西）・副委員長 清田 浩義（千葉）

委員 山本 衛（松戸西）・委員 山下 清俊（市川東）

委員 矢野 理恵（成田）

(1) R L Iとは

ロータリークラブの潜在的なリーダーのためのリーダーシップ開発プログラムを実施する多地区の「草の根連合組織」です。The Rotary Leadership Institute の頭文字を並べてR L I と呼称します。邦訳はロータリー・リーダーシップ研究会と表記します。R L I は小グループによるファシリテーション手法を用いた対話を通して、ロータリアンを引き込み、ロータリアン一人一人の自己啓発が指導力の向上と共にクラブを強化する目的で開発されたプログラムです。

(2) R L I の歴史

1992年、アメリカニュージャージー州の元RI理事リンネット氏の発案で始められた多地区草の根連合組織です。RLIは現在RI公式プログラムではありませんが、2002年にRI理事会で承認された公式のプログラムとして世界中で開催され、地区を超えて参加することが可能です。魅力満載のR L I は質の高いリーダーシップ養成の草の根研修として世界中に広がり、現在では世界中で369地区以上が取り入れ活動されており、我が日本では2008年に始めて導入され、今では14地区が活動し年々広まっています。

(3) 第2790地区のR L I 活動経緯

2010年当初に参加した地区内の先達たちは、全てに自費で東京や埼玉で開催していたR L I に参加していました。その時に得た昂ぶる感動を是非とも第2790地区内ロータリアンにも広めようと、草の根運動的な忍耐と努力の積み重ねが粛々とあって、今日の地区R L I 委員会活動に結びつけることができている。橋岡ガバナー年度では、確実な継続活動ができる環境が整った年度になってきました。

(4) R L I の目的

各クラブ内で地道な運動として、会員各自がリーダーとしての自覚を強くしようと、学ぶ心を目覚めさせることにあります。更にはクラブの柔軟性と刷新性が大事であることを心得ることから、クラブ活性化に向けてのリーダーシップの重要さも認識できることです。決してロータリー知識や情報を豊かにすることを第一目的にするのではなく、参加する人との心の交流を深めることから、信頼しあう仲間との豊かな人間性の構築が価値あることと認識し、尊敬しあえるロータリアン同士が学び充足できる研修会になっています。その目的は、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立であります。

(5) R L I のプログラム

R L I は基本的な国際統一形式の各パート毎に1日に6セッションを3日の合計18カリキュラムからなっています。パートⅠは「私たちロータリアンが一人一人が学ぶべき課題」であり、パートⅡは「私たちのクラブがより効果的に成長できる課題」であり、パートⅢは「より幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶ、私のロータリーの旅」として、セッションテーマが連携し、展開してゆきます。このように各セッションが進む過程から次第に三つのステップアップ（螺旋的展開）の柱があります。一つ目がリーダーシップ Leadership 二つ目が奉仕 Service 三つ目が会員組織強化 Membership です。セッションに参加する毎に気付けば、自己研鑽のスキルアップができ、様々な興味や情報が得られるようにスパイラルの内容が良く理解できるようにプログラムが組まれています。

(6) R L I の効果

少人数対話による意見交流が参加した仲間の意識向上と自身の研鑽を深め、ロータリーの素晴らしさに惚れ直すことができます。自主的に参加する者同士がお互いを理解し切磋琢磨するなかでロータリー精神を身に付け成長させてくれます。参加し合った各クラブの方々と忌憚のない意見交流を通して、セッションテーマに基づき、様々な考え方を謙虚になつて話し合うことができます。また、同じセッション仲間からは対話の大切さを学び取

ることができます。R L I 仲間との対話からロータリーの奥深さを知り、人を思いやり尊敬しあう価値を享受しながら、ロータリー精神や情報の勉強の場を構築することができ大変喜ばれています。殊の外、クラブ全体としてロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養しクラブの刷新性と柔軟性を育み、一層ロータリーが活性化されクラブ強化が図れる効果が派生します。

(7) ファシリテーター・ブラッシュアップ研修会の定期的な開催

R L I の要はスタッフのファシリテーション手法のスキルを磨く、自分磨きの定期的な研修が重要です。目的は、各セッションのどんな場面でも自信を持ってファシリテーションに臨めるようにスキルを磨くことです。参加者に一方的に教えることなく、学ぼうとする意欲を手助けすること、すなわち学習を促進する進行役に重用することです。お互いが研修を通して人間性を高め合うことは、セッションごとのテーマのメッセージを伝える人間自身が、そのメッセージと同じくらい重要な役割を務めるスキル向上を目指します。R L I の成否は常にこの様なファシリテーターのスキルアップから醸成される寛容な心に影響されます。R L I スキルアップ研鑽の積み重ねは、R L I の参加者が対話を通して学び取る自己研鑽への意欲の手助けに繋がり、R L I から得られる喜びや感動からの満足感を享受できる体験を醸成することがより一層高められる効果を促進します。

私たちは、常に謙虚になり、R L I の魅力を高めて行く研鑽を怠りません。

(8) R L I 支援体制の確立と組織の固定化促進

当地区のR L I は9年目を迎えます。これまで多くの先達やR L I を受講された多くのロータリアンの深いご理解と暖かいご支援をいただき、地区の環境も整い地区組織内の委員会として育ってきました。さて、R L I は毎年同じ事業の繰り返しではと単純に思われます。しかし、R L I 運営の要はマンパワーの支援体制の確立です。実際にパートごとの開催は、ファシリテーターと本部運営に50名程のスタッフ確保、教室に個室6部屋と大部屋1部屋の会場予約や諸事準備を要し、同様に、受講者のR L I 修了履歴事務処理と情報管理にも労力を費やします。現状は毎年R L I 実行委員会組織を設けて支援を戴っていますが、橋岡年度はR L I の支援体制の充実を図り、制度の確立が整うことを願うと共に、多くの経験を知恵に変える工夫が必要な多々課題があります。委員会は一つ一つ課題を解決し、R L I の充実に取り組みます。即ち、支援体制の確立とは実は次世代に運営組織の事業継承が恙無く移行できる礎の充実です。今後のR L I が着実に地区に根ざし継続的な拡大につながります。その礎には、ファシリテーター養成講座を修了された方々の経験を是非、R L I で生かしてくださる支援をお願いする次第です。

※ 第2790地区R L I 開催日程

2018-19 橋岡ガバナー年度R L I 開催日程 【参加登録費制度】

- ・第1回FTブラッシュアップ研究会 2019年9月1日(土) 13時開講 千葉市民会館
- ・第2回FTブラッシュアップ研究会 2019年10月13日(土) 13時開講 千葉市民会館
- ・第3回FTブラッシュアップ研究会 2019年11月26日(月) 13時開講 千葉市民会館
- ・パートI 2019年2月11日(月・祭日) 10時開講 千葉市民会館
- ・パートII 2019年3月30日(土) 10時開講 千葉市民会館
- ・パートIII 2019年4月22日(月) 10時開講 千葉市民会館
- ・卒後コース 2019年5月27日(月) 10時開講 千葉市民会館
- ・ファシリテーター養成講座 2019年6月8日(土) 10時開講 千葉市民会館



質疑応答

(質問者) 千葉R C 藤澤

千葉R Cの藤澤です。今野委員長にいろいろ、私も去年の2月から5月くらいまで受けて、非常に勉強になりました。ありがとうございました。で、今、全体の話をしていただいた中で、ファシリテーター（以下F T）の話が出たんですが、F Tは、今、90人から100人位いらっしゃって、それを、今、運営されているという話ですが、そのF Tというのは、F T養成講座がありますけれども、あれはクラブ、パートI、パートII、パートIII、卒後コースを修了した人たちがF T養成講座を受けることができるというような形でよいのでしょうか？私の質問はF T養成講座を受講する、それになろうという人が、もしいらっしゃるのならば、どのようにしたらF Tになれるのか？その説明がちょっとなかったものですから。説明していただけると、皆さんにはいいのかなと思います。



(回答者) 今野委員長

はい。先程の説明で、パートI、パートII、パートIIIを受けて、卒後コースというのがあるんですけど、その後にF T養成講座というのがあります。それは受けられる方と、受けられない方、そこで判断。F Tになって頂く方、F Tになって頂かない方。先程も言いましたけれども、次年度で9年目を迎えますので、歴史もある程度ありますので、F Tの数がすごく多いんですね。で、F Tの世代交代されてきております。いまのところ、今年もなんですが、全員に、F T全員に、実行委員会の参加をお願いしますと、いう風をお願いをして、受けてくれる方が、毎年、30名くらい、です。で、本当にこのまま増えていったら、このままずっと、お断りをする方とか、分けられて、今、丁度いい数のF Tの数がいまして、丁度、3日間の間に、30数名で6室、6時限目まで、やるんですが、丁度今F Tの数で、ちょうどいい、この先困るのかもしれませんが、それはちょっと、よくわかりません。ただ、F Tになる、ならないは、自分の希望で、F T養成講座を受けて頂いた方になっていただいております。



(質問者) 千葉R C 藤澤

わかりました。ようするにパートI、パートII、パートIII、卒後コース、それを修了してその先に進むのですね。

(回答者) 今野委員長

はい。その通りです。

(質問者) 千葉R C 藤澤

わかりました。ありがとうございます。



(質問者) 八街R C 原

八街R Cの原です。R L Iに参加するようクラブで呼びかけているんですけども、なかなか参加してくれる会員がないんですけども、このような状況を改善するには、どんな方法があるのか。あれば、教えて下さい。



(回答者) 今野委員長

今の、受講ガイドを見て頂く形で、そのR L Iのイメージがどのようになっているか。先程の会員増強でもありましたが、クラブ会長が中心になって皆さんに勧めていただければ一番ありがたいなど、思っております



広報・公共イメージ向上委員会

委員長 平野 一隆 (大原)

RIでは2011年より、イメージ向上を目的とした数々の取組みを開始しました。

また、当地区での委員会の名称は、13－14年度に 元来の“広報”に“公共イメージ”と追記され、16－17年度からは“公共イメージ”に“向上”と加えられました。これは、草に名称が複雑になったのではなく、より重要性が高まってきたことの表れと捉えています。

ひとつの考え方として、「陰徳を積む」というものがあります。ここに心を惹かれる方も多いかと思えます。しかし、一万では、地域において、また世間一般において、各クラブの、そしてロータリーの認知度は如何でしょうか。ご自身が思うより知られておらず「寂しい思い」をしたことがあるのではないのでしょうか。

そこで、公共イメージ向上のために、我々委員会の活動が求められているのだと理解をしています。イメージの向上を考えたとき、認知度だけが上がればよいのではないと思えます。世の中には福祉、障害者、青少年、難民などなど、町内会レベルの小さなもの

から国際的な大きな組織まで、あまたのボランティア団体があります。

そういった団体が PR しているのと同じように人のための活動として「やったやった」とアピールするに留まってしまうのではなく、私達が「どのようなことを大切に思い、どのようなことを考えて行動しているのが」をふまえ、“ロータリーらしさ”や“ロータリーの奉仕の理念”を伝えていきたいものです。そのことが他の団体との明確な違いとなって現れ、それこそがロータリーのイメージ向上に繋がることになると思います。

当委員会は次に上げます「活動方針」をもとに「活動計画」を立てましたので、説明をさせていただきます。

それを参考にさせていただき、各クラブ担当委員長の皆様方が、この1年「ロータリーのイメージ向上」「地域社会におけるクラブのイメージの確立」について考え、行動していただけることを希望しています。

どうぞご理解のほど宜しくお願いいたします。

活動方針

地区及び地区内クラブに対し、イメージ向上（ロータリーイメージブランディング）へ向けての理解推進を図る。

活動計画

<地区>

- ・地区 HP の一層の充実
- ・地区委員会フェイスブックの充実
- ・マスメディア活用

<地区内クラブへの推奨>

- ・各クラブへの HP 開設及び更新を含む内容の充実（支援）
- ・マイロータリー登録（支援）
- ・ロータリーショーケース活用（案内）
- ・地区 HP 活用（案内）
- ・マスメディア活用（案内）

各クラブで事業を行う際、下記のことをご検討ください

クラブ イベント・奉仕活動 etc.

事業前

メディアへの取材案内

(投げ込み)

例 千葉日報社 地域新聞 千葉テレビ J. COM

クラブ HP・FB へアップ

地区 HP での案内

(地区内ロータリアンへ案内したい場合等)

ガバナー事務所 18 - 19gov @ rld2790.jp

クラブ イベント・奉仕活動 etc.

事業後

クラブ HP・FB へアップ

地区 HP への活動報告 ガバナー事務所 18 - 19gov @ rld2790.jp

R ショーケースへの登録 <https://my.rotary.org/ja/member-center/online-tools>

質疑応答 なし



ロータリー研修委員会

委員長 並木 鷹男（千葉）

ロータリー研修委員会

分かりやすいロータリーを目指して

研修リーダーとは？

ロータリアンのリーダーシップ研修で極めて重要な役割を果たすのがクラブの研修リーダーです。豊富な経験を分かち合いながら、優れたリーダーシップを発揮できる人材を育てましょう。

クラブの研修リーダーは、会長をはじめとするクラブのリーダーと協力しながら研修プログラムを開発します。地区研修リーダー、ガバナー補佐、ガバナーはクラブ研修リーダーを支援してくれる存在です。

■クラブの未来を育てるために以下のリソース即ち、My Rotary に示されている様々な情報の資源をご活用ください。

■元気なクラブづくりのために：クラブ・リーダーシップ・プラン・およびプレゼンテーションとワークシート

■実践リーダーシッププログラムをはじめのための手引き

ロータリー情報の源！

My Rotary に登録していますか？

ロータリークラブ・セントラルを活用していますか？

MY Rotary に登録するとロータリーの活動や地区・クラブ運営に必要な情報やデータをいつでも入手できる便利なシステムです。

登録の仕方は、既に登録している友人や、事務局で確認してください。

MY Rotary の Web サイトから簡単に登録できます D

ロータリークラブ・セントラルはクラブが目標を立て、達成状況を確認するためのオンラインツールです。未だ、上手く活用されていないのが現状です。是非、使いこなしてクラブの活性化に繋げて下さい。

クラブ活性化のサイクル

因果関係を調べ 善循環をつくる

元気なクラブをつくる →現状の評価→目標を設定する→ギャップを埋める→柔軟性を採り入れる→元気なクラブをつくる

現状を評価する

クラブの健康チェック (2540 - JA-516)

あなたのクラブは健康ですか？クラブが地域社会にとって大切な存在であり続けるために、又、会員が満足するクラブづくりのための奉仕活動、現睦、公共イメージ、クラブ運営を改善する方法をご紹介します。

■ 健康チェックポイント 1：クラブでの経験・・・クラブで充実した時間を過ごしている会員は、恐らく退会を考えないでしょう。会員に熱意があれば周りにもそれが伝わり、クラブ全体の活気に繋がります。大切なのは、例会や奉仕活動に参加するだけではなく、会員が仲間との交流を楽しみ、ロータリー誇りを抱くことです。

■健康チェックポイント 2：奉仕と親睦・・・ロータリーに入会する理由、および会員であり続ける主な理由となっているのは、「地域への貢献」と「仲間との親睦」です。会員が様々な方法でクラブに参加できるよう、バラエティに富んだ親睦行事や奉仕活動を企画し、楽しく意義ある形で地域に貢献できるようにしましょう。

■ 健康チェックポイント]：会員増強・・・健康的なクラブは、変化しながら発展します。会員の多様な考え方や経験は、革新を促し、地域のニーズを見極める上で欠かせないものです。ロータリーが実施した調査によると、良くある退会理由の一つは「リーダーが新しいアイデアに目を傾けてくれない」というものであることが分かっています。会員の損壊性を高めるためには、クラブに対して会員がどう感じているかに配慮し、方針や方向性を定める際に会員の声を取り入れることが重要です。

■ 健康チェックポイント 4：公共イメージ・・・楽しみながら地域に貢献しているクラブは、誰の日にも魅力的に映るでしょう。地域社会や入会候補者との関係を築く上で、クラブのイメージはとても重要です。奉仕活動を実施するにはクラブの存在を認知されるようにし、地域に根差してニーズに取り組むクラブの活動をアピールしましょう。

■ 健康チェックポイント 5：運営・・・クラブの未来について真剣に考えるリーダーのいるクラブは、円滑に運営され、発展して行くものです。元気なクラブづくりにおいてはリーダーの育成が極めて重要です。

元気なクラブづくりのために

クラブ・リーダーシップ・プラン (245) JPN-JA - 917)

元気なクラブとなるためのステップ

あなたのクラブでは会員が積極的に参加し、実りあるプロジェクトを実施し、新しいアイデアを試していますか？楽しく、活気に満ちていますか？

■クラブの3～5年先の姿を思い描く。

■年次目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力する。

■ 会員が積極的に参加でき、情報豊かな例会とする。

■クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る。

■ 後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る。クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する。

■ 会員同士の交流を深める。

- 会員が心から関心を持てる活動に参加できるようにする。
- ロータリーのリーダーとなる人材を育てる。
- クラブ運営に必要な委員会を設置する。

クラブ運営の柔軟性

例会の方法や頻度を柔軟に決めることが出来るクラブは、入会者が集まり易く、会員の参加が促され、新会員と現会員のモチベーションが高まること、これまでの調査と会員の経験によって示されています。

2016年の規定審議会は、ロータリークラブの柔軟性をかつてないほど高める変更を選択しました。方針へのこれらの変更は、クラブ例会の頻度と方法および会員種類に影響するものです。

■新しい柔軟性を活用する5つの方法

様々な新しい選択肢をどのように採り入れるか（または採り入れるかどうか）は、各クラブの裁量に委ねられます。どの規定に柔軟性が与えられたかを、標準ロータリークラブ定款でご確認ください。クラブのニーズに合った変更を取り入れ、クラブ細則にそれぞれを反映させて、早速試してみましょう。

1. 例会スケジュールを変更
2. 例会の方法を変更
3. 出席要件の緩和
4. 複数の会員種別を提供
5. ローターアクターがクラブに入会

RIの様々なプログラムを活用しよう！

今まで話したことは、全てMY Rotaryから引用したもの

■ RIは、様々なプログラムを用意し、ロータリアンは誰でもそのリソースを自由に使える。

■ 上手く活用すれば、あなたのクラブは活性化し、もっと楽しいクラブになり、多くの会員が集まってくる。

■ そんな美味しい方法があるのに、それを使わない手はない。

■ RIの本部では、優秀な人材がクラブの活性化、ロータリーの発展性について真剣に考え、そのリソースを我々に提供してくれている。

その中に、様々な解釈が横行している「職業奉仕」について、

非常に分かりやすく書かれたリソースを見つけた！

RIの方針は間違っている！

それでよいのだろうか？

■ クラブには自治権がある。

■ 柔軟に対応しても良い、とRIも言っている。

■ だから、RIの価値観に背を向け、日本独自のロータリー観を築き上げようとしている。

■ 日本のロータリーは世界のスタンダードから取り残され、やがてはカラバコス化して行く恐れがある。

■ 例としての一つの見方だが、コンビニのフランチャイジーがフランチャイザー本部の方針を守らず勝手なやり方をしたらどうなるだろうか？

■ そう、ロータリークラブを名乗れなくなるのでは？

ロータリー研修委員会の MISSION

分かりやすいロータリー！

■ Be the Inspiration！地区全体に良い刺激や鼓舞するような影響を与え、未来へのビジョンを創造するインフルエンサーであれ、を使命とする。

■ 兎角、ロータリーの理論は英文の直訳ゆえか難解であり、新人ロータリアンは理解に岩しみ、RIの新しい変化にベテランロータリアンは意識が追い付かない。

■ ローターリークラブとは、ロータリアンとは、の問いかけに会員一人ひとりが明確に自分の考えで答えられるよう、地区全体に浸透させる。

■ 良き伝統を守り、立ち止まらずに、未来へ向けたロータリーの奉仕（サービス）とは何かを再考する。

■ 2018 - 19年度の研修委員会の立ち位置は、組織が変わり、管理運営統括委員会のもとにある。

■ 奉仕プロジェクト統括委員会、特に職業奉仕委員会と緊密な連携を図り、RIの提唱する奉仕の真髄を明らかにする。その機会となる「情報研修会」を提案する。

■ 各グループで開催される「情報研修会」のテーマを「職業奉仕」に絞り込み、ガバナー補佐と共に開催する。

職業奉仕の手弓は：実践しよう（255 - JA - 1017）

■ これらの理念を地域や世界のニーズに応じて素直に実践することが大切である。商いで儲け、その金で社会奉仕する、等、日本のロータリーで盛んに議論されてきたことが虚しく思われる程、ストレートでわかりやすい。

■ RIの示した職業奉仕の実践を次に記した。

- ①ロータリーの目的
- ②「職業奉仕」という概念
- ③ 高潔性と倫理
- ④ スキルと職業
- ⑤ 職場で高い倫理水準を推進するために
- ⑥ 職業研修と職業スキルの向上
- ⑦ 職業奉仕チーム
- ⑧職業奉仕のリソース

■ 先ず、一読してください。目から鱗です。従来の職業奉仕論を全く否定してはいない、ただ、実践する、行動するが付け加わっただけ。

如何でしょうか？

2018年9月から始まる「情報研修会」

乞う！ご期待！

■ 9月14日第3グループから始まる「情幸離別虞会」は12月2日迄、14回開催される。

■ 橋岡GEの方針を受け、統一テーマは「職業奉仕」、サブテーマを「分かりやすいロータリー」として開催する。

■ 地区内を共鳴させる、かつてない新たな研修会を開催する。

■ 研修内容については、当委員会で検討し提案する。

■ GE、AG、研修L、研修SLと協議を重ね、テーマに沿った講師を選定して開催する。

■ 年齢層や経験年数を問わず、全ての会員に聴いて頂きたい。

■ 共通のテーマなので、メーカーを兼ねてどこのグループの情報研修会にも出席できるようにしたい。



質疑応答

(質問者) 袖ヶ浦 R C 成松

袖ヶ浦 R C の成松と申します。研修リーダーを仰せつかっております。ビデオのところ、一つだけ伺います。まず、言っている意味ですが、先程、お話のありました、それでよいのだろうか?のところ、日本のロータリーはガラパゴス化している。というところ、職業奉仕の議論が導くもの、地区の研修委員会の取り組み方、それを教えてください。もう一つ、先ほどありました R L I の中のファシリテーター (以下 F T) ですか?それと、クラブの研修リーダーとの大きな違い。その 2 点をですね、説明いただければと思います。まず、最初の質問に戻ります。今年度の橋岡ガバナーはですね、伝統と未来という大きなテーマ、で次年度を迎えます。その中で、どうしても我々研修リーダーはですね、先ほど、大きくは違っていないのですが、これまで、我々が学んできた職業倫理、決して地区は否定していませんが、それをですね、ここにガラパゴス化とか書かれますとですね、なかなか研修リーダーの立場ですと話を前にもっていきません。ですので、この伝統ということ、例えば職業奉仕議論にこれからもっていくとして、地区のスタンスとして、どのようなスタンスで、この伝統ということ、地区に下していくのか。MY ROTARY をみるのは簡単なんです、きちんとした、やっぱり、言語で伝える必要があると思いますので、そのへんを目指したいと思います。



(回答者) 得居サブリーダー

あの。成松さん。お久しぶりでございます。今ですね、日本のロータリーがガラパゴス化していると、こういうことを言われます。これ、誰が言っているのか、よくわからないんですね。いつの間にか、そういうことを言っている。このガラパゴス化ってなにかというですね、いわゆる社会進化論、これに基づいてですね、社会は進化すると。で、その進化に遅れている。それをガラパゴスと言って非難しているんだと。いう風に思いますが、人間社会はですね、進化するなんてことはないんだと、この社会進化論というのは、あきらかな間違いだと。こういう風に言われておりますので、私自身はですね、ガラパゴスと言っている人にですね、その人はまた、適者生存という言葉も使ってます。で、ダーウィンはですね、適者生存という言葉は使ってないそうです。ですから、そういう誤解に基づいてガラパゴスと言っているだけの話だと、いう風に私は思いますので、そのガラパゴスについてはですね、そのようにお考え頂いたらという風に私は思っております。よろしゅうございますでしょうか?



(質問者) 袖ヶ浦 R C 成松

ありがとうございます。

(回答者) 並木委員長

十分なお答えができませんでしたが、そういう皆さんの疑問をですね、集大成として情報研修会を開催します。そのためにできるだけ、情報研修会をですね、同じテーマで、職業奉仕について、今、お話があったようにですね、決して、職業倫理だとか、理念を否定しているものではない。ただそれに、加えて実践しよう、行動しよう、ということ、我々は皆さんにお伝えしたいということでございますので、そこを誤解なされないよう、お願いしたいことと、是非、情報研修会にですね、お出でいただいて、直接講師の方にですね、お尋ねを頂きたい。そういう機会を設けております。よろしく申し上げます。





(回答者) 今野委員長

あの、先ほどのファシリテーター（以下 FT）は、あくまでも、RLIの進行役ということ。私たち今言ったように5名しか委員会メンバーいませんので、RLIパートIをやるにあたって、パートIIと進むにあたって、実行委員会というのを立ち上げるんです。そこにFTの今まで経験者の皆さんに声をかけさせていただいて、ご協力を頂くという、実行委員会のメンバーです。FTは、で、RLIを、先ほどいったように、養成講座を受けるとFTという、名称をもらえるという形です。ただあくまでも、研修リーダーの方たちとは全く、違いますんで。誤解ないようにお願い致します。



(質問者) 袖ヶ浦RC 成松

ありがとうございます。



(回答者) 得居サブリーダー

今の話でいえば、あくまでRLIは、さっき委員長が説明したように、RIの公式プログラムではなくて、他地区合同プログラムで、RIのプログラムではありませんから、ようするに、ロータリークラブの研修リーダーとですね、直接イコールである理屈はないと。兼ねることは構わないと思いますけどね。



(質問者) 袖ヶ浦RC 成松

それを自分は勘違いしておりました。



(回答者) 得居サブリーダー

はい。別のものです。よろしゅうございますか。



(質問者) 袖ヶ浦RC 成松

ありがとうございます。



フェローシップ・親睦活動委員会

委員長 神野 美明（柏 RC）

ロータリークラブは、ポール・ハリスの「寂しかったから」という思いが原点となり産声をあげました。ロータリー活動の原点は親睦です。

今年度は、当委員会の名称には「フェローシップ」に「親睦活動」が加わりました。親睦と親睦活動は同一ではありませんが、親睦活動は親睦を深める手段としては欠かせないものです。

各クラブ・グループ内では様々な親睦活動が行われ、親睦が図られていることと思います。しかし、グループが異なると交流はなかなか上手くいかないのが現状だと思います。

現在、地区内には「野球リーグ」、「二輪の会」、「女性交流会」の3つの同好会があり、クラブ・グループの枠を越えてそれぞれが活発に活動しています。寺嶋年度には、新たに国際奉仕活動の情報交換を主たる目的としている「スリランカクラブ」が立ち上がる予定です。今年度私たち、フェローシップ・親睦活動委員会ではこれらの同好会活動をさらに助成し、親睦の輪を広げるとともに、新たな同好会の設立を模索し、クラブやグループを越えた親睦活動を通して情報交換をすることで会員増強につなげ、あるいは連帯感・仲間意識を高めることによって退会防止に役立てばと考えております。

親睦の原点はあくまでも例会です。当委員会としては単なる親睦活動ではなく、各クラブ・グループの枠にとらわれずに、会員の仲間意識の強化を図ることを目的とした各委員会と連携をとって活動をしていきたいと考えています。

活動計画

1. クラブ・グループを越えた親睦活動の実施
2. 新たな同好会の設立に向けた準備及び活動

質疑応答 なし



地区研修・協議会 管理運営部門総評

地区研修サブリーダー 得居 仁（松戸東）

総評というよりは、感想と情報提供をいたします。

午前の全体会議に引き続いての部会別協議会に、大変長い時間でしたが、多くの方に参加して頂きまして、熱心に、各委員会の発表に耳を傾けて頂き、意義ある部会別協議となったのではないのでしょうか。

クラブリーダーの皆様のクラブ活動活性化へのリーダーシップを啓発する機会となり、また橋岡 GE の目指す地区チームとの信頼関係を深め、相互の距離感を無くすことが出来たのでしょうか。

この部会に属する委員会の窓口は、地区内クラブに向かって、常に開かれております。疑問、提言、なんでも結構です。例えば、橋岡 GE は、メディアを通じての広報を、と言っておられます。配布された冊子 21 ページに、「メディアへのアプローチ」とありますが、多くのクラブは、メディアへのアプローチをどうしたら良いのか、その手法が分からないという状況ではないのでしょうか。そのようなことを含めて、なんでも結構です、何かございましたら、ご遠慮なく各委員会委員長に、出来ますれば、CC を増谷委員長、小



林副委員長につけて、メールをお入れください。出来る限りのご協力をお約束いたします。

ロータリーは、算数のように答えは1つではありません。ご参会のクラブリーダーの皆様と委員会との間に考えの違いがあつて当然です。どうかご遠慮なくご意見をお寄せください。

次年度管理運営統括委員会は、その性格を異にする委員会を、また、5つもの多くの委員会を束ねるもので、増谷統括委員長、小林副委員長、そして、各5委員会の委員長と委員の皆さんには、本日の地区研修・協議会に向けての準備に大変なご苦勞をおかけしたことと思います。

また、充実した、有用な参照ガイド冊子をお作りいただきました。先ほど野池次期地区幹事長からお褒めの言葉を頂戴しました。感謝申し上げます。有難うございました。

橋岡 GE は、機会あるたびに、私に、次年度は職業奉仕を大事にしたい、と言っておられます。

直近では、ロータリーの友3月号に、バリー・ラシン RI 会長 E も職業奉仕を重要視すると言われている、との記事が掲載されているとのお話がありました。実は、私はその時には、まだ読んでおりませんでした。直ぐに、読みました。

既にお読みになっておられる方も大勢おられるでしょうが、橋岡 GE の職業奉仕を重視するとの思いを、ご参加の皆様に変更して頂くために、ご紹介します。

ロータリーの友3月号横組み記事34ページにこうあります。「ビジョンの追求」と題するバリー・ラシン RI 会長 E へのインタビュー記事です。

「絶対になくしたくないロータリーの伝統がありますか。」との質問に対して、「『四つのテスト』は絶対になくしたくありません。職業奉仕もなくしたくありません。例会でのいくつかのしきたりはやめてもよいでしょう。もはや、例会が堅苦しい必要はないと思います。しかし、中核的価値観や倫理や職業分類は、残さなくてはなりません。これらは、ロータリアンがどのような人か、他とはどう違うのかを表しています。その真価を認め、その理念をこれからも発展させていく必要があるからです。」と答えています。

大切な部分を繰り返します。「『四つのテスト』は絶対になくしたくありません。職業奉仕もなくしたくありません。中核的価値観や倫理や職業分類は、残さなくてはなりません。これらは、ロータリアンがどのような人か、他とはどう違うのかを表しています。その真価を認め、その理念をこれからも発展させていく必要があるからです。」

このロータリー友の記事は、The Rotarian 3月号のものと全く同じ内容です。

The Rotarian に掲載されている次期 RI 会長の意見ですから、ロータリーの友に掲載されている記事は、いうまでもなく、次年度の RI の見解だということになります。

ただし、ロータリーの友では、「職業奉仕もなくしたくありません」と「四つのテストは絶対になくしたくない」とあるのに、職業奉仕は、絶対にではなく、ただなくしたくない、とだけにされています。

一方、The Rotarian では、四つのテストも職業奉仕も共に、“I would never get rid of…” 絶対になくしたくない、と言っています。

殊更な、誤訳とは申しませんが、いささかロータリーの友に不信感をもってしまいます。次年度 RI のトップとなるバリー・ラシン RI 会長 E がわざわざ「絶対に、職業奉仕をなくしたくない」と言っているのですから、最近盛んになって来ている、今や RI は職業奉仕を等閑にしているのだ、もはや、職業奉仕をロータリーの中核におくのは時代遅れであるといった議論は、その論拠を欠くものであることが明らかになったのではないのでしょうか。

橋岡 GE の職業奉仕を重視するとの思いを共有しながら、皆さんと力を合わせて、次年度の第2790地区ロータリー活動に邁進して行きたいと熱望しております。



奉仕プロジェクト部会



■奉仕プロジェクト部会

リーダー	次期・地区研修サブリーダー	パストガバナー	宇佐見 透
サブリーダー	次期・奉仕プロジェクト統括委員会	統括委員長	平野 弘和
サブリーダー	次期・社会奉仕委員会	委員長	清水 隆
サブリーダー	次期・職業奉仕委員会	委員長	鵜沢 和広
サブリーダー	次期・国際奉仕委員会	委員長	高橋 潤一
サブリーダー	次期・青少年奉仕委員会 / ローター学友小委員会	委員長	金本 元章
アドバイザー	パストガバナー		杉木 禧夫

社会奉仕委員会

副委員長	佐藤 康弘
委員	伊藤 宏司
委員	宮 寛
委員	山本 宏子

職業奉仕委員会

副委員長	池田 勝之
委員	西川 昇
委員	伊藤 愛彦
委員	今山 利猛
委員	内藤 智介
委員	幸松 康彦

国際奉仕委員会

副委員長	金坂 一郎
委員	谷 直知
委員	関根 洋一
委員	金谷 正明
委員	伊藤 公一

青少年奉仕委員会

副委員長	吉田 朋令
委員	相川 敬
委員	川村 由里子
委員	鈴木 定徳

奉仕プロジェクト統括委員会

統括委員長 平野弘和

当部会は地区研修サブリーダー宇佐見透氏に基調講演をお願いし、ロータリー活動並びにRIの目指す方向性についてお話いただきました。その後、各委員長より委員会活動について詳細に説明いただきました。宇佐見氏の講演の内容について以下にまとめました。

2018-19年度奉仕プロジェクト統括委員会は、皆さんとロータリーと奉仕について改めて考え、実践する環境を整えていきたいと考えています。クラブリーダーの皆様のご理解とご協力を改めてお願いします。

【基調講演】 研修サブリーダー宇佐見 透様

ガバナーの意向に沿ったサポートをするよう命じられており、決して以前の様なアドバイザーやリーダー的役目を担っている訳ではありません。ですから、橋岡ガバナーエレクトが考えておられる地区委員会の方向性など総論をお話しますが、活動の主体は皆様であり、押し付けではないことを明言しておきます。

DLPでは、社会、国際、職業、青少年の4委員会を奉仕プロジェクト統括委員会として組織しています。クラブでも4奉仕委員会を統括する「クラブ奉仕プロジェクト委員長」の役職でご参加されている方々かと思えます。

ロータリーは1905年の結成以来1世紀を越え、この間、様々な問題や危機に際し、先輩たちは都度、最善策を話し合い、改変や改革を経て、今や、会員数120万人を超える世界最大のボランティア団体になりました。

では、私達は何の目的で、入会しているのでしょうか？

ここが今日の部会で最も重要な点で、皆様にはクラブに戻られ、会長さん達と共に、私達が最も大切にしてきた以前は“綱領”と呼ばれた、ロータリーの目的“Object of Rotary”についてクラブ内で再確認して頂きたいと思うからです。

私達日本人は、通常、英語に接する機会が乏しく、特に単語の派生に関する知識に乏しく、加えて欧米でのキリスト教に代表される宗教観にも疎く、サービスを奉仕と訳した「日本語の感性」にも注意深く、思慮する必要があると常日頃から感じています。

英語が堪能な、先輩ロータリアンから伺った話ですが、「日本人はRIの方針が活字になった途端、自らの考えや思いを簡単に捨て、直ぐに訳された活字に振り回されてしまう。

常日頃、君がロータリーに対して思っている事、考えている事、感じている事、をもっともっと大切にして欲しいと言われました。更に、ロータリーには、決して一つの正解など無く、一人一人の思いが大切だとも話されました。皆様にも、次年度に委員会活動を行って頂くにあたり、大切にして欲しい

言葉だと思えます。

さて、突然ですが14年前、皆さんは何をされておられましたか？この年にロータリーは100年を迎え、示されたテーマは「ロータリーを祝おう」でした。翌年2005-06年度、新世紀を迎えたロータリーは、ステンハマーRI会長が異例のテーマを発表されました。

なんとこの年のテーマは「Service Above Self」「超我の奉仕」です。例年のテーマと全く違い、聞きなれた？でも何を、どうせればという、難解なテーマと感じました。

実はこの年、私はクラブ会長に就任したのですが、このテーマは、私達ロータリアンが新しい世紀に向かう意味で、大きな意味を持っているとは全く気付かず、ただ入会当初より先輩から良く聞かされた「ロータリーの第1モットー」であるという程度の知識で、このテーマが持つ深い意味など全く考えられませんでした。

この年、ステンハマー会長は、世界のロータリーは新世紀を迎え「この標語ほどの確にロータリーとロータリアンの精神を言い表している言葉はありません。全てのロータリアンに、この「超我の奉仕」の真の意味をじっくり考えて頂き、思いやりと寛容の精神に満ちた、普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになるでしょう」と話されたそうです。

この時点で、私達はロータリーが新たな1歩を踏み出したことに気付くべきでした。

この時点では、現在のロータリーが抱えている問題は些細なものでした。

この時点で、私達はみずからを振り返り行動するべきでした。

「他利」即ち相手への思いやりと、奉仕の心を持つ精神論とそれを行動で表す事こそ私達の目指すところだということです。

以前は「ロータリーの綱領」と訳されていましたが、今は「ロータリーの目的」と修正されました。原文は「Object Of Rotary」で変わっていません。日本語訳だけが変わったのです。

「ロータリーの目的」(Object Of Rotary)とは「意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を推奨し、これを育むことにある」

ですが、ここで高らかに宣言されている事業とは、人類にとってのあらゆる有益な事業を指しており、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕は勿論、クラブが行う事業や慈善事業、他あらゆる事業を指しています。

- 第1. 知り合いを広めることで奉仕の機会とする。
- 第2. 職業上の高い倫理基準、コンプライアンスを保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものとする。(職業に優劣はなく全ての職業は高潔である)
- 第3. ロータリアン一人一人が個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。(ここでの事業はBusiness and Professionを指しますから商売、仕事

を指すのでしょう。)

第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が 世界的ネットワークを通じて 国際社会、親善、平和、を推進すること。

ただ、この4項目は、あくまでも単なる推奨事項で、決して目的が4つあるわけではありません。私達は、唯一この目的のもと、繰り返しになりますが、200以上の国家の120万人を超えるロータリアンが集い、組織されているのです。国家や民族としての考え方、思想、文化などが、違う人々を一つに纏めるなど、とうてい不可能でしょうし、これだけ組織が大きくなると価値観も多様化します。でも、同じ価値観を持つグループ同志が寄り添い、互いの自治幅を広げ、半独立組織を形成するようになります。ですから、RIは連邦政府のような役割を担って、各グループの調和を図ってゆく組織にならざるを得ません。

そこで、唯一「目に見える価値基準」を持つのがロータリー財団であり、運動の中心が財団を中心にならざるを得ない理由がそこにあると思います。

ロータリー財団はRIと共に「Doing Good in the World」「世界で良い事をしよう」を掲げ、新たに3つの事業、「補助金事業、ポリオ撲滅、世界平和」に取り組んでいるのは御存知かと思います。

私達日本では、古来よりどの家庭でも質素儉約を美德とし、町や村のいたるところで互いに助け合い、「今や最も裕福な国家」に成長したと言っても過言ではありません。「おもてなし」と呼ばれる全国民が持つ優しさ、共同社会に対する意識、唯一被爆国であることから平和を望む国民性、どれをとっても世界で最も完成された国家に思えます。

だからこそ今、私達 日本のロータリアンは「ロータリーの目的」である「意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を推奨し、これを育むことにある」という、ロータリーの掲げる「目的」をしっかりと共有すべきと考えます。

2016年の規定審議会では、それまでは無かった多くの改正案が示されました。

先輩ロータリアンの中には「ロータリーは変わった」「昔のロータリーは何処かへ行った」と嘆く方もおられますが、わたしには「不易流行」に沿ってただで本質は何も変わっていないように感じます。

世界情勢は日々刻々と変わり、今もナイジェリアは東西陣営の代理戦争の渦中にあります。アフリカでは未だ飲料の確保に汲々としており、文盲は世界のいたるところに存在します。人種差別もしかりです。

冒頭、お話したように、1905年に誕生した国際ロータリーは1世紀を経て、日本ロータリーも2020年には創立100年を迎えます。この間ロータリーは様々な改革を行いつつ、そして今、私達がいまいます。

中身や理由を探ろうともせず「RIが決めたことだからまずは守ることが当たり前？」とか「RIがロータリーはボランティア団体というからボランティア団体なんだ！」等々、言葉やセンテンスだけを取り上げ、論じようとする姿勢では「不易流

行」に繋がらないように思います。言い方を変えれば、「今、起こりつつある変化は、何故起こりつつあるのかを求める姿勢が 必要ではないか」ということです。

RIの方向性や方針に背を向け、考察をしようともせず、否定しておるだけでは進化はありません。

社会奉仕委員会

社会奉仕委員長 清水 隆

ロータリークラブは、奉仕の理念と奉仕活動のバランスを保ちながら今日に至ってききましたが、ここ数年に於ける各クラブの奉仕活動の減少や退会者による会員の減少を皆様はどの様に思われているのでしょうか。

社会奉仕委員会では、クラブ全体で奉仕プロジェクトの基本を検討していただき取り組む事によって本来の方向性を見出し、各クラブの奉仕プロジェクトにより地域社会とクラブに変化をもたらす活動となるようサポートいたします。

地域社会に於いて「ロータリーの目的」に沿った活動を行ってゆくことが、「より良い社会」を作るための奉仕活動と考えております。

◎奉仕プロジェクトの立案から実施に当たってですが。

- ・限りある活動資金と会員の知識や経験を生かし、地域社会のニーズに沿った奉仕プロジェクトの企画・立案を検討していただきます。
- ・これからのロータリークラブのあるべき奉仕活動をクラブ会員全員で内容を共有し、クラブ全体で取り組むことが重要となってきます。
- ・効果的な奉仕活動を行うには、地域社会のニーズに合った現状調査とクラブが取り組む活動をあらかじめ特定しておいた方が 対応しやすいと思います。
- ・成果を具体的に図る、基準の取り纏め（ルール）と、クラブに合った方法で、実行スケジュールを考案してください。
- ・プロジェクト実行は、計画に沿って活動をし、広報委員会と協力してロータリーのイメージ推進につなげる広報を行います。
- ・プロジェクト終了後、活動で成功した点と改善点を検討し、次回のプロジェクトに生かします。
- ・クラブ奉仕プロジェクト委員会は、奉仕活動の計画、広報（地区、他クラブ、地域社会との）活動資金の調達及び実施。そして終了後に評価として報告書の作成などの取りまとめをおこないます。
- ・クラブの取り組み方と活動内容で、一番重要となるのが ロータリアンの参加・活動となります。

時間は掛ると思いますが、奉仕プロジェクトの重要性が認識され、地域社会のニーズに沿った奉仕プロジェクトの企画、立案、を検討していただき、今こそロータリーの価値観を向上させる情報の共有を

広め、奉仕プロジェクトの基本を検討する時期に来たのではないのでしょうか。私達は、ただ夢や希望を唱えるだけでは無く、1人ひとりがロータリアンとしての自覚(ステータス)をもって奉仕活動に参加すべきと考えます。

職業奉仕委員会

ローターの第二の奉仕部門である職業奉仕とは

職業奉仕委員長 鶴沢和広

来年は平成も終わり新しい時代を迎えます。その新時代を担うロータリアンのみなさんに現在、世界のロータリーの中で職業奉仕についてどのように考えられているかをお伝えしたいと存じます。

さて、ロータリーの第二の奉仕部門である職業奉仕は五大奉仕のひとつの奉仕部門であって、全てではありません。今まで日本で語られてきた職業奉仕論は職業倫理論であって世界のロータリアンの認識と大きくかけ離れています。全世界のロータリークラブは一つの基本理念『奉仕の理念』を持つており、それは他人のことを思いやり、他人の助けになることとするという思いです。奉仕の理念を提唱・奨励し、目に見える奉仕活動を積極的に行うことが我々ロータリアンの心の満足に繋がりロータリアンでいる意義を感じられるのではないのでしょうか。普段から自分の職業に一生懸命励んで来たからロータリアンへの道が開けたのです。そしてロータリアンに成れたのですから今度は実際の奉仕活動を行うことが求められています。

会員が自己の能力や資力を使い「超私の奉仕」を実践することでロータリーが世の中に広く紹介されてその地位を得るのです。そうして造られた魅力あるロータリアンの姿に憧れて新しいロータリアンが生まれ、また我々も胸を張って活動できるのです。日本のロータリーは、世界のロータリー運動の中で、その影響力が低下し、価値観や方向性の認識における世界とのずれが解消できずにいます。RIの方向性や現状に疑問や不満を感じる日本のロータリアンも増えておりこのまま意識のギャップが拡大してゆけば、日本のロータリーがロータリー世界の中で孤立していくことが懸念されます。RIの方向性に背を向けて日本独自の孤立路線を歩むのか、それとも理念と活動の両面で21世紀の世界的ネットワークの中でリーダーシップを発揮できるようになるのか、この二つの道のどちらに向かおうとしているのか、大きな岐路にあるのではないのでしょうか。

決議23-34の第4条にも「奉仕するものは行動しなければならぬ。従って、ロータリーとは単なる心構えのことを言うのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならぬ。そして、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならぬ。」とロータリーの奉仕の哲学は単なる理念の提唱ではなく実践の哲学であり、奉仕活動を伴わなければならないと

謳われています。

自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在になることだけで満足するのではなく、実際に奉仕活動を積極的にい地域社会から認められ憧れられる存在になることが、これからのロータリアンに求められています。この奉仕活動を通じてロータリークラブが広く世の中に認知されるよう励んでいきましょう。

ロータリーの目的は、意義ある奉仕事業の基礎として、その理念を奨励し、これを育むことにあり、『奉仕の理念』の実践こそがロータリーの根幹であると言うことをご理解ください。

職業奉仕についてはいろいろなお考えがあり、入会後間もないロータリアンの方々には解りにくいものになっていると思います。職業奉仕委員会では地区のロータリー研修委員会と協力して次年度一年をかけて世界で通用する職業奉仕についての考え方をお伝えして行きたいと考えております。

国際奉仕委員会

2018-19年 橋岡ガバナー年度の国際奉仕委員長を拜命致しました、新千葉ロータリークラブの高橋潤一と申します。

まず初めに、一年間お世話になる委員会メンバーをご紹介致します。

茂原RCの金坂一郎さん、成田RCの谷直知さん、千葉RCの関根洋一さん、佐倉中央RCの金谷正明さん、柏RCの伊藤公一さん、以上のメンバーで一年間国際奉仕委員会を進めていきたいと思ひます。「国際奉仕」と聞くと、何か遠い、お金と時間がかかる、取り組み辛い奉仕と思ひがちです。

まして言葉の分からない第3国との奉仕となると、二の足を踏む事と考えます。

現在、多くのロータリークラブが海外のロータリークラブと姉妹クラブを結び、広く奉仕活動を行っております。ちなみに2017年度は、地区内31クラブが海外の姉妹クラブと奉仕活動をしております。

奉仕とは、奉仕される人の気持ちに答え、感謝され、笑顔にならなければいけないと思ひております。

諸先輩が行ってきた奉仕活動の更なるアップも考え、現状の国際情勢にあった奉仕活動を各クラブで企画検討して頂きたいと思ひます。

出来れば、海外向け地区補助金、グローバル補助金の活用を積極的に考えて頂ければと思ひます。過去に地区補助金、グローバル補助金を使っての国際奉仕活動を行ったクラブは23クラブ御座います。そのためにも、青少年交換留学生、米山奨学生における情報提供、国際情勢の説明など、お手伝いも重要な役目と考えております。

国際ロータリーは、2016年7月1日現在、200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,399、会員総数1,207,913人に達しています。この素晴らしいロータリークラブの中で、今、あなたに出来る事を少しでも世界の地域で考えて頂きたいと思ひます。

ほとんどのロータリークラブが、クラブのプロ

プロジェクトとして採用した対社会的な奉仕活動が広がっていくことによって、職業奉仕の理念との間に葛藤が生まれてきました。

この2つの考え方を何とか調和する必要があるという事で作られたのが、有名な決議23-34であります。

ロータリアンの相互理解と友情を通じながら、究極の世界の平和を目指そうという考え方から、国際奉仕という概念が生まれてきます。

しかしながら、国によって非常に格差が多く、貧困によって紛争が起こる。そこで貧困を援助することによって結果的に世界の平和に繋げようという発想の中から、世界社会奉仕という考え方が浮かび上がってきて、現在はこれが国際奉仕の主流を占める状況になっているわけです。

網領の付帯事項の第4項には、国際奉仕の定義が書いてあります。

ロータリアン同士の親交によって、最終的には世界平和を目指しなさい、という事です。国連憲章を作ったのはロータリーの力です。世界中に素晴らしい政治家とか、経済学者とか、あらゆる分野の職業のロータリアンがいます。これらのロータリアンが強い友情で結ばれば、絶対に国同士の戦争は起こらない。それは夢かも分からない。しかし、ロータリアンはそれを信じながら、世界平和を究極の目標にしているわけであります。

国際奉仕委員会は、海外旅行のツアーコーディネーターではないのです。国際交流と国際奉仕は違う、という事であります。国際交流を否定するものではなく、交流を重ねて絆と友情を海外と深めるのも、ロータリーの目的ではありません。しかし、交流の先の奉仕を考えなくては、国際奉仕委員会の意味がないのです。

自クラブの都合、満足で事業を決めてはならないと考えます。

貢献活動、奉仕事業は、相手国が笑顔になり喜ばれる事が重要であります。

また、その事業に対してロータリアンが継続的に関わって行く事も必要とされます。

そのための情報提供を積極的に行っていく事のできる、米山奨学生などの活用があります。

姉妹クラブの締結はロータリーのステータスではありません。

なぜその国を、なぜそのクラブと姉妹を結ぶかを考え、そして、何を目的として姉妹締結するのかを考えなくてはならないのです。

補助金の手続きが簡素化され、「地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類となりました。

クラブと地区は、この2種類の補助金を通じて地元や海外で幅広い、人道的・教育的奉仕活動を実施することができます。

地区補助金ではクラブが申請して使用できる資金の分配が増え、奉仕分野も自由に決める事が出来ます。

「グローバル補助金」は、6つの重点分野に関連するプロジェクト、奨学金、職業研修チームを支援するものです。

6つの重点分野とは、平和と紛争予防・紛争解決

／疾病予防と治療／水と衛生／母子の健康／基本的教育と識字率向上／経済と地域社会の発展 であります。

ここで、国際奉仕に関係する各クラブから提出された、地区補助金申請のご紹介をさせていただきます。

千葉港 RC

- ・ラオス国、図書館建設及び図書寄贈
- ・2018年7月1日～2019年2月28日

千葉北 RC

- ・多言語紙芝居の普及
- ・2018年9月1日～2018年11月30日

東金 RC

- ・カンボジア、スマオン小学校教室の屋根修理
- ・2018年7月1日～2019年3月31日

成田コスモポリタン RC

- ・カンボジア助産師要請支援事業
- ・2018年7月1日～2019年2月28日

柏南 RC

- ・米山奨学生及び外国人留学生 日本文化ふれあい交流
- ・2018年11月27日 開催予定

松戸中央 RC

- ・国立ウイダヤナ大学、パリ教育大学院生向け 米山奨学生プロモート活動
- ・2018年11月3日～2018年11月7日

野田セントラル RC

- ・移動車によるロータリー図書館 (Rotary Library Wheels)
- ・2018年7月1日～2018年12月30日

など、補助金申請が出ております。

できれば多くのクラブに国際奉仕にチャレンジして頂いて、行動して頂きたいと思っております。最後になりますが、天台宗の開祖、最澄が「一隅を照らす」と言っております。

「一隅」とは、今あなたがいるその場所です。あなたが、あなたの置かれている場所や立場でベストを尽くして照らすことであります。あなたが光れば、あなたのお隣も光ります。町や社会が光ります。小さな光が集まって、日本を、世界を、やがて地球を照らします。

あなたの一隅から世界を照らすことになるのです。

一人ひとりが輝き合い、手をつなぐことが出来れば、みんな幸せになり、素晴らしい世界が生まれると信じます。

なお、別途国際奉仕活動に関するアンケートをメールにて各クラブに発信したいと考えておりますので宜しくお願い致します。

橋岡ガバナーエレクトより、「世界の子供達へ自転車～撤去自転車の海外供与事業～」のプロジェクト

クトの提案がございました。

現在千葉県内の公共団体では、柏市・八千代市・浦安市が協力しております。

このプロジェクトに興味のあるクラブがありましたら、奉仕事業の参考にして頂きたいと思います。

一年間宜しくお願い致します。

青少年奉仕委員会

すべての子ども・若者が希望をもって未来を思い描ける社会に向けて

青少年奉仕委員長 金本 元章

2018-19年度青少年奉仕委員長を仰せつかりました、柏西ロータリークラブの金本です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

最初に、委員会のスタッフをご紹介します。まず、副委員長の吉田朋令（よしだともり）（千葉東ロータリークラブ）相川 敬（あいかわ たかし）（千葉中央ロータリークラブ）、鈴木定徳（すずきさだのり）（千葉ロータリークラブ）、川村由里子（かわむらゆりこ）（柏ロータリークラブ）以上5名のスタッフです。どうぞ、一年間よろしくお願い致します。

クラブ奉仕委員会、社会奉仕委員会、職業奉仕委員会、国際奉仕委員会があり、私がロータリークラブに入会したときは、「四大奉仕」と呼ばれていました。そして、5番目の奉仕として誕生したのが青少年奉仕委員会です。

また、橋岡ガバナーエレクトは、地区協議会では初めての試みで奉仕プロジェクト統括委員会に青少年奉仕委員会を設け、新たに青少年育成統括委員会を立ち上げ、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLAの各委員に移行されました。青少年奉仕委員会は「青少年育成統括委員会」の活動と連携し、協力関係を築きながら、ロータリーに於ける青少年奉仕を実践します。次世代を担う、子どもから若者すべての青少年の多様なニーズを認識しつつより良い未来を確かなものとするためにロータリアンの全員がもっと関わるべき青少年奉仕活動だと思えます。

委員会として、83クラブの皆様に青少年奉仕活動のお願いを申し上げます。地域で単に世間から要望されてるからとか、今まで実施してきたから言うことでなく、それぞれクラブの所在する青少年のニーズを的確に把握し、新しい取り組みに皆様の経験を生かし柔軟に、そしてより良いプロジェクトが実施されれば、地域社会に大きな影響を与えることができると思います。本年度RI会長テーマの「インスピレーションになろう」地域社会で目指して下さい。当委員会の役割は、各クラブの皆様とコミュニケーションを計り、アプローチの方法など地区内のクラブに必要な情報提供などさせていただきながら、各クラブの皆様方が青少年奉仕プロジェクトの計画と実施をして頂くよう、後方から支援を行って参りたいと思います。

次に、不幸な自然災害により、就学の道を閉ざさ

れた青少年のに対して、未来に繋げる支援活動を行っております。「ロータリー希望の風奨学金」の詳細内容は、本日お配りしたパンフレットにて目を通して下さい。また、本地区の国際ロータリー2790地区のホームページに希望の風「風の便り」にて、現況報告を毎月更新されております、是非ご覧になって下さい。本年度は、実務はガバナー事務所となっておりますが、当委員会が窓口になり「ロータリー希望の風奨学金」の活動は、引き続き継続してまいります。

<ロータリー学友小委員会>

ロータリーの活動またはロータリアンとの様々なプログラム経験者の学友の皆様は私たちロータリアンとロータリーの奉仕の心を共用する大切な仲間であり、ロータリーファミリーであります。しかし、残念なことに、プログラム卒業と同時に参加された学友の皆様とロータリーとの関係が少し疎遠になるケースが多くなっています。財団留学生や米山奨学生が独自に展開する学友事業に対して、適切な交流を助長する方策を模索し、青少年層のロータリークラブの関係を意識した土壌を育みたいと考えます。結びになりますが、どうか一年間皆さまのご理解、ご協力をお願い致します。

青少年奉仕部会



■青少年奉仕部会

リーダー	次期・地区研修サブリーダー	パストガバナー	青木 貞雄
サブリーダー	次期・青少年育成統括委員会	統括委員長	中澤 良夫
サブリーダー	次期・青少年育成統括委員会	統括副委員長	岡村 美智子
サブリーダー	次期・インターアクト委員会	委員長	長谷川 治夫
サブリーダー	次期・ローターアクト委員会	委員長	古志 智宏
サブリーダー	次期・青少年交換委員会	委員長	小菅 和彦
サブリーダー	次期・RYLA委員会	委員長	黒岩 靖之
アドバイザー	次期・地区危機管理委員会	委員長	津留 起夫

インターアクト委員会

副委員長	藤代 祐孝
委員	土井 豊彦
委員	小沢 恒夫
委員	須藤 郁雄

ローターアクト委員会

副委員長	小林 昭弘
委員	小林 宏子
委員	原田 宗広
委員	田中 孝治

青少年交換委員会

副委員長	渡邊 昌俊
委員	山崎 由美
委員	細田 はづき
青少年交換アドバイザー	諸佐 博

RYLA 委員会

副委員長	香田 隆造
委員	矢代 秀明
委員	中村 吉政
委員	吉田 和義

中澤統括委員長

皆様こんにちは。

橋岡年度は組織の変更があり、今年度青少年奉仕統括委員会にありました、学友会・希望の風は奉仕プロジェクト統括委員会に移動しております。

その関係で奉仕プロジェクト部会に、間違えて行かれてしまった方がおりますので、しばらくお待ちください。

司会 岡村

プログラムの変更のお知らせです。

アドバイザー津留さんの話はRYLA委員会の後行います。

司会 岡村

お待たせいたしました。

ただいまより青少年育成統括委員会の部会を開催いたします。

私は次年度統括副委員長兼青少年アドバイザーの岡村でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

それでは最初にリーダーからの挨拶をお願いいたします。

研修サプリーダー青少年育成担当 青木 貞雄

皆様 こんにちは。

橋岡年度の青少年育成統括委員会担当研修サプリーダーを仰せつかりました直前ガバナーで、成田CRC所属の青木です。宜しくお願いします。

国際ロータリーの青少年育成事業には、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、RYLA、R財団奨学生、R平和フェロー、R米山記念奨学生等があることは、皆さんご承知と思いますが、このうち、インターアクト、ローターアクト、R青少年交換、及びRYLAが5大奉仕の1つである青少年奉仕の中核で、橋岡年度では、独立組織となった「青少年育成統括委員会」がこれらのプログラムを担当します。

この機会に、国際ロータリーにおける青少年奉仕活動について若干説明させていただきます。

1905年にシカゴRCが創設され、ロータリー活動が始まりましたが、1908年冬、街頭で寒さに震える新聞少年をある会員が例会に招き入れ、売れ残った新聞を買取る等したのが、ロータリーにおける青少年奉仕活動の始まりとの説がありますが、その後、米国各地で設立されたRCの多くが、最初の奉仕活動としてボーイスカウト支援、学生への奨学金提供等を行ったのが、一般的に青少年奉仕活動の始まりと言われております。

いずれにしろ、青少年奉仕活動には、ロータリーが早くから取組んだ長い歴史があります。

しかし、RIの正式な活動となったのは、1927年の機構改革でクラブ、職業、社会、国際の4大奉仕が正式に確立された際、社会奉仕の中に「青少年奉仕活動部門」が設置された以降です。その後、大分

時間がたった2010年に青少年奉仕が独立し、現在の5大奉仕が確立されましたが、当初は、「新世代のための奉仕」と称され、現在の名称「青少年奉仕」となったのは2013年の規定審議会以降です。

RIの青少年奉仕の目的は、指導力養成活動、社会奉仕及び国際奉仕事業参加、世界平和と異文化理解を深める交換プログラム等のロータリー活動を通じて青少年の好ましい育成を図ることで、その中核が「青少年育成事業」ですが、1962年にインターアクトクラブ、1968年にローターアクト・クラブ、1970年にRYLA、そして、1974年にR青少年交換がRIの正式プログラムとして各々採用され、現在に至っています。

さて、皆さんは、これらRI青少年育成プログラムについて、どの程度理解されていますか？

私は、以前から、これらの言葉の意味は知っていましたが、活動の実態を知ったのはガバナーになってからです。

それは、これらロータリー青少年育成事業の対象が非ロータリアンであること、及び事業遂行には専門的知識が必要なこと等から、関与する特定クラブ、及び地区委員によってProjectが展開され、周りからは実情が見えないからだと思います。

そして、残念ながら、当地区においては、これら青少年育成事業への参加者が、近年、減少していると共に、これら事業参加者のうち、その後もロータリー活動に関わったり、ロータリアンになったりしている人が、わずかしかないことです。

しかし、RI青少年育成事業の運営主体が地区青少年奉仕委員会であることから、予算は、地区委員会としては最大で、かつ地区委員会予算の半分を割り当てられています。

私は、斯かる実情・実態を勘案し、多くの会員にRI青少年育成事業を理解していただくと共に、多くのクラブがRI青少年育成事業に参加者を派遣していただくことと、そして、当該ロータリー活動参加者がロータリーの理解者、また、将来ロータリアンになっていただく必要があると考え、青少年育成統括委員会の皆さんに、

- 1) 青少年育成事業に対する地区内クラブ・会員の理解・関心の増進、及び事業参加者拡大、
 - 2) 従来からの事業の効果検証、及び拡充、
 - 3) 事業参加者のロータリー活動に対する理解・関心深化、及び関与推進等への取組
- の3点に力を入れて取組むようお願いしています。

このような現状もあり、R青少年交換希望者が成田地区で手を上げたのを知った私は、所属する成田CRCをお願いして、次年度、クラブ始まって以来初の青少年交換派遣・受け入れ事業に取組むこととしました。

尚、バリーラシン次期RI会長は、次年度の主要活動目標の1つとして、青少年育成事業の活発化、

特に、ローターアクト活動の活性化、即ち、ローターアクターの拡大、ローターアクト・クラブの新設・増大を通じたロータリアン増強等に取り組むよう求めています。

皆さんには、この後、各委員会から説明がある次年度活動方針、事業説明等をよく聞き、青少年育成活動に対するクラブ会員の理解・関心深化に努めていただくと共に、地区委員会と連携して、対応可能なPROJECTに積極的に参加者を派遣していただくようお願いいたします。

尚、この後、津留地区危機管理委員会委員長より詳しい話がありますが、青少年交換事業にご協力を頂いているクラブにおいては、近年、ロータリーのみならず、社会一般で問題となっているセクハラについて、十分注意して対応していただくようお願いして、私の青少年統括委員会PRを終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

青少年育成統括委員会委員長 中澤良夫

私達の地域には素晴らしい資質を持つ若者たちが沢山おります。

これらの若者たちにリーダーシップを養う機会、国際理解の機会、地域社会奉仕の機会等を作りだし自己研鑽や友愛の場をロータリーが提供する。

この素晴らしい活動こそが青少年奉仕であり、各プログラムが効果的に行わせるために私達は四つの委員会を設けています。

インターアクト委員会、青少年交換委員では高校生を対象にローターアクト委員会では18才から30才までを対象にRYLA委員会ではこれらのプログラム参加青少年に加えて各クラブよりご推薦頂いた30才までの若者を対象に、リーダーシップセミナーを実施しております。

昨今、日本では当地区に限った事では有りませんが参加青少年、参加高校が減少しており提唱ロータークラブにも危機感が増しているのが現実です。

18-19年度ラシンRI会長はローターアクターの増強を推奨しており、橋岡GEからも新たにローターアクトクラブを創立するよう御指導頂きました。

橋岡年度ではサブリーダー青木PGに御指導頂き、各委員会の量と質を増強するよう努める所存です。

皆様にお願いとありますが各ロータークラブから、これ等のプログラムに参加できる青少年を推薦頂ければ幸いです。

最後に皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

インターアクト委員会の活動

インターアクトとは？

インターアクトクラブでは、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけます。

インターアクトでできること

- インターアクトクラブはたくさんの可能性にあふれています。
- ・学校や地元地域でボランティア活動をする
- ・異文化について学び、国際親善に貢献する
- ・学校や地元地域でリーダーシップを発揮する
- ・楽しみながら、世界中に友だちをつくる

2018-19年度 活動方針

- 縦や横のつながりを深める。
- ・IAクラブ同士の情報交換を積極的に行う。年次大会や指導者講習会などのおりに、情報交換を行う場を位置づける。
- ・RACやRYLA、青少年交換委員会との交流を深め、IAから先の活動へとつなげる。
- ・国外研修の内容の充実を図る。

第2790地区インターアクトクラブの現状

成田高等学校	6
木更津総合高等学校	12
県立千葉商業高等学校	63
県立大原高等学校	14
県立茂原樟陽高等学校	6
県立館山総合高等学校	3
県立安房拓心高等学校	1
千葉経済大学附属高等学校	5
愛国学園大学附属四街道高等学校	5
千葉黎明高等学校	15
文理開成高等学校	2
聖徳大学附属女子高等学校	17
東海大学附属望洋高等学校	11
市原中央高等学校	25
計14クラブ	190名

インターアクト 行事予定

- 5月11日（第51回インターアクト指導者講習会
文理 鴨川）
- 8月26日 第52回インターアクト年次大会
拓心高 千倉
- 11月 第31回国外研修 台湾を予定
- 2月 ロータリー地区大会・青少年の集い

5月 第52回インターアクト指導者講習会
 聖徳大学附属女子高等学校 松戸
 インターアクト合同会議 7月、9月、3月 を予定。

インターアクト年次大会

第51回インターアクト年次大会

開催日：2017年8月26日(土)

開催会場：市原市勤労会館(Youホール)

講演 10:45～11:30

(3階多目的ホール)

- ・テーマ 『国際社会で世界を変える』
～自分たちにもできる国際協力～
- ・講師 認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・
ジャパン
代表 中島早苗 副代表理事 出野恵子様
子供活動応援事業リーダー
伊藤菜々美様
フィリピン障がい者支援事業
プロジェクトマネージャー 石田由香理様

ポスターセッション 12:20～13:1300

(3階多目的ホールロビー)

ポスターの前で、各学校のインターアクトクラブの
 日頃の活動について紹介をして情報を共有してもら
 います。

年次大会活動の様子



ワークショップ 13:00～14:40 (2階各会議室)

- ・第1分科会 (グループA)
『子供の権利について』 会議室 1
- ・第2分科会 (グループB)
『偏見について』 会議室 2
- ・第3分科会 (グループC)
『教育について』 会議室 4
- ・第4分科会 (グループD)
『難民問題について』 会議室 5

閉会式 15:00～15:30 (3階多目的ホール)

- ・各ワークショップ内容報告
- ・次年度年次大会ホストクラブ・地区代表指名
- ・次年度インターアクトクラブ挨拶

インターアクト国外研修

2017-18 2790地区主催海外研修(台湾)にご紹
 介します。同研修は地区内のインターアクター31
 名と引率教師1名、引率ロータリアン4名の計36
 名で訪問団を結成し、11月16日から3泊4日で
 台北市を訪問して、3481地区扶小団(台湾インター
 アクター)と社会奉仕活動を共にを行い、交流を重ね
 ることにより、インターアクターの国際理解を深め
 ることが目的です。

インターアクト指導者講習会

(目的)

- 新役員対象のリーダー研修
- 指導者同士の友好を深め地区内の結束と友好を促進

指導者講習会活動の様子



ローターアクト委員会

委員長 古志智宏

ローターアクトでは18歳から30歳の若者が様々な場面で活動しております。

そもそも「ローターアクト」とは「ロータリー」＋「アクション」の造語で、世界初のローターアクトクラブはアメリカのノースカロライナ州で50年前に誕生しました。

わが地区では現在5クラブ30名ほどのメンバーが活動し、クラブ毎にフリーマーケット、地元のお祭り、植樹活動、クリスマスコンサート、スポーツ大会など様々な例会を開催しています。さらに近年はクロスプロモーションのキーワードのもと、同地区内において、RYLAのお手伝い、青少年の集い等での青少年交換委員会やインターアクト委員会とのコラボレーション、米山奨学生との交流企画などを推進しております。また、同世代の繋がり地区を超え、東京、神奈川、埼玉、茨城の近隣県のみならず大阪や福岡、北海道のクラブとも交流し、国際会議においては台湾、韓国、フィリピンのアクトとも積極的にコミュニケーションを図っています。2018-19年度はバリー・ラシンRI会長、橋岡久太郎ガバナーの方針のもとローターアクトの会員増強、ローターアクトクラブの新設を目指して参ります。

現状わが地区のローターアクトは人数こそ少ないですが、ひとりひとり魅力に溢れた若者が揃っております。一緒に活動できる若者をご推薦下さい。ローターアクトの活動にご興味を持たれたクラブの皆様がいらっしゃいましたら委員会メンバーまでご一報下さい。一年間ご理解とお力添えを宜しくお願い申し上げます。

青少年交換委員会

Rotary rotary youth exchange

ロータリー 青少年交換委員会

2018-19年度 国際ロータリー第2790地区
青少年交換委員会 委員長 小宮 和彦
(習志野中央ロータリークラブ)

Rotary rotary youth exchange

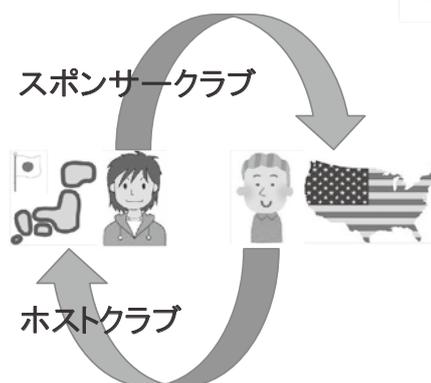


ロータリー青少年交換 プログラムとは

Rotary rotary youth exchange

ロータリー青少年交換は、現在、世界100カ国以上で実施され、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

全世界では毎年8000人以上の交換留学が実現されています。





長期交換 と 短期交換

【長期交換】

- 期間 1年間
- 関与者 クラブ、学校、
ホストファミリーなど多数
- 手続 複雑(要VISA)、保険、
学校手続
- クラブ 約100万円前後
負担 (ただし地区助成金あり)
- 派遣時 英検 2級程度
英語力

【短期交換】

- 2か月
- 主にその家族間
- 簡素(VISA不要)
- ほぼない
(家族間の交換だから)
- 英検 準2級程度

【2015-16 櫻木G年度】

長期交換

- ①勝浦ロータリークラブ (アメリカ ユタ州)
- ②習志野中央ロータリークラブ(アメリカカリフォルニア州)

短期交換

- ①茂原ロータリークラブ (アメリカ イリノイ州)
- ②茂原ロータリークラブ (ドイツ)
- ③佐倉ロータリークラブ (アメリカ ニュージャージー州)
- ④千葉幕張ロータリークラブ (アメリカ シューヨーク州)
- ⑤袖ヶ浦ロータリークラブ (アメリカ ニューヨーク州)



第2790地区 近年の青少年交換実績

【2016-17 青木G年度】

長期交換

- ①松戸中央ロータリークラブ(アメリカ カリフォルニア州)
- ②浦安ロータリークラブ (アメリカ カリフォルニア州)

短期交換

- ①茂原ロータリークラブ (アメリカ ペンシルバニア州)
- ②茂原ロータリークラブ (ドイツ)
- ③茂原ロータリークラブ (ドイツ)
- ④茂原ロータリークラブ (アメリカ マサチューセッツ州)
- ⑤千葉幕張ロータリークラブ(アメリカ ペンシルバニア州)

【2017-18 寺嶋G年度】

長期交換

- ①勝浦ロータリークラブ (スイス)
- ②勝浦ロータリークラブ (アメリカ カルフォルニア州)
- ③習志野中央ロータリークラブ (アメリカ ハワイ州)
- ④八千代ロータリークラブ (イタリア)
- ⑤浦安ロータリークラブ (アメリカ シューヨーク州)

短期交換

- ①勝浦ロータリークラブ(アメリカ ウェストバージニア州)
- ②茂原ロータリークラブ(アメリカ バージニア州)
- ③千葉幕張ロータリークラブ(アメリカ ペンシルバニア州)

【2014-15 宇佐見G年度】

長期交換

- ①銚子ロータリークラブ (カナダ)
- ②習志野中央ロータリークラブ (アメリカ ルイジアナ州)

短期交換

- ①茂原ロータリークラブ (アメリカ イリノイ州)
- ②茂原ロータリークラブ (ドイツ)
- ③佐倉ロータリークラブ (アメリカ メイン州)
- ④千葉幕張ロータリークラブ (アメリカ シューヨーク州)

【2018-19 橋岡G年度】

長期交換

- ①流山中央ロータリークラブ (カナダ)
- ②成田コスモポリタンロータリークラブ
(アメリカ カルフォルニア州)

短期交換

- ①勝浦ロータリークラブ(アメリカ ワシントン州)
- ②茂原ロータリークラブ(アメリカ バージニア州)
- ③千葉幕張ロータリークラブ(アメリカ ペンシルバニア州)
- ④佐倉ロータリークラブ(アメリカ ノースカロライナ州)



年間行事



オリエンテーション



オリエンテーション



オリエンテーション



オリエンテーション



帰国報告会



オリエンテーション



スプリングキャン



スプリングキャンプ(神戸)



他地区合同スポーツ大会



次年度 交換生募集

他地区合同スポーツ大会



海を越え
学び
成長する

rotary youth exchange

募集中!
ロータリー青少年交換 (長期)
海外留学で語学力を伸ばし、ホストファミリーとの異文化交流で視野を広げ、人財として成長したい。そう思うなら長期交換がオススメ。
100を超える海外留学で人生を変える体験をしよう

募集中!
ロータリー青少年交換 (短期)
語学を通して異文化に触れてみよう。ホストファミリーとの滞在 (長期3か月) や、ツアー、キャンプへの参加 (数週間) などなど、100を超える海外留学で人生を変える体験をしよう



6. 申込方法

- A. 生徒は、次のURL から、入力を完了させること。
【 <https://rijyec.org/excs/index.php?d=2790> 】
- B. 生徒及びその保護者は、自ら推薦ロータリー・クラブを選定し、2018年8月10日(金)までに、推薦ロータリー・クラブへ提出すること。
- C. 推薦ロータリー・クラブは、2018年8月31日(金)までに地区青少年交換委員会に提出してください。

7. 地区派遣候補生選考方法

地区選考試験は2018年9月16日(日)を予定しています。

選考場所は、千葉市文化センターの予定。

2018-19年度 国際ロータリー第2790地区
 青少年交換委員会 委員長 小管 和彦
 (習志野中央ロータリークラブ)

最後に

一人の留学生に対し、クラブ、学校、家庭、地域住民など多くの支援者が相互に関わりあい、留学生と共に**笑い、喜び、学び、悩み、励ましあ**う体験ができるのがこのプログラムの特徴です。

その目的は、青少年が異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、**世界の平和**を少しずつ実現することです。





RYLA委員会

委員長 黒岩靖之

RYLAセミナー

(ロータリー青少年指導者育成プログラム)

「Rotary Youth Leadership Awards」ロータリー青少年指導者養成プログラムの頭文字をRYLA(ライラ)といいます。14歳～30歳を対象に指導者および良き市民としての資質を伸ばすことを目的にしたプログラムで、セミナーか指導者キャンプのどちらかの方法でクラブまたは地区レベルで行われています。当地区では長年にわたり「コマ図」を利用した「歩行ラリー」を教材に実施しています。日本で初めてRYLAが開催されたのは、1976年に当時の第366地区(大阪・和歌山)で、当2790地区では1978年に開催され、今年度で第42回目となります。

当地区のRYLAは毎年約80名の参加者(高校生～30歳の青少年とロータリアン)、および約30名の主催者側(地区委員、実行委員及びローターアクトスタッフ)の総勢約100～120名の参加者で1泊2日のセミナーとなります。

「歩行ラリー」でいったい何を学ぶのか？ ラリーはペアの頭脳と体力をつかい、勝ち負けを競うものですが、それだけではなく、若者とロータリアンは同じ参加者として、寝食を共にしながら共に「考え」「行動し」「議論し」「検証し」問題解決を目指します。「コマ図」に示されている内容はどういうことなのか？それをペア・チームで検討して行きます。その一連の過程において、若者にとっては様々な職業人であるロータリアンたちと語り合うことで、人間の幅を広げられ、リーダーシップに必要な創造力を養って行くものです。参加していただいたロータリアンにとっても、若者の感受性や行動力から新たな刺激を受けることと思います。参加者からは、毎年「参加してよかった」「また参加したい」等の感想をいただいています。そして、この歩行ラリーは減点方式で順位を確定して表彰を行います。単純な順位の表彰より重視されるのが、改善率です。つまり初日から2日目への改善率の向上順位です。これを重視するのも当地区のRYLAの特徴だと思います。

2017-18年度のRYLAセミナーは、2018年2月17日～18日にかけて、参加者、地区委員、実行委員、スタッフ総数約100名での開催でした。そして地区内の29クラブから参加者を推薦していただきました。しかしながら、未だRYLAセミナーに参加したことがないというクラブも多いのではないのでしょうか？

2018-19年度においても「歩行ラリー」を教材にしたRYLAセミナーを、2019年2月2日(土)3日(日)の1泊2日で南房総市岩井海岸「甚五郎」にて開催します。

ぜひ、各クラブから多くの若者・ロータリアンのご参加をお待ちしております。

皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

質問事項

八千代中央RC

Q① 参加費用の15000円は一人当たりか？

A 15000円/人です

Q② 参加者(青少年)の送り迎えはどうするのか？

A 各クラブ参加者は青少年とロータリアンになります。青少年の送り迎えは各参加ロータリアンでお願いします。

Q③ 「歩行ラリー」にはロータリアンも参加しなくてはならないのか？

A 青少年たちと一緒に歩行ラリーと言う問題を解いてもらうので参加が必須です。(青少年が主体ですのでロータリアンはオブザーバー的に願います)

危機管理委員会委員長

橋岡GE地区研修協議会危機管理委員会説明

地区危機管理委員会

委員長 津留起夫(市原RC)

青少年育成統括委員会にご出席のみな様、地区研修協議会、お疲れ様です。

PETSでは、クラブ会長様に概略を説明いたしました。この協議会分科会では、実際にプログラムに携わるクラブの委員長さんや担当の方々ですので、ハラスメントの申し出があったら実際にやらなければならない事をキャッチコピーにしましたので、覚えて帰ってください。

それは、「疑いなくGPSC」です。

- 1) 「疑いなく」は、青少年からのハラスメント申し出は、疑うことなく受け付ける
- 2) 最初の「G」は、ガバナーに報告(危機管理委員会でもOK)です。
- 3) 次の「P」はポリスのPです。事件であることが明確な場合は、警察へ連絡してください。
- 4) 「S」ですが、セパレートの「S」です。青少年を申し立てられた人物から離してください。
- 5) 最後の「C」ですが、これはキャッチの「C」です。青少年の身の安全と健康を確保する為に、受け止めてください。

では、地区危機管理委員会からの説明を致します。委員会構成は、協議会資料をご覧ください。橋岡G年度の危機管理委員会は、従来とは違った動きになります。

地区危機管理委員会の役割は、ロータリー、及びロータリアンが直面する／した、あらゆる危機に対応する委員会です。

橋岡G年度では、啓蒙活動を行います。それは、具体的には次の通りです。

- 1) RIより順守を求められています「ロータリー青少年保護の手引き」に基づいた手順を青少年育成統括委員会のIA, RA, RYE, RYLAの各委員会と青少年奉仕委員会と共に、地区内に浸透させることを致します。

最初に地区委員会にお願いする事項です。

1-1) 地区インタラクティブ委員会へのお願い

イ) 地区IA委員会の国外研修では、青少年交換プログラム短期派遣の手順をとります。例年台湾の地区に研修に行きますが、お世話になる地区ガバナーの受入保証署名と送し側のガバナーの署名をそろえた書式を準備していただき、危機管理委員会に提出してください。そして、保護者の旅行同意書を取ってください。

ロ) また、青少年交換プログラムが定めている補償額以上の旅行保険加入が義務付けられます。加入保険の補償内容のコピーを危機管理委員会に提出してください。

1-2) 地区青少年交換委員会

イ) 交換プログラムでは旅行保険は必須です。長期交換だけではなく短期交換の旅行保険についても、RIが規程している補償額以上の旅行保険を準備するように保護者に伝えてください。そして、加入保険の補償内容のコピーを危機管理委員会に提出してください。

ロ) 委員会主催の研修旅行で千葉市から240 Km以上移動する場合にも、十分な補償額の保険を準備してください。

ハ) ボランティア誓約書を、危機管理委員会に提出してください。

1-3) 地区RYLA委員会

イ) 開催期間にわたる、参加者の傷害保険は、十分な補償額の保険を準備してください。そして、加入保険の補償内容のコピーを危機管理委員会に提出してください。

1-4) 地区RA委員会

イ) 全国的なRAの会議などに参加する場合、千葉市から240 Km以上移動する場合は、十分な補償額の保険を準備するよう

に、RA地区代表に申し入れをお願いします。

2) 各クラブへのお願い

各クラブでは、青少年奉仕のプログラムを実施してまいりますので、次の点にご注意ください。

イ) 海外クラブ(姉妹クラブ名など)間の青少年の往来について

- ・青少年交換プログラムと同様の受入保証書式を利用していただき、相手地区ガバナーと当地区ガバナーの受入保証署名を準備し、危機管理委員会に提出をお願いします。
- ・旅行保険は、RIの補償額以上の適切な保険を掛けてください。また、加入保険の補償内容のコピーを危機管理委員会に提出してください。
- ・事故、事件が発生した場合は、危機管理委員会に報告をしてください。
- ・クラブ会長が事件、事故を知った時から72時間以内に、そのことについてRIへ報告する義務が、地区ガバナーには課せられていますので、ご理解ください。

3) まだ確定ではありませんが、IA, RA, RYLAのプログラムについて、もし事故やハラスメント事件が起こった場合に、ロータリーが賠償金の支払を命じられるか和解金の支払をする場合に、保険で賄うために人格権特約付き責任賠償保険の加入を予定しています。

- ・保険でカバーされますのは、
 - ①加入地区のガバナー、加入地区内のロータリークラブ会長
 - ②加入地区内のインタラクティブ委員、ロータリー委員会、青少年活動委員、研修委員

詳細は、保険パンフレットがガバナー事務所に届いていますので、お尋ねください。

4) 「ロータリー青少年保護の手引き」のクラブ順守手続のお願い

この「ロータリー青少年保護の手引き」はRIからの通達ですので、地区ガバナーは遵守する事が求められます。しかし、クラブには直接遵守することは、求められていません。ですが、地区ガバナーは、青少年保護に関する「青少年と接する際の行動規範に関する声明」をクラブが遵守するように監督する事を、責務として求められております。

その責務を担保する為に、「青少年と接する際の行動規範に関する声明」の具体的な指針であるこの「ロータリー青少年保護の手引き」を順守することについて、ガバナーに書面を提出するお願いを後日配信することになります。後

日というのは、現在地区の戦略計画委員会で検討中の為ですが、地区で採用することが確定となりましたら、連絡がクラブ会長宛に配信される予定です。

(添付資料)

2018.3.24

2018-19 年度橋岡 G PETS 危機管理委員会報告

地区危機管理委員会の役割は、ロータリー、及びロータリアンが直面する／した、あらゆる危機に対応する委員会です」

本日は、あらゆる危機の内、青少年プログラムにおける危機管理について、お話を致します。

危機管理のお話をする前に、すべてのロータリアンが肝に銘じておかななくてはならない声明があります。青少年に対して安全な環境を整える責務を我々ロータリアンに課した「青少年と接する際の行動規範に関する声明」(RCOP 2.130.1.)です。

2006年のRI理事会にて決定されたもので、私たちロータリアンはこの責務に応える義務があります。

「青少年と接する際の行動規範に関する声明」
(RCOP 2.130.1.)

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある

危機管理の基本的な理念は、「ゼロ容認方針」です。ゼロ容認 (zero tolerance) とは、「性的虐待やハラスメントは、絶対に容認をしない」という事です。

そしてRIは、これを今後の基本的な方針とすることを宣言しています。それがゼロ容認方針 (zero tolerance policy) です。

このゼロ容認方針 (zero tolerance policy) は、「性的虐待およびハラスメントの防止 (RCOP2.130.2)」の条文によって具体的に説明されています。条文すべてをお話しするには時間がありませんので、私たちが陥りやすいバイアスを防ぐ条文第4項を紹介します。

4. 虐待のいかなる申し立ても、いかなる違反も法規適用するRIの方針 (ゼロ容認方針) に則り、即刻、適切な法執行機関 (警察等) に報告されなければならない。

しかし、そのような常識が時にして、効かない状況に人は陥ってしまう恐れがあります。正常性バ

イアスが働く場合があるからです。ある青少年から、「歓迎飲み会の帰り道で、抱きつかれた」と申し出があった場合に、どれだけの大人がそれを真剣に取り上げ、組織的に動くかという事です。「それは、親愛の情を示すハグだったのでないか。酔っばらっているの、冗談でしたのだよ」と青少年を説得する事も無きにしもあらずでしょう。

危機管理委員会の目的

危機管理委員会の目的に付いて説明をします。その前に、私たちは、日常的に危機管理やリスク管理という言葉をお口や耳にします。ではどのように使い分けをしているのでしょうか。実際は明確に区別をして使っていないのではないかと思います。

リスクも危機も、「望ましくない結果をもたらす可能性」です。その可能性がもたらされる前に、出来るだけ小さくすることがリスク管理です。一方その可能性が発生した後に、出来るだけ平常時に復帰・回復をさせることが危機管理ということになります。

そこで、ロータリーの地区危機管理委員会は、何を目的とするかと言えば、「発生してしまった、ロータリーにとって不都合な事、好ましくない事すべて」に対し、出来るだけ平常時に復帰・回復をさせることとなります。

クラブ会長・幹事の危機管理上の役割

今までお話したのは、声明や理念でしたが、これからは具体的な事柄について説明をいたします。クラブ会長・幹事のみな様にお願いする事は、次の項目です。

具体的には、次の行動をとってください。

- ・被害者を安全な所へ移動させる (Catch)
- ・加害者から隔離をする (Separate)
- ・ガバナー報告 (Governor)
- ・明らかな事件・事故について警察窓口相談する (Police)

C・S・G・Pです。

危機管理委員会がスタートするのは、関係者からの危機発生のお知らせや申立てです。そして委員会に求められている中間点での重要な役目は、報告を受けた時から、72時間以内にRIへ報告する事です。これを「ゼロトレ・72(ナナニイ)・RI(アールアイ)」と称しています。

以上が、青少年プログラム関係の危機管理委員会についてです。

講評 リーダー青木貞雄

長時間にわたる青少年統括委員会部会協議会ご参加ありがとうございました。

皆様には、RI の、そして当地区の青少年育成活動についてご理解いただけましたか？

我々のロータリー活動を活性化し、ロータリアン増強、及びロータリーについての理解者拡大に繋げることがロータリーの発展にとって重要ですが、青少年育成事業は、その一環として活動していることをご理解いただけたと思います。

皆さんには、是非、クラブ、そして会員の当該活動に対する理解を深めていただき、事業参加者、特に青少年交換、及びRYLA 参加者拡大に、早速、取組んでいただくようお願いいたします。

尚、単年度でのインターアクトクラブ、及びローターアクトクラブ創設は難しいと思われまますので、クラブに長期計画委員会・戦略計画委員会等を設置し、会員増強、会員研修を含め、青少年育成事業にも継続的に取組んでいただくようお願いいたします。

また、地区委員会費用予算の中に、交換留学生支援金125万円が計上されていますが、これは、青少年交換留学生派遣・受入れにあたってのホストクラブ（受入れクラブ）の費用負担（ホームステイ家庭費用、受入れ交換留学生小遣い等）の1部を地区が補填する予算で、従前は地区委員会予算に含まれていたため金額が不定でしたが、橋岡年度は、1人あたり30万円を地区が補填することとしました。

最後にあたり、津留危機管理委員長より話のあった「ハラスメント」について、青少年育成事業参加者に留まらず、R 財団奨学生、米山記念奨学生、そしてクラブの会員間においても十分に留意いただくと共に、重ねてRI の青少年育成事業への理解者、及び参加者拡大に取組んでいただくようお願いして、私の講評とさせていただきます。

ロータリー財団部会



■ロータリー財団部会

リーダー	次期・ロータリー財団統括委員会	統括委員長	パストガバナー	櫻木	英一郎
サブリーダー	次期・ロータリー財団統括委員会	統括副委員長		水野	晋治
サブリーダー	次期・ロータリー財団統括委員会	統括副委員長	ガバナー・ミニ・デジグネート	漆原	撰子
サブリーダー	次期・財団資金・推進管理委員会	委員長		大野	雅章
サブリーダー	次期・グローバルプロジェクト委員会	委員長		三神	秀樹
サブリーダー	次期・地区補助金プロジェクト委員会	委員長		大谷	京子
サブリーダー	次期・奨学生・学友委員会	委員長		佐藤	孝彦
サブリーダー	次期・ロータリーポリオプラス委員会	委員長		山本	美代子
サブリーダー	次期・ロータリー平和フェロシップ委員会	委員長		織田	信幸
オブザーバー	次期・ロータリー平和センターホストエリア・アドバイザー			山崎	敬生

財団資金・推進管理委員会

委員 浅野 肇

委員 北村 謙介

グローバル事業補助金委員会

委員 時田 清次

委員 諸岡 市郎左衛門

委員 吉岡 正之

地区補助金プロジェクト委員会

委員 沢田 克洋

委員 坪井 尚也

委員 吉田 理愛

奨学生・学友委員会

委員 森島 弘道

委員 遠藤 章雄

ロータリー・ポリオ・プラス委員会

委員 中沢 由岐子

委員 朱 孝

ロータリー平和フェロシップ委員会

委員 佐川 清

委員 安田 勝紀

プログラム

- 13:00 開会
13:05 ご挨拶 オブザーバー
13:10 地区ロータリー財団委員会について
ロータリー財団委員長 櫻木 英一郎
13:30 ロータリー財団への寄付
財団資金・推進管理委員長 大野 雅章
13:50 グローバル補助金の概要
グローバルプロジェクト委員長 三神 秀樹
14:10 地区補助金の活用
地区補助金プロジェクト委員長 大谷 京子
14:30 奨学生奨学金の流れ
奨学生・学友委員長 佐藤 孝彦
14:40 ポリオのない世界に向けて
R ポリオプラス委員長 山本 美代子
14:50 世界平和、紛争予防推進の人材育成
R 平和フェロシップ委員長 織田 信幸
15:00 閉会

司会進行 水野晋治

それではこれより地区協議会部門別協議会を開会致します。

まず初めにアドバイザーよりご挨拶いただきますが、本日は山田修平バスターガバナナーがいらっしゃらないので、急遽ロータリー平和センターホストエリアコーディネーター山崎敬生様（市川 RC）よりご挨拶を頂戴したいと思います。

山崎ホストエリアコーディネーター

後ほど織田委員長の方からロータリー平和センターのプログラムについての説明があると思います。

日本のロータリー100周年に当たり、ロータリー平和センター知ってるかというアンケートを取った所、「よく知っている」が3.5%、「少し知っている」が18.6%でした。アジアで唯一の平和センターである国際基督教大学に10人の研究者を招いています。始まって17年目になるので、是非自クラブでの周知をお願いします。

櫻木統括委員長挨拶

ロータリー財団委員会と奉仕プロジェクト委員会は今後ロータリーの主流を占めると思います。ロータリーには様々な考えがありますが、一言で言うと service というのがロータリアンです。それはクラブで勉強しますが、実行するのは奉仕プロジェクトです。会社には総務系と営業系の部門がありますが、ロータリーは管理運営と奉仕プロジェクトが総務系になります。またロータリーには財布が2つあります。1つは RI 人頭分担金で、国際ロータリーの管理運営の資金になります。もう1つが寄付金で、ロータリー財団 (TRF) で管理します。国際ロータリーのトップはロータリー会長ですが、ロータリー財団のトップはロータリー財団運営委員長です。委員長には RI 会長か理事の経験者が就任します。ロータリー財団運営委員会は寄付金の管理・活用を行いますが、1つは地区での活用。もう1つは世界的な活

用に充てられます。ポリオ撲滅や、山崎さんのロータリー平和センターの活動が最優先事項です。ロータリーは勉強も大事ですが、実践しないと意味はありません。その実践を受け持つのが奉仕プロジェクトで、その資金を裏付けるのが財団委員会です。各クラブの財団委員会の方には財団の立ち位置を理解して頂き、財団委員会の活動をするには寄付金集めが必要であると理解し、寄付金を集めるだけではなく、各クラブの委員会に活用を働きかけるのが役割です。地区財団委員会は各クラブからの補助金の申請を RI 財団本部に申請する役割を果たしています。クラブ財団委員長お金を集めるだけの仕事ではなく、自分たちが活動するための資金プールをする役割であるとお伝え下さい。ポリオの活動で言えば実際にワクチンを接種しに行くロータリアンの方には犠牲になる方もいます。行けない人はお金で援助しようというのが寄付です。説明を終わります。

続きましてアンケートについて。本日はクラブに一冊ロータリー財団ハンドブックを配布しております。一緒にアンケートのお願いという A4 の用紙も配布しております。

このハンドブックというのは毎年発行しております。今年も2月10日に行われました補助金管理セミナーに向けて新しく（来年度に向け）発行しました。

よりいいものにするために皆様からのご意見を頂戴したいと思います。

ご協力お願い致します。

各委員会の発表

財団資金・推進管理委員会 委員長 大野雅章
なぜ寄付をするのでしょうか？

ロータリーの基本理念は『奉仕の理念』である。他人のことを思いやり、他人の助けになること、これはロータリーの4つの目的を通じ奉仕の理念を奨励し、これを育むことといえます。

目的実現の手段として意義ある事業である奉仕プロジェクトがあります。

この奉仕プロジェクトを皆さんの寄付が財団を通じサポートしているのです。

皆さんの寄付 それはロータリーの基本理念の実現のためのひとつの手段と言えるのではないのでしょうか。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。

創立以来100年間、私たちの財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額30億ドルの資金を提供してきました。

ご寄付の90%以上が、奉仕プロジェクトに直接生かされます。

世界に35,000あるクラブは、発展途上国にきれいな水をもたらし、平和活動に携わる人材を育

成するなど、世界中で持続可能な影響をもたらしています。

ポリオ撲滅活動においても、予防接種活動を通じて発症数を世界で99.9%減少させてきました。

財団創設後の30年間に於いて、財団の資産は少しずつ成長するのみでした。実際、1917年から1947-48年度の末にかけて、財団が受領した寄付は合計でもわずか200万ドルほどでした。

ポール・ハリスの逝去をきっかけに今日、財団の資産は10億ドル以上に成長しています。

ロータリー財団への寄付の種類について簡単にご説明させていただきます。

ロータリー財団への寄付は大きく分けると年次基金、ポリオプラス、恒久基金、その他基金に分かれております。

中でも年次基金には毎年ご寄付をいただく必要がございます。

年次基金寄付は、ロータリー財団への寄付の基盤です。地区補助金プログラムの主な資金源等になります。

当地区では今年度会員1人当たり150ドルを目標に寄付をお願いしております。

年次基金寄付は3年後にシェアシステムにより地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)に50%ずつ配分されます。

DDFは地区の裁量の下に「地区補助金」、「グローバル補助金」、「ポリオプラス」や「ロータリー平和センター」への寄贈等に全額使われます。

年次基金が今日の財団プログラムを支える一方、恒久基金は明日の財団プログラムを確かなものとするために、元金には手をつけず投資収益のみを使います。

これにより、世代を超えて大勢の人々を支援し、希望を分かち合うことができるのです。寄付額に応じて、寄付者の名前をつけた冠名基金も設立できます。

ポリオ(急性灰白髄炎(きゅうせいはいはくずいえん)いわゆる小児麻痺)は、身体麻痺の後遺症をもたらす、時として命さえも奪う伝染病です。

この基金は、ポリオを世界から撲滅するという目標を達成するために利用されます。

治療法のないポリオに対する最善の対策は予防です。

ロータリアンはこれまで、122カ国、20億人以上の子どもたちへのポリオ予防接種を支援してきました。

わずか60円ほどのワクチンで、一人の子どもを生涯ポリオから守ることができます。

ポリオウィルスは1型2型3型があり、2型は2015年に撲滅、3型は2012年以降発症がありません。残るは1型のみになりました。

今、あと少しでポリオを撲滅できるところまで来ています。

しかし、撲滅を完全に成し遂げるには、皆さまからの支援が欠かせません。

ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログ

ラムであり、撲滅の認定が達成されるまでは、ほかのすべてのプログラムに対して優先されるプログラムです。

ポリオ撲滅のための基金「ポリオプラス」へは毎年1人当たり30ドルの寄付をお願いします。

地区財団活動資金のお金の流れを簡単にご紹介します。

3年前の年次基金寄付総額は319,453ドルが活動資金の主な原資となります。

⑦ 319,453ドル×50%=159,726ドルを地区財団活動資金と国際財団活動資金に分配します。

④前年度の恒久基金の収益の50%=28,843ドル

⑤前年度の繰越金72,268ドル ⑦~⑨の合計260,838ドルが地区財団活動資金となります。

その資金を地区補助金へ94,285ドル、グローバル補助金へ65,000ドル、ポリオプラス、R平和センターへ25,000ずつ、予備費として51,553ドル配分しました。

この地区補助金の原資は先ほどもご説明しましたシェアシステムにより地区に戻った地区財団活動資金より拠出してあります。

3年後の地区の社会奉仕、国際奉仕活動の活性化のために寄付ゼロは勿論、年次基金寄付1人当たり150ドル以上、ポリオプラス30ドル以上のご寄付のご協力をくれぐれもお願い致します。

また年次基金寄付への寄付が0となると他の基金への寄付があったとしても統計処理上寄付0クラブとなってしまいます。

必ず年次基金寄付への寄付を前期にお願いします。

グローバルプロジェクト委員会 委員長 三神 秀樹

ロータリー財団ハンドブックとパワーポイントを使用し、グローバル補助金を活用した奨学生制度や奉仕プロジェクトの実例を紹介いたしました。各クラブに一冊のハンドブックが配布されたので、参加ロータリアンの皆様にはパワーポイントの内容が手元でも確認していただけた為、現行の補助金については特に質問はございませんでした。今後の課題として、当地区内に新たに作られたスリランカクラブ等が行なう国際奉仕活動に対してはグローバル補助金の在り方をどうするかといった問題提起もございました。現在のところ補助金は各ロータリークラブ単位で活用していますので、何らかの方法を考える必要があるように思います。各クラブの財団委員長が一同に会し、この様なかたちで補助金についての検証を行なうことは大変重要で意義深いと痛感いたしました。ありがとうございました。

地区補助金委員会 委員長 大谷京子

地区補助金委員会として一番先に行われるのは毎年2月に行われる補助金管理セミナーとなります。次年度橋岡年度向けのセミナーは2月10日に既に終了しています。このセミナーへクラブより最低一名の参加が地区補助金申請のための条件となります。その際にMOUを提出していただきます。財

団ハンドブック 23 ページを元に説明します。

3月1日～31日までに地区補助金申請書をガバナエレクト事務所に輸送していただきあす。今回は35クラブより申請がありました。次年度も同じ日程になります。次に4月15日頃に地区財団委員会にて審査会を行います。現在は問題点等各クラブに問合せ中です。

最終的にはRIに5月中旬頃一括申請します。その後一括申請が通ったらクラブにお知らせします。実施期間は7月1日～3月31日、4月末が報告書提出期限となりますので、ご注意下さい。クラブの発展、広報等にクラブでも多くのプロジェクトのお役に立てる補助金としてご利用いただければと思います。

司会 水野

補足ですが、9月1日に財団セミナーを開催します。その場でも地区補助金について説明します。ご参加下さい。

また、人道的国際奉仕にもう少し予算を増やして欲しいという意見が寄せられております。数年かかるかも知れませんが、時間をかけ慎重に検討していきたいと思っております。

続いては他人事のように聞いていると、ある日突然奨学生希望者から問い合わせがきますので、しっかり聞いていただきたいと思っております。

奨学生・学友委員会 委員長 佐藤孝彦

当委員会は主に財団奨学生の募集、選考、オリエンテーションそれから奨学生のOB会組織である学友会の活動支援を行っております。

皆様をお願いしたいのは財団奨学生募集についてです。財団奨学生は地区補助金奨学生とグローバル補助金奨学生の2種類です。地区補助員奨学生の募集要項はハンドブック 26 ページ、グローバル補助金の募集要項は 30 ページに記載しております。両方とも海外に留学する大学院生が対象です。事前に大学院の入学許可がない限り選考の対象になりません。

グローバル補助金の場合はキャリアプランが6つの重点分野に該当していないといけません。地区補助金の場合は補助金の額が2万ドルです。グローバルはDDFから2万、WFから2万計4万ドルとなります。どちらを選択するかは募集要項を読んだ学生です。

この3年間地区補助金奨学生の該当者（応募はあるが選ばれていない）はいません。

これは厳密な選考の結果です。

皆様にお願いは毎年12月には来年度分の募集要項が地区ホームページにアップされます。応募の開始は2月からです。2月以降問い合わせがあれば各クラブで面接、選考、クラブ推薦を行って下さい。原則1クラブ1名です。締め切りは3月31日です。不明な点は当委員会までお問合せ下さい。

ポリオプラス委員会 委員長 山本美代子

ポリオ撲滅まであと少しと言われておりますが、実際はボランティアと資金がまだまだ不足しております。

今後必要な金額は、汚染水や下水道のサーベイランスが重要で、15億ドルかかるといわれており、最終認定まで必要な金額は17億ドルといわれております。

現在日本では、会員一人当たり30ドルですが、25ドルにもいっておりません。

また、ロータリーカード、特にダイナースクラブカードをぜひクラブで作って下さい。

その他にも法人カード、個人カード（オリコ）もあります。

皆様からのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

司会 水野

ロータリーカードは従来のオリコの個人、法人カードの他に新たにダイナースクラブカードが出来ました。クラブ用と地区、地区委員会用のカードがございます。

繰り返しになりますが、ダイナースのクラブカードを皆様のクラブでも作っていただき、クラブの例会等カードでお支払いいただくと自動的にポリオへの寄付がされます。

ポリオですが、「いつまでポリオをやるのか」とか、「後数年で何でも撲滅されるらしいよ」等といった楽観的な意見も聞かれます。これはそんなに簡単にはいきません。「あと少し」の状態ですが、非常にお金がかかります。因みに日本では4種混合ワクチンの予防接種で年160億以上の費用が使われています。

流行地域は経口ワクチン投与をします。NID（国内一斉ポリオ予防接種日）というのがあり、戸籍管理ができてない国では一斉に戸別訪問をし、手あたり次第子供にポリオワクチンを投与します。また、ポリオを含めた伝染病などの監視にお金がかかります。

それでは最後の発表です。

ロータリー平和フェロシップ委員会 委員長 織田 信幸

皆さん！ロータリー平和センタープログラムをご存知でしょうか？

昨年、日本のロータリー100周年実行委員会が行ったアンケート調査によるとR平和センターをよく知っている、知っていると言ったクラブは約22%でした。

因みにこれはクラブの会長、幹事に答えを求めたもので全てのロータリアンに答えを求めたとしたら多分もっと低い数字になったでしょう。

一言でR平和センタープログラムは「世界平和の構築」と「紛争予防／解決」に向けたRI財団の人材育成プログラムです。

このプログラムはポール・ハリス没後50周年を記念し創設され実際に始まったのが2002年からで

すから既に16年が経っています。

RI財団プログラムには大きく分けて地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、そしてこの平和センタープログラムがございます。

冒頭に述べましたが地区補助金やグローバル補助金、ポリオプラスは知っていても平和センタープログラムはまだまだ周知されていないのが現状です。

ハンドブック37ページから41ページにかけてプログラムの説明と募集要項、詳細が記載されていますので後ほどじっくりとご一読ください。

ポリオが終わる日が来るのであれば、この平和フェロープログラムが最重要プログラムとなるはずです。

司会 水野

それではここで質疑応答とさせていただきます。

Q 石井弘（松戸西 RC）

私は地区フェローシップ委員会にスリランカクラブという窓口になるクラブを設立しました。このクラブには地区補助金やグローバル補助金は対応できるか。できないのであればどのようにすればできるのか。

A クラブとして登録がなければ、グローバル補助金は支援国クラブが必要なのでできない。地区補助金は地区の裁量で検討できるので、今後何か方法がないか検討してみたいと思います。

Q 四ノ宮（大網 RC）

平和フェローで7～8年前に2790地区から出た小井丸さんは今何をしているのでしょうか。地区大会には呼べないか。

A RIで活動を把握しているが、現在の情報は無い。スポンサークラブの船橋には情報があるかも。日本にはなかなか戻れないようです。

最後に諸事お知らせです。

1. 寄付について、年次基金への寄付は12月までに必ず一部でも寄付送金をお願いします。
寄付が入らないいろいろな関係者の皆さんが動くこととなります。ご理解下さい。
このようなデータがございます。昨年度実績では各クラブの会長の寄付実績は約50%、財団委員長は30%程度です。ぜひ率先していただくようお願いします。
2. 9月1日（土）TKP ガーデンシティ千葉にて13時より財団セミナーを予定しております。予定を入れておいて下さい。
3. ポリオについてですが、「プレス」という映画が角川配給で全国放映されます。これはポリオサバイバーの物語です。ポリオについて正しい認識を持っていただくため、ぜひご覧ください。ポリオは遠い国の子供だけがかかる病気ではありません。大人も感染します。9月7日より公開されるので、ぜひご覧になって下さい。

以上でロータリー財団部門別協議会を終了します。長時間ありがとうございました。

米山記念奨学部会



- ・日本で学ぶ外国人
- ・日本のロータリー性
(日本全国34地区)
- ・公益財団法人ロータリー学会
- ・世話クラブ・カウンセラーによる深い交流

■ロータリー財団部会

リーダー	次期・地区研修サブリーダー	パストガバナー	関口	徳雄
サブリーダー	次期・米山記念奨学委員会	委員長	富	一美
アドバイザー	パストガバナー		森島	庸吉
アドバイザー	パストガバナー		土屋	亮平
アドバイザー	パストガバナー		増田	裕
アドバイザー	パストガバナー		中村	博亘

米山記念奨学委員会

副委員長	石田	善一
副委員長	川名	光俊
委員	佐藤	廣子
委員	加藤	隆
委員	生形	健一
委員	鈴木	荘一
委員	齋藤	博昭
委員	土屋	和紀



米山学友卓話（ホームカミング）篠原 暁恵 様

サブリーダー

米山記念奨学会委員長 富 一美 (成田空港南 RC)

副委員長 石田善一 (市川南 RC)

副委員長 川名光俊 (館山 RC)

委員 佐藤廣子 (大網 RC)

委員 生形健一 (八街 RC)

委員 加藤 隆 (千葉東 RC)

委員 齋藤 博昭 (浦安 RC)

委員 鈴木 荘一 (君津 RC)

委員 土屋 和紀 (千葉中央 RC)

リーダー

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事

PG 関口 徳雄 様

アドバイザー 森島 庸吉 様

アドバイザー 土屋 亮平 様

アドバイザー 増田 豁 様

アドバイザー 中村 博亘 様

【配布資料】

- 1) 部会別協議会プログラム
- 2) 豆辞典
- 3) 米山学友の群像
- 4) クラブ米山奨学委員長の手引き
- 5) 寄付金納入明細総合表
- 6) 2790 地区クラブ別寄付金明細表
- 7) 年間活動計画
- 8) 卓話依頼書

リーダーご挨拶

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事 PG 関口 徳雄 様

研修サブリーダーの関口です。

新年度のサブリーダーとして橋岡 GE を支えながら、具体的には米山記念奨学委員会のいわゆるアドバイザーとして一年間協力させていただきます。

最も、ベテランの富委員長のもとですから、安心してお手伝いができるものと思います。

米山については、私もホームクラブで何回も委員長になりましたが、いつも R 財団委員長と寄付集めの競争だったことを懐かしく思い出しました。

あの頃、ロータリーの会員として、ロータリーは寄付団体ではないと教えられてきたのに、どうして寄付集めをとか、寄付だから強制じゃないと言いながら事実上半強制的に寄付をさせていたような気がします。

今がバナーを経験して思うには、ロータリーは国際的な奉仕団体として「ロータリアンが個人として奉仕活動をする」場合と「ロータリアンが寄付をすることによってする奉仕活動」つまり寄付が奉仕活動だとするものです。

例えば、R 財団と RI の関係、財団は金を出すだけ、奉仕活動をするのは RI つまりわれわれ、米山もしかし、だから私どもは「寄付という奉仕活動」と、「その集められた寄付金を使って個人的に奉仕活動する」つまり二つの奉仕活動をする団体でありまして、他の多数の奉仕団体は単に寄付をするとい

う 奉仕活動をするだけで「ハイさようなら」ですが、ここが違うところです。

従って財団と米山はロータリアンの皆さんの寄付が必要なのです。しかし、あくまで寄付は寄付ですから、ロータリアン一人ひとりがこの米山や R 財団の意義ないし素晴らしさを十分認識し、理解した上で「なるほどそうなのかと思えた人」が寄付をすればいいと思います。

私も米山は詳しくはないのですが、この豆辞典は大変優れモノですから、クラブの各委員長さんは米山を知るにはここに書いてあることを理解していただければ十分でしょう。私もこの豆辞典以上の知識はありません。

ここに書いてないのは「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の定款」くらいでしょう。

第 3 条「目的」欄には、「我が国の大学など教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し」となっておりますので「日本人」には適用されません。評議員の三分の二で改正はできますが、監督官庁から（公益認定の取り消し）があるでしょう。

この豆辞典を読んで知ったのですが、昔は全国で 800 人の弊学生でした。

しばらく奨学金が集まらず、私の G 年度は (2013~14)700 人でしたが、最近はまだ寄付金が盛り返し、昔の 800 人に戻り、次年度は 820 人になるようですね。

新しく理事長になられた元 RI 理事で財団の管理委員の経験もある小沢理事長さんの手腕でしょう。

ところで寄付には「普通寄付金」と「特別寄付金」があることはご存知でしょうが、普通寄付はクラブが独自に決めるものですが、皆さんはご自分のクラブが一人頭いくらの普通寄付をしているかご存知でしょうか？

ちなみに浦安クラブは 6,000 円だそうです。

私の G 年度の (2013 年) の全国平均は 4,679 円でしたが、現在は 4,784 円だそうです。

これに特別寄付をお願いして地区目標は、一人当たり 15,000 円だそうです。

私も 9 月からは、増田 PDG の後を受けて本部の「理事」として米山にかかわります。

中央からの情報を集めて、地区に発信する形でお手伝いをしようと思っております。

ロータリー米山記念奨学会事業全般的説明

サブリーダー 委員長 富 一美

クラブ米山委員長並びに代理出席の皆様、ご苦労様でございます。

改めまして、次年度、地区米山記念奨学委員長を仰せつかっております成田空港南ロータリークラブの富と申します。

私は、青木年度、寺嶋年度、橋岡年度と通算して委員長 3 年目となります。

どうぞ、1 年間宜しくお願い申し上げます。

本日のこの部会別協議会のご登録は、地区内 66 クラブの米山委員長並びに代理出席の皆様にご登録

をいただいております。

この中には米山奨学事業に関しては、経験豊富ですべてに精通しておられる方から、今回米山委員長を機に、米山奨学事業に対して本格的に取り組んでみよう、とお考えに成っていらっしゃる委員長さんもおられると思います。

ベテランの諸先輩方には大変申し訳ございませんが、本日はプログラム全体を通して、米山奨学事業をおさらいする形で進めさせていただきますので、ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

- ロータリー米山記念奨学事業についてご説明をさせていただきます。

この事業の名称に付けられております「米山」と言いますのは、皆様ご存知の通り、日本のロータリーの父であります、米山梅吉翁のことでございます。

1920年、東京ロータリークラブを設立し、米山さんは初代会長となるわけでございます。

米山奨学事業の事を深くご理解いただく為には、やはり米山梅吉翁の人物像、つまりその友愛の精神やこころざしを知っていただくことが一番の近道ではないかなと、そういう風に思います。

米山さんは幼い頃から頭が良く、行動力があり、当時の日本では珍しい、国際感覚を持ったビジネスマンでした。

欧米の銀行業務を学んで日本へ持ち帰り、今に続く「信託」の概念を作ったのも米山さんでした。

ただ財を成すだけでなく、三井報恩会の理事長として、当時誰も近寄らなかったハンセン病や結核の施設を自ら訪れ、支援をするなど、社会事業の旗振り役でもありました。

このことについて、(静岡・山梨)第2620地区の米山委員長の長倉さんがビデオでこの様に言われております・・・・・・・・・・。

- 静岡・山梨)第2620地区の当時の米山委員長の長倉さんのお話の様に、米山さんは無我の人、奉仕に徹した人であったということがお分かりになったと思います。

続いて、実際の米山さんを良く知る、この世に生きている、ただ一人の方のお話をビデオで聞いて頂きます。

その方の名前は、阿部志郎さんと言いまして、唯一米山スピリットの継承者でございます。

幼少期に、米山梅吉翁との家族ぐるみのお付き合いをする間柄であったそうでございます。

1926年生まれの現在92歳でございまして、明治学院大学助教授、日本社会福祉学会会長、神奈川県立保健福祉大学学長・名誉学長を歴任されております。

そして、阿部先生のお父様の阿部義宗さんは、第6代青山学院の院長さんです。

それでは、映像の方をご覧くださいませ。

- 幼少期に、米山梅吉翁との家族ぐるみのお付き合いをされた阿部志郎先生のお話でした。

これはロータリー米山記念奨学会、財団設立50周年祝賀会のご講話です。

とても92歳とは思えない阿部先生の力強いお言葉に、皆さんも感動されたのではないかと思います。

本日、ご参加の皆様方にも、ぜひ、この米山スピリットを継承していただき、お一人に成っていただければ幸いです。

- ロータリー米山記念奨学事業についてご説明をさせていただきます。

この事業は、日本のロータリーが作った独自の事業でございまして、34地区、全地区が推進する合同プロジェクトでございます。

事業のはじまりから一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を対象としています。

「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団でございまして、財源は一部を除きすべて会員のみなさんからのご寄付で成り立っています。

この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。

銀行振込が多い他の奨学金とは違って、米山奨学金ではロータリー活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。

世話クラブの皆様には、経済的支援だけにとどまらない世話クラブ・カウンセラー制度の素晴らしさを奨学生に体験してもらい、絆を深めることの必要性を念頭に置きながら接していただければ幸いです。

特に、この奨学事業の評価は“どんな奨学生を採用し、彼らがどう育っていったか”にかかっていること、そして、巣立った後も関わりを持ち、奨学事業の成果を「育くみ続ける」ことの重要性をご理解いただきたいと思います。

この奨学金は、文部科学省のような奨学金を支給するだけの救済型の奨学金ではございません。

ロータリアンが寄付をして、資金面を支え、相応しい留学生をロータリアン自らが選考し、物心両面から支援する知的国際貢献型奨学金であることをご承知おきいただきたいと思います。

- 米山奨学金は、日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏が亡くなったあと、その功績を永遠に偲ぶことができる事業をやろうと、1952年、東京RCがはじめたものです。

アジアから優秀な学生を招いて、研究させようというもので、当時は「米山基金」という名前でした。

この背景は戦後「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい」。

人と人との交流、民間交流こそが、平和な世界の基礎を作るという考えから生まれました。

- 米山奨学事業の使命は、一言で言いますと「将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること」にあります。つまり、人づくりです。

ここで具体的にいくつかの項目に分けてご説明しますと、

- ・米山記念奨学事業を通じて、ロータリーの「奉仕の精神」に基づいた国際理解と親善及び世界平和の促進。
- ・学業・異文化理解・コミュニケーション能力などを備えた優秀な奨学生・研究者の支援。
- ・国際社会で活躍し、世界平和の創造と維持に貢献できる奨学生・学友の育成。
- ・知的国際貢献を目指す奨学金制度。

でございます。

以上のようなことからもお分かりに成ります通り、まぎれもなく米山奨学事業は、国際奉仕事業であり、人材育成事業です。

この事業の醍醐味もまた彼らの成長にあります。

- 米山奨学会では今年度年間 854 人、2018 年 4 月現在の累計で、世界 127 の国と地域から 20,398 人を支援しています。

これは、外国人留学生を対象とする民間奨学金としては最大で、今後、海外から、より多くの留学生を受け入れようとする日本の政策にも大きく貢献しています。

しかし依然として「奨学期間が終わったら、連絡が取れなくなった」と嘆く声も多く聞きます。

この奨学事業の大事なところは、奨学生の皆さんが奨学期間を終了され、学友になってからが大事でございます。

どうか、世話クラブの米山委員長の皆様並びにカウンセラーの皆様には、奨学期間の中に深い絆を結ぶような交流を心掛けていただけるようお願いいたします。

- 地区米山記念奨学委員会の主な活動内容についてご説明いたします。

地区米山記念奨学委員会が1年間を通じ課せられた活動の主な内容は大きく分けて三つございます。

一つは米山記念奨学事業への理解促進と寄付増進があります。

二つには地区の奨学生採用方針の決定・選考・採用と世話クラブの選定作業があります。

三つには採用された奨学生や学友のフォローと地区学友会のサポートがあります。

- 奨学生を育てるシステムについてご説明いたします。

その中で特に各クラブに直接かかわって来るもの、そして、一年間を通じてクラブの米山委員長様に重点的に行動していただきたい事が、一つ目の米山奨学事業の理解促進と寄付増進でございます。

地区内ロータリアンが、もれなく米山奨学事業を理解していただく為には、奨学事業の直接の成

果を、ロータリアンお一人お一人に満遍なく知っていただく事が、一番の早道だと考えます。

その為には、地区委員や奨学生が、出来る限り多くのクラブに訪問する卓話の機会を設けていただき、奨学事業の意義と直接の成果を、間近で感じてもらえる事が、大切ではないのかなと考えております。

後ほど寄付・卓話担当の委員からお願いがあると思いますが、10月の米山月間に捉われることなく、是非とも例会のプログラムに米山奨学生のクラブ卓話を組み入れていただき、米山記念奨学事業の理解促進に取り組んでいただきたいと思っております。

皆さんにお配りした、クラブ米山委員長の手引きの2ページに、「委員長の役割」として、さらに具体的に掲載されておりますので、後ほど読んでいただきたいと思っております。

- 世話クラブ、特にカウンセラーは「国際奉仕の最前線」です。

留学先の国で、経済を支える第一線で働くロータリアンと交流できることは、留学生にとっても大変貴重な体験となりますが、私達ロータリアンにとっても、彼らのこと、あるいは彼らの国のことに興味を持って、国際交流を楽しむチャンスです。

ある会長に伺いましたところ、米山奨学生を預かるようになってから、クラブの雰囲気も良い方向に変わり、国際理解と推進に会員の意識が確実に変わったと思う。とのことでした。

地区米山委員会としましては、一つでも多くのクラブにこの有意義な体験をしていただきたいと考えております。

その為の当地区への採用数割合については、他地区より寄付が多ければ多いほど、より多くの奨学生を採用できます。

ここで、ご寄付のお願いについてですが、一つでも多くのクラブにこの有意義な体験をしていただく為にも寄付の増進にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

因みに、当地区目標額につきましては、橋岡ガバナーエレクトから、皆様へお願いとして、普通寄付と特別寄付を併せまして、お一人当たり15000円以上をお願いしたいと受け承っております。

どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

- 続いて、次年度の活動計画について触れさせていただきます。

活動計画につきましては、配布資料の中に入っております。

じつは、この活動計画は既に4月15日に行いました奨学生・カウンセラー、指導教員オリエンテーションの際に、奨学生、カウンセラー、指導教員の皆様には配布済みでございます。

時間も押しておりますので、大事なところだけお知らせいたしますが、クラブ米山委員長さんには、本日の地区研修・協議会の後は、8月25日(土)

クラブ米山委員長セミナーを予定しておりますので、ご予約の方宜しく申し上げます。

時期が来ましたら、改めて事前にご案内の通知を送らせていただきます。

以上を持ちまして、ロータリー米山記念奨学事業の全般的説明を終わらせていただきます。

米山学友卓話（ホームカミング） 篠原 暁恵（シノハラ・シャオフェイ） 様

皆さん、ただいま!!!

この場を借りて、皆さんにお礼申し上げます。

何故ならば、私が今ここにいるのは、皆さんのご寄付のお陰です。どうもありがとうございました。実は、演台に乗り沢山の人前で、話すのは苦手で、とても緊張しています。聞きにくい点があれば、ご了承ください。

私の留学理由を話す前に、簡単な自己紹介をさせていただきます。私は、5人姉弟の長女で、台湾の5年制工業学校（高専）の建築学科を卒業し、5年間建築事務所で働きました。1979年設備設計工事会社をしていた父が日本の機械視察の為に、私を同行して、日本の最先端建築を見て、感動的な体験をして、自分から日本に留学したいと父に伝えました！

一年間日本語を勉強して、千葉県の日本文学部産工学部に入學し、面接試験の時に、教授から「高専卒業のあなたはなぜ“3年生に編入”にしなかったの？」と聞かされ、その時、まず「編入試験の制度」を知らない事、日本語学校で「理工学部」に受験するのは「私」が最初の生徒でした。この事を父に伝え、父から「学費」の事は心配不要で、大学一年生から勉強し、日本語の基礎をしっかりと学ぶこと！と言われました。

そのおかげで、私は、良き同級生と教授にめぐり逢い、充実した学生生活を過ごせました。大学4年生の時、「帰国」「進学」の進路を決める時に、父が急死しました。私は、「大学院」に進む事に決めました。何故なら、台湾は学歴社会で、良い会社に就職するには、「良い人間関係」（曰くコネ）と「高学歴」が必要です。父が亡くなった私は、「高学歴」が必要になりました！

この時、私を助けてくれたのは「米山記念奨学金」で、大学院の2年間は毎月例会に出席し、自分の研究レポートを提出し、近況報告をしました。本日の卓話は、その時を思い出させてくれました。私は、「米山記念奨学生」になれたのは、1885年日本文学部産工学部大学院生の時でした。その時、1ドル360円の時代で、留学生はアルバイトをすれば、直ぐに母国へ退去される状況で、奨学金を得る事で、もちろん、母国の両親負担が軽くなり、自分も勉強に集中出来ました。私の世話クラブ「千葉船橋西」は、アクトの活動も盛んで、私も一員として、一緒に活動を通して、同世代との交流も出来ました。

世話クラブを通して、例会に出席し、夏の納涼大会・地区大会・クリスマス家族会などにも参加しました。私は日本の伝統文化・行事を体験し、クラブ

は各奉仕活動を通して、社会貢献と国際親善活動に、耀き功績を残る団体であることを知りました。この経験のお掛けで、いまの私は、日本の会社・地域での生活に溶け込む事にも役に立ちました。そのうえ、24年前主人の転勤で三島の社宅に入居し、子どもの成長と共に地域に溶け込んで、現在まで幸せに生活出来るのは、全てその時の体験が役に立っています。

三島に引っ越して初めての休日、主人の運転で社宅の廻りを案内されている時に、長泉町「米山梅吉記念館」を見つけた時の感動が今も忘れられません！直ぐに、車を止め、拝観し自分は「由緒の地」に恵み、私は、なぜ三島に来る事ができたのかを悟りました。私は、「米山記念奨学生」に選ばれた理由も分かりました。あれから、米山学友の一員として、自分の経験を後輩に伝え、母国と日本の架け橋になる事を誓いました。

台湾のことわざ「水を飲めば、その源を想う」その時、機会があれば、自分が出来る範囲で社会貢献をする事を誓いました。ご縁があって三島に定住し、学友会の一員になり、微力ながら学友会の活動を、お手伝いさせて頂いています。

ここで、皆さんにお願い：

私たちは、希望と不安を抱え、日本に「夢」を求めて参りましたが、言葉の壁・習慣文化の違い・母国とのギャップなど、さまざまな障害のなか、物価の高さにも驚きました。しかし、「米山奨学生」のおかげ、勉学に集中でき、母国の親への負担も軽くすることができました。

カウンセラーは「親」のように接していただく事で、いごちの良さで日本が第2の故郷になりました。今、多くの奨学生は、日本で就職を希望し、だからこそ、厳しく「奨学生」に日本のマナー・会社のルールを教えて欲しいです。奨学生は、日本の会社の多くは「終身雇用」であり、社内は「先輩・後輩」のルールで、表と裏の曖昧な表現言葉で戸惑いなど、会社の環境になじめません！直ぐに、会社を辞めるのは、「奨学生」の評判が下がり、「米山記念奨学生」の名前に傷をつけることを、私は心配しています。また、是非、県内優秀な奨学生人才を優先採用して、県外へ流出しないで欲しいです。

皆さまがまいた「種」奨学生は、大樹に成長しています。「学友」の私たちは「職場」「地域」の中で、母国の「架け橋」になれるように、それぞれ社会奉仕・国際奉仕に奮闘しています。多くの学友は、誇りを持って「米山奨学生」に恥ずかしくない行動を行い、近い将来、皆さまの「仲間入り」できる学友が必ずでることでしょう。皆さまと共に「ロータリー精神」を広げ、頑張ることを誓います！

ロータリアンの皆様は、ご存知の通り「米山記念奨学会」の運営には、ロータリアン皆様のご寄付で、支えられております。もちろん、私もその恩恵を受けた一人で、沢山の学友は、将来「ローターアン」になるのは夢であり、引き続き、皆様のご寄付をよろしく願いいたします。

米山奨学生卓話について 奨学生・学友担当委員 佐藤 廣子

皆様こんにちは。次年度、米山記念奨学委員会・卓話担当を仰せつかっております大網ロータリークラブの佐藤廣子と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

地区内ロータリアンの皆様に米山奨学生についてご理解を頂く為にも、10月の米山月間を中心に各クラブ様での米山奨学生卓話訪問を是非、プログラムへ計画をしていただきたいと思います。

本日お渡ししました、配布資料の中に「米山卓話依頼書」を同封してございます。

また、2790地区橋岡ガバナーホームページにも掲載予定ですので、ダウンロードも可能です。

この依頼書の一回目の締切は7月末となっております。

締め切り後、奨学生と調整し8月20日過ぎまでに、ご依頼クラブへ訪問日のご連絡させていただきます。尚卓話日は9月以降の日程でお申込み下さい。

その後も随時で受け付けますので、出来るだけ多くのクラブからの卓話依頼をお願いします。

尚、米山奨学生の卓話訪問がメインですが、ご要望があれば米山奨学事業について委員のみでの別途卓話も受け付けます。用紙はこの用紙で結構です。ご要望だけお書きください。

ロータリー米山記念奨学生の受け入れは、既に4月14日のオリエンテーションからスタートしております。

今年度は、継続奨学4名・新規採用奨学生23名の合計27名です。

彼らが、何故日本に留学をする決意をしたか、また学業の研究を将来どの様な希望を抱き毎日過ごして居るのかなど、本人の言葉で皆様に直接お話をさせて頂く機会が米山奨学生の卓話でございます。

奨学生は夢を実現する為に、学費と生活費の捻出に日夜苦勞を重ねております。

米山奨学生に採用されたことにより、学業に専念出来ることと思えます。

その奨学生の言葉を直接クラブでお聞きになる事が出来ますので、是非とも月間を中心にご依頼をお願い致します。

米山奨学事業の使命であります母国と日本の架け橋になる為にも、彼らの卓話のお申込みを是非とも宜しくお願い致します。

尚、卓話のご希望日が他クラブと重なりご希望日に添えない場合は、スケジュール調整をさせていただきますので、予めご了承いただきたいと思います。申込みは私、佐藤が窓口となっております。

依頼書にメールアドレス及び、携帯とFAX番号を記載してございますので、そちらへお申込み下さい。

より多くのクラブからの申込みをお待ち申し上げます。次年度、米山記念奨学委員会・卓話担当を仰せつかっております茂原ロータリークラブの山内みどりと申します。宜しくお願い申し上げます。

皆様に米山奨学生に対しご理解を頂く為にも、10月の米山月間を中心にクラブでの米山奨学生卓話訪問を是非プログラムへ計画をしていただきたいと思います。

本日お渡ししました、配布資料の中に「卓話依頼書」を同封してございます。

この依頼書の一回目の締切は7月末となっております。

締め切り後、奨学生と調整し8月20日過ぎまでに、ご依頼クラブへ訪問日のご連絡させていただきます。尚卓話日は9月以降の日程でお申込みくださいませ。

その後も随時で受け付けますので、出来るだけ多くのクラブからの卓話依頼をお願いします。

ロータリー米山記念奨学生の受け入れは、既に4月15日のオリエンテーションからスタートしております。

今年度は、継続奨学生6名・新規採用奨学生19名の合計25名です。

彼らが、何故日本に留学をする決意をしたか、また学業の研究をし将来どの様な希望を抱き毎日過ごして居るのかなど、本人の言葉で皆様に直接お話をさせて頂く機会が米山奨学生の卓話でございます。奨学生は夢を実現する為に、学費と生活費の捻出に日夜苦勞を重ねております。

米山奨学生に採用されたことにより、学業に専念出来ることと思えます。

その奨学生の言葉を直接クラブでお聞きになる事が出来ますので、是非とも月間を中心にご依頼をお願い致します。

米山奨学事業の使命であります母国と日本の架け橋になる為にも、彼らの卓話のお申込みを是非とも宜しくお願い致します。

尚、卓話のご希望日が他クラブと重なりご希望日に添えない場合は、スケジュール調整をさせていただきますので、予めご了承くださいませ。

申込みは私山内が窓口となっております。依頼書にメールアドレス及び、携帯とFAX番号を記載してございますので、そちらへお申込み下さいませ。

より多くのクラブからの申込みをお待ち申し上げます。

米山奨学事業への寄付について

会計・選考担当 副委員長 川名 光俊

次年度米山奨学委員会の副委員長をつとめさせて頂きます、館山ロータリークラブの川名でございます。貴重なお時間を頂きまして、米山奨学事業への寄付及び現況についてのお話・お願いをさせていただきます。

ご寄付の詳細につきましては、お手元に配布させて頂きました、ロータリー米山の豆辞典9ページより14ページにかけて掲載をさせて頂いております。また、前年度の寄付納入明細総合表と第2790地区クラブ別寄付明細表もあわせて入れさせて頂いておりますので、ご覧頂ければと思います。

ロータリー米山記念奨学事業とは、国際ロータリーと別の日本独自の奨学事業であり、全国34地区ロータリアンのご理解のもと運営をされております。この事業の財源は、言うまでもなくロータリアン皆様方々のご寄付で賄われており、次年度ガバナーは毎年地区研修協議会で目標を掲げております。午前中の全体会議で、橋岡エレクトより、青木・寺嶋年度同様の普通寄付・特別寄付がございしますが、あわせてお1人¥15,000お願いがございました。何卒宜しくお願い致します。昨年度は、普通寄付・特別寄付合計で¥42,527,250、個人寄付額の平均は¥15,145となり目標を達成させて頂きました。ありがとうございました。

今年度、3月末までの地区の現況は、総額で¥34,439,741であり、個人寄付額の平均は¥12,183となっております。これについては、昨年も期ずれ等もありますので、これから多少の変化はあると思いますが、しかし、心配なことは特別寄付0クラブが22クラブ、38クラブが¥10,000以下、両方あわせると60クラブになります。

今年度も、残すところ2カ月あまりとなっております。何卒今一度クラブへ戻りまして、会員の方々にご理解をして頂ける様、お願い致します。

目標が低くなりますと、3年後の当地区での奨学生の全国の割り振りが少なくなりますので、あわせてお願いをさせていただきます（参考：昨年度奨学生は25名、今年度奨学生は27名です）。

もう1つは、会員皆様に対しての事業の理解度でございます。当地区は長年、会員の寄付者割合が30%台でございます（昨年は38.8%）。寄付者割合とは「特別寄付者会員数÷地区会員数」、これを最低でも40%を超えられる方策を考えていかなければと思います。

また、大きな特典と致しましては、米山へのご寄付は所得税・法人税の税制優遇が受けられます。「全額控除」「所得控除」どちらか有利な方法を選択することができます。「全額控除」は、寄付額の40%を所得税から直接控除することができるもので、「所得控除」よりも控除額が大きくなることが多いです。例えば、課税所得が750万円の方が、10万円寄付した場合、全額控除の場合は39200円も所得税が還付されます。

色々なお願いをさせて頂きましたが、つまるところ、地区米山委員会と共に各クラブ米山記念委員長様とが連携をとりながら、そして会員に配布されております、米山豆辞典を例会時に活用頂き、各クラブ会員にご理解を頂くことに尽きると思います。大変ご苦勞な事だとは思いますが、明日を担う世界の青少年の為に重ねてご支援ご協力をお願い致します。

奨学生・学友会について

米山奨学事業理解促進担当委員 生形 健一

皆様こんにちは、本日、米山奨学生並びに学友会を担当させて頂きます、八街ロータリークラブの生形と申します。どうぞよろしくお願い致します。

まず、はじめに奨学生についてお話をさせて頂きます。

当2790地区に於いて、今年度採用した奨学生の数は、新規奨学生24名、継続奨学生4名の27名です。

■プロジェクター（奨学生及び世話クラブの一覧表）

それぞれの奨学生の世話クラブの一覧はご覧の通りでございます。

昨年度は27名でしたが、人数は3年前の皆様方からのご寄付の実績に応じて決まります、今後も継続しての御支援をよろしくお願い致します。

27名の内、昨年度からの継続奨学生が4名、下の黄色い枠の4名です。

従いまして、今年度は新規で23名の奨学生を採用いたしました。

ご覧のように、中国の奨学生が多いのですが、続いてベトナム、インドネシア、台湾、スリランカ、ネパール、タイ等の学生もおります、一昨年はイランやトルコ、ドイツ、イタリアと幅広い地域からも奨学生を採用しています。

先ほど、富委員長からもご説明がありましたが、米山記念奨学事業の神髄とも言えるものが、「世話クラブ・カウンセラー制度」です。

今年度は27のクラブに世話クラブをお引き受け頂きましたが、世話クラブとなったクラブ委員長さんに於かれましては、ぜひカウンセラーと同じ視点に立って、また我が子に対する様な愛情を持って奨学生に接して頂きたいと思っております、よろしくお願い致します。

奨学生に対しては、去る4月14日にカウンセラーと指導教員も交えたオリエンテーションを、行いました、その中で

「ロータリーとは。」

「米山記念奨学事業とは。」

「奨学生としての心得。」

等のテーマで研修を行いました、皆さんとても優秀な学生達ですが、なかなか一回の研修で全てを理解することは難しいと思っております。

5月以降はそれぞれの世話クラブの例会に於いて、奨学生に対してロータリーの心を伝えてあげて下さい。

そして、地区の委員会の重点課題である、

■プロジェクター（スライド 米山記念奨学委員会の重点課題）

「米山奨学生へのロータリー活動と米山記念奨学金制度の目的趣旨の周知。」

「米山奨学生と世話クラブ・学友会との継続的係わりの育成。」につなげていって頂きたいと思っております。

それぞれの奨学生にとっては、世話クラブとの係わり、カウンセラーとの係わりイコール、「ロータリー」となります。

奨学生はみなさん本当に優秀であり、素晴らしい素質を持った学生達です、ぜひ将来、ロータリーファミリーの一員として、世界と日本との懸け橋となる人材の育成に力をお貸し頂きたくお願いいたします。

そして、今回残念ながら世話クラブになれなかったクラブの委員長さんには、クラブ内のロータリアンに対して、米山記念奨学事業の意義を深く理解してもらう機会を数多く作って頂きたくお願いを致します。

そして奨学生や学友をクラブの例会に招いて卓話を実施し、奨学事業の意義を皆で実感できる機会をぜひ設けて下さい、その際には必ず地区委員が同行してサポートをさせていただきますのでご安心下さい。米山奨学事業を実感していただくには、現役の奨学生や活躍している学友を身近に感じて頂くことが一番だと考えております、どうかよろしくお願い致します。

次に学友会についてのご説明をさせていただきます。

■プロジェクト（豆辞典 19、20 ページ）

豆辞典の 19 ページをご覧ください、元奨学生と現役奨学生によって組織される会を学友会と呼んでいます。

現在、日本には 33、海外には 9、の学友会があります。

■プロジェクト（豆辞典 21、22 ページ）

当 2790 地区にも学友会があり、活発に活動しております。

22 ページに「よねやま親善大使」のご紹介が御座いますが、今年度は 2790 地区からも「よねやま親善大使」に昨年度巣立った学友が、立候補しましたが、残念ながら今回は時点となりました。

2790 地区から、全国で 2~3 名の粹しかない「よねやま親善大使」に挑戦しようという意欲のある学友が出ただけでも素晴らしいと思います。

■プロジェクト（9 月のバーベキュー大会の時の写真）1

つづいて学友会の活動報告をさせていただきます、写真は 9 月に行いました「ロータリーデイ バーベキュー大会 2017」の時の写真です。

■プロジェクト（9 月のバーベキュー大会の時の写真）2

米山奨学生・米山学友をはじめロータリーアクトと財団の学友の皆さん・ロータリーファミリーの皆様さんなど 120 名を超す大勢の皆さんにご参加をいただきました。

■プロジェクト（9 月のバーベキュー大会の時の写真）3

■プロジェクト（9 月のバーベキュー大会の時の写真）4

■プロジェクト（9 月のバーベキュー大会の時の写真）5

■プロジェクト（10 月の研修旅行時の写真）

続いて、こちらが 10 月に行った研修旅行の写真です、毎年、米山梅吉記念館を訪問して米山記念奨学金の歴史に触れています、また一泊で行い奨学生どうしの親睦を深めるとも良い行事となっています。

■プロジェクト（3 月の修了式、歓送会時の写真）

そして 3 月には奨学期間終了と共に、終了式・歓

送会を行います、別れは辛いですが、学生たちの新たな旅立ちを皆でお祝いして送り出しをします。

寺嶋ガバナーから一人一人に終了証と記念品を手渡ししてもらいました。

■プロジェクト（学友会の今後の活動予定）

こちらが本年度の学友会の活動予定です、学生たちは忙しい合間をぬって、理事会や各種行事の設営を行っております。

■プロジェクト（ホームカミング制度とは）

最後に、ホームカミング制度についてご説明をさせていただきます、豆辞典の 26 ページの一番下の段に説明がありますが、ホームカミング制度とは元米山奨学生（学友）の里帰り制度です。

国内外で活躍する学友に地区へ里帰りして頂き、現在の活躍を披露して頂くことで「寄付の成果が実感できる。」と共に、現役の奨学生や私たちロータリアンに対しても、とても良い刺激になる事業です。2008 年度に設立をされました。

■プロジェクト（米山学友の群像）

お配りした米山学友の群像の 11 ページの一番上に掲載されている、モンゴルのジャンチブ・ガルバドラッハさんは、今年 2 月に行われた地区大会にホームカミングで招聘（しょうへい）させていただき、本会議場での講話並びにその後の米山の集いで学友に対して 90 分「奨学生時代からこれまでの人生経験から、現役奨学生に伝えたい事など」についてのお話とディスカッションをしていただきました。

次年度もホームカミング制度を利用して 2 回ほど元米山奨学生をお招きする予定です。

以上、奨学生・学友会担当からのお願いと報告とさせていただきます。

奨学生選考について

副委員長 兼 会計・選考担当 石田 善一

奨学生選考担当を致します・石田です。所属クラブは市川南 RC です。

私の担当致します、奨学生選考に付きましてご説明致します。

地区内各大学は、5 月に入りますと米山記念奨学会のホームページより引き出しアンケートに回答を致します。このアンケートが次期年度の米山記念奨学応募参加になります。

6 月に入り、地区へは参加大学リストが米山記念奨学会より送られ、地区では、選考準備委員会を立ち上げ、（メンバーは・ガバナー・ガバナーエレクト・米山委員長始め委員）次期年度奨学生募集基準に合わせ地区内大学の過去の状況を判断して募集応募人数を決めます。

地区内大学へは、説明会開催の案内を各大学へ送ります。

7 月上旬説明会開催を行います。

説明会では、地区基準応募基本原則の説明・ロータリーが求める奉仕など奨学生として、積極的に奉

仕活動並びに両国の架け橋としての使命について実行出来る学生へのお願いなどをきめ細やかに説明を致します。

10月に入り、各大学では米山記念奨学会へ学内選考を通った学生の指導教師推薦状など、一連の応募資料など提出が行われます。

地区委員会では、選考担当者の為のオリエンテーションを実施致します。全体説明・選考に関する説明書などを添えて委員への理解を行います。

11月選考委員へ応募資料を渡し資料での選考を始め、年明けには面接が行われ年度募集奨学生を決定させて頂きます。

1月下旬には、世話クラブ募集を行い・応募クラブより世話クラブ、カウンセラー決定を決めさせて頂きます。

4月上旬には、新たな奨学生・カウンセラー・指導教師を含め米山記念奨学生へのオリエンテーションを実施致し、世話クラブ・カウンセラーの方々にお願いを致し進めて参ります。

地区委員会として、奨学生・カウンセラー・世話クラブ一体として進める事を大事に、終了後奨学生は国内学友会・出身国学友会などを通じ交流の出来る事を常に望んでおります。

質疑応答

Q: 米山奨学事業の外国人支援のみを日本人支援に一部回すことができないか? (八千代 RC 杉 様)

A: 制度規定の改定に成るので、難しい。(富委員長)
すでに、青木ガバナー年度でこの質問について回答済みである。

Q: 米山奨学事業の採用人数についてそんなに増やす必要があるのか? (八千代 RC 杉 様)

A: 米山奨学事業は、他地区合同プログラムであり、34地区の理事並びに評議員がその年度の状況を勘案してこの人数を確定していると思うので、この場で地区委員長として応えることは出来ない。

次期、関口徳雄理事にロータリー米山記念奨学委員会での人数の確定方法についてお調べいただいて、8月25日(土)のクラブ委員長セミナーで回答します。(富委員長)

※ロータリー第2790地区米山記念奨学委員会奨学生学友会ホームページへ地区研修・協議会米山記念奨学部会のご報告として、写真23枚を含み、5月2日に掲載しました。

https://www.facebook.com/pg/RID2790Yoneyama.students.association/photos/?tab=album&album_id=1704683802948883







地区研修・協議会ホストクラブ

第7グループ 茂原東ロータリークラブ

国際ロータリー 第2790地区

橋岡久太郎ガバナーエレクト事務所

〒260-0042 千葉市中央区椿森 3-1-1-302

TEL: 043-284-2790

FAX: 043-256-0008

E-mail: 18-19gov@rid2790.jp